TOSHIBA
Leading Innovation >>>

CELL REGZA

ハードディスク内蔵
地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ

55X1

取扱説明書 準備編



卓上スタンドは別売です。

■ 必ず最初にこの「準備編」をお読みください。
■ 本書では安全上のご注意、設置、接続、設定などについて説明しています。
■ 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、別冊「操作編」の「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「準備編」と別冊の「操作編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

準備編ガイド

●以下は、テレビ番組を視聴できるようになるまでの基本的な準備の流れです。

	手順	ページ
1	**付属品を確認する**	6ページ
2	**「安全上のご注意」～「たいせつなお知らせ」を読む**	7～17ページ
3	**スタンド（別売品）を取り付ける** ● この取扱説明書では、卓上スタンド（別売品）の取付方法を説明しています。	18ページ
4	**スピーカーを取り付ける**	19ページ
	各部のなまえや機能を確認するとき	20～24ページ
5	**B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する**	25ページ
6	**テレビの設置、接続、設定をする**	26～38ページ
	● テレビを設置する	26～27
	● アンテナ線を接続する	28～30
	● チューナーとモニターを接続する	31
	● リモコンの準備をする	32
	● 電源を入れる	33
	● リモコンを登録する	34
	● はじめての設定をする	34～37
	※ 正しく受信できないとき	38
7	**有料放送を視聴する場合は受信契約をする** ● 同梱の冊子「ファーストステップガイド」をご覧ください。	
8	**お客様登録をする** ● 付属の「液晶テレビ<レグザ>お客様登録サービス」のチラシをご覧ください。	

この取扱説明書内のマークについて

☞ 参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

お知らせ 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

お願い 取扱上のお願いを記載しています。

ご注意 取扱上のご注意を記載しています。

●以下は、必要になったときにお読みください。

もくじ

ご使用の前に

設置と基本の接続・設定

外部機器の接続と設定

各種機能の設定と接続

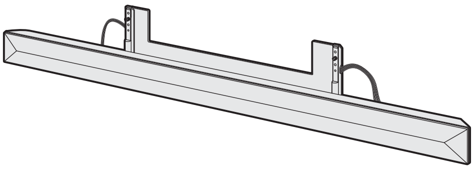
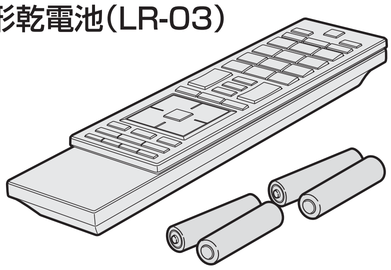
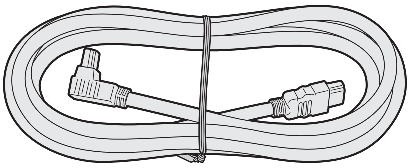
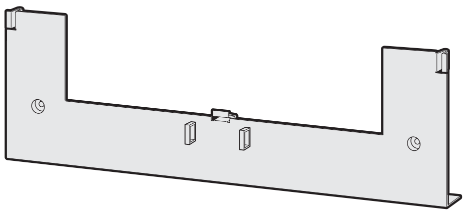
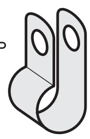
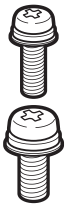
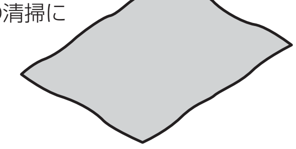
資料

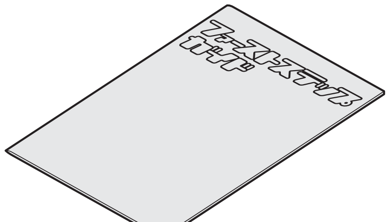
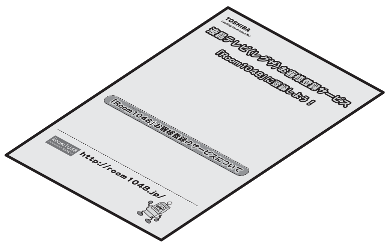
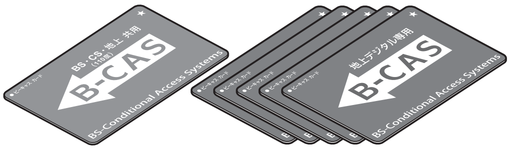
※以下は別冊の内容です。(一部省略しています。操作編もよくお読みください)

操作編(別冊)

付属品

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器、電話回線などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スピーカー ● モニター本体に取り付けます。19 	1個
リモコン(CT-90335) 単四形乾電池(LR-03) 	リモコン 1個 乾電池 4個
HDMIケーブル ● モニターとチューナーを接続します。31 	1本
スタンド取付部カバー ● 卓上スタンド以外での設置の場合に使用します。 	1個
クリップ ● モニターの転倒防止に使います。26 	1個
ネジ ● スピーカーの取付けにM4x16を使用します。19 ● 卓上スタンド使用以外の設置の場合に、スタンド取付部カバーの取付けにM5x12を使用します。 	スピーカー用 8個 カバー用 2個
クリーニングクロス ● 画面とリモコンの清掃にご使用ください。 	1枚

付属品/名称	付属数
ファーストステップガイド 	1部
「液晶テレビ〈レグザ〉お客様登録サービス」のチラシ 	1枚
かんたんガイド 	1部
取扱説明書 準備編(本書) 操作編 	各1部
B-CAS(ビーキャス)カード ●BS·CS·地上 共用:1枚　●地上デジタル専用:5枚  ※ B-CASカードは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。	左記

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷[＊1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷[＊2]を負うことが想定されるか、または物的損害[＊3]の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

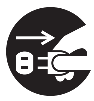
図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

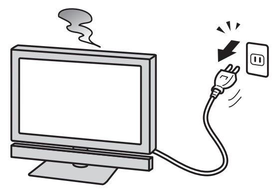
⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

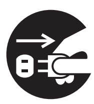
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

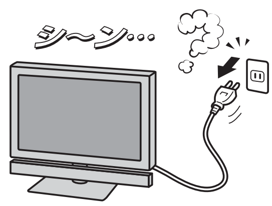

プラグを抜け



■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。


プラグを抜け



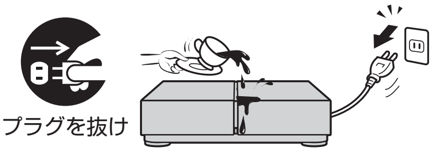
安全上のご注意 つづき

⚠警告

異常や故障のとき つづき

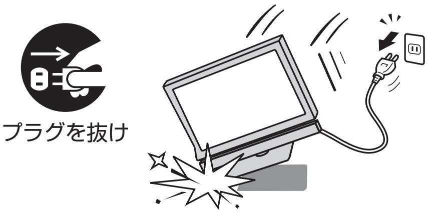
■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



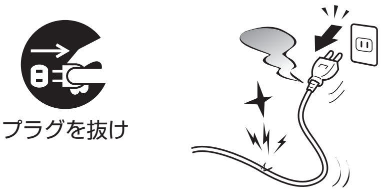
■ **落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。



■ **電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



設置するとき

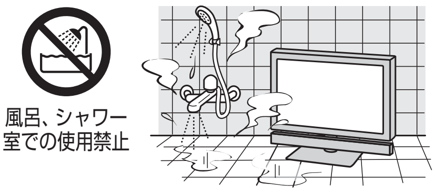
■ **コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。



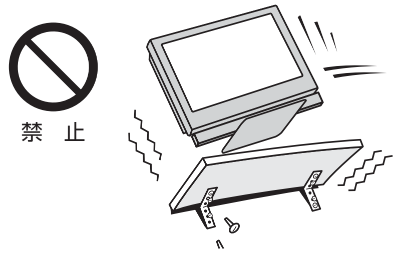
■ **屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない**

火災・感電の原因となります。



■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない**

本機が落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。



■ **振動のある場所に置かない**

振動で本機が移動・転倒し、けがの原因となります。



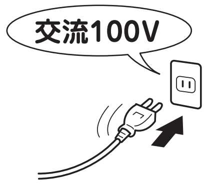
⚠警告

設置するとき つづき

■ **電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む**

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

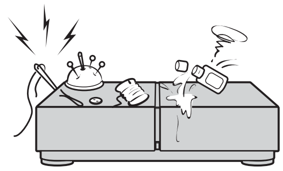
指 示



■ **上に物を置かない**

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

上載せ禁止



■ **スタンドやスピーカーを取り付けるときは、幼児を近づけない**

- 万一、モニターが倒れるとけがの原因となります。
- 取付ネジなどの小さな部品を飲み込むおそれがあります。

幼児接近禁止

■ **壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する**

工事が不完全だと、けがの原因となります。

指 示

使用するとき

■ **修理・改造・分解はしない**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

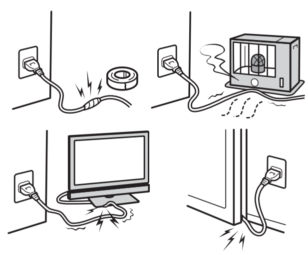


■ **電源コード・電源プラグは、**

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

禁 止



■ **異物を入れない**

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

異物挿入禁止



安全上のご注意 つづき

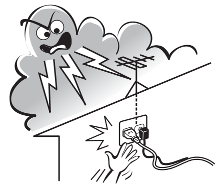
⚠警告

使用するとき つづき

■ **雷が鳴りだしたら、本機・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない**

感電の原因となります。

禁止



■ **包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する**

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指示

お手入れについて

■ **ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する**

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14 をお読みください）

指示



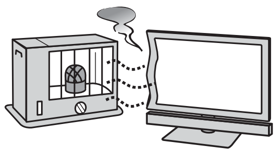
⚠注意

設置するとき

■ **温度の高い場所に置かない**

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

禁止



■ **湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない**

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

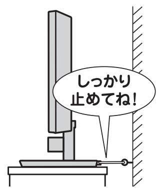
禁止



■ **モニターの転倒・落下防止の処置をする**

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。
転倒防止のしかたは26 ～ 27 をご覧ください。

指示



⚠注意

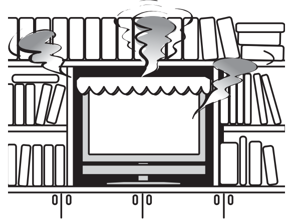
設置するとき つづき

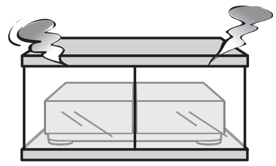
■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。（10cm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
  チューナーは、トビラ付テレビ台の中などに設置しないでください。
  トビラがなく、背面がふさがれていない台などに設置し、台は壁から10cm以上離してください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
  チューナーは底の面にも通風孔があります。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁止

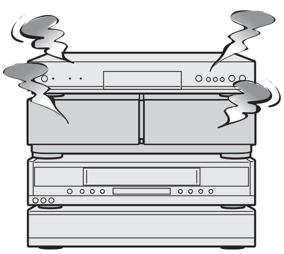




■ 本機（チューナー）の上に他の機器を載せたり、他の機器の上に本機を載せたりしない

- チューナーの上面や底面は高温になるので、他の機器に損害を与える原因になることがあります。
- チューナー内部は高温になります。さらに他の機器から熱を受けると、過熱して火災の原因となることがあります。

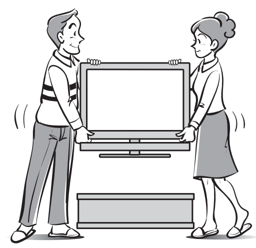
積重ね禁止



■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

- **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、本機が転倒・落下してけがの原因となったりすることがあります。
  （電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14 をお読みください）
- **モニターを包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う**
  ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **車（キャスター）付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、モニターを支えながら、テレビ台を押す**
  モニターを押したり、テレビを支えていなかったりすると、モニターが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  本機が破損してけがの原因となることがあります。

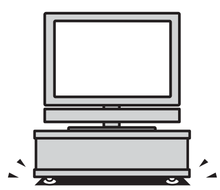
指示



■ 車（キャスター）付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

指示



安全上のご注意 つづき

⚠注意

使用するとき

■ **テレビ台を使用するときは、**

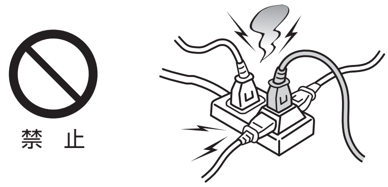
- **不安定な台を使わない**
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台のトビラを開けたままにしない**

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。



■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。
「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14 もご覧ください。



■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。



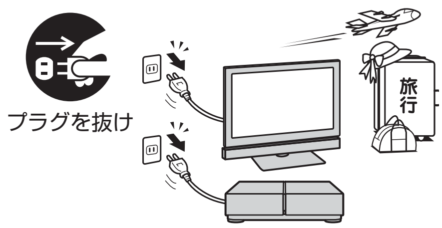
■ **本機やテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない**

落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。



■ **旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14 をお読みください）



■ **ヘッドホーンやイヤホーンを使用するときは、音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



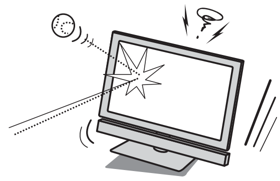
⚠注意

使用するとき つづき

■ 画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。


禁 止



■ リモコンに使用している乾電池は、

- ● 指定以外の乾電池は使用しない
- ● 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- ● 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- ● 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- ● 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- ● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

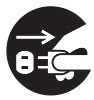

禁 止

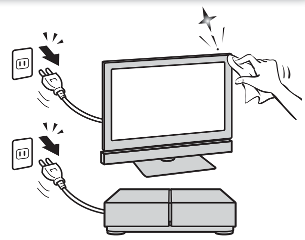


お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

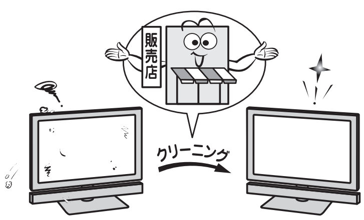
感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは操作編 125 をご覧ください。
(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」 14 をお読みください)


プラグを抜け



■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。



使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 本機をご使用中(電源が「待機」のときも含みます)、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 本機をご使用中は、内蔵ハードディスクや冷却ファンの動作音が発生します。その音は電源が「待機」のときでも発生することがありますが、故障ではありません。
- 本機(モニター)から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- **本機(チューナー)にはハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの周囲環境の変化の影響を受けやすく、記録されている内容が損なわれることがありますので、以下のことにご注意ください。**
  - 振動や衝撃を与えないでください。
  - 本機を移動するときは、右記の「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」に従って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、衝撃を与えないように、ゆっくりとていねいに取り扱ってください。
  - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
  - 本機は水平な場所に置いてご使用ください。
  - 通風孔をふさがないでください。
  - 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
  - ハードディスクの動作中に、停電や雷などによる瞬間的な停電が起こると、ハードディスクに録画された内容がすべて消えたり、ハードディスクが故障したりすることがあります。雷が鳴っているようなときには本機の使用をひかえてください。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが本機(チューナー)内部にはいると、故障の原因になることがあります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです)
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 外部入力(ビデオ入力1～3、HDMI1～5、ゲーム1～2)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - DVDやビデオなどの音声を、直接AVシステム機器(AVアンプなど)の外部機器に接続して視聴する場合

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

※ **ハードディスクの動作中にチューナーの電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを切ったりすると、内蔵ハードディスクが故障したり、すべての録画番組が再生できなくなったりすることがあります。**

- 「安全上のご注意」に記載されている異常時など、緊急の場合を除いて、チューナーの電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを切ったりしないことをおすすめします。
- チューナーの電源プラグを抜く場合は、以下の手順で取り扱ってください。
  ① **チューナー前面の表示ランプがすべて消えるまで、前面とびら内の「シャットダウン」ボタンを押し続ける**
  ② **電源プラグをコンセントから抜く、またはコンセントの元につながっているブレーカーを切る**
  ※ 録画中(通常録画およびタイムシフトマシン録画)やダビング(保存を含む)中に上記①の操作をした場合、録画番組は途中まで録画されたものが残りますが、ダビング先の番組は残りません。
- モニターの電源プラグを抜く場合は、以下の手順で取り扱ってください。
  ① **モニター操作部の電源ボタンを押して電源を「切」にする**
  モニター前面の「電源」表示ランプが消えたことを確認してください。
  ② **電源プラグをコンセントから抜く、またはコンセントの元につながっているブレーカーを切る**

録画・録音について

- 内蔵ハードディスクや、本機に接続した録画機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- ハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。たいせつな番組の録画には、DVDレコーダーやビデオなど、他の録画機器を併用することをおすすめします。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- **あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども違反になりますのでご注意ください。**
  - **録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。**
  - **録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。**

  また、以下の行為も著作権法違反となるおそれがありますのでご注意ください。
  - **番組を録画したビデオテープやDVDなどの媒体を友人に貸す。**

  著作権法違反は刑事処罰を受けますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

ハードディスクについて

- ハードディスクはパソコンなどで使われているものと同様に非常に精密な機器です。使用状況によっては部分的に破損して、再生映像にノイズが出たり、最悪の場合は録画や再生が全くできなくなることがあります。
- ハードディスクには寿命があり、使用状態によっては数年で異常をきたす場合があります。内蔵ハードディスクに録画した映像・音声にノイズが発生しやすくなった場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 内蔵ハードディスクについて

- 本機には4台のハードディスクが内蔵されています。

ハードディスク	容量(公称値)	用　途
内蔵1	500GB	• 通常の録画・予約録画 • 今すぐニュース • 名画コンテンツ(収録済)
内蔵2	500GB	
内蔵3	1TB	• タイムシフトマシン録画
内蔵4	1TB	

- 「今すぐニュース」の機能を使用するには、「内蔵ハードディスク設定」63 が必要です。
- 「タイムシフトマシン録画」の機能を使用するには、「タイムシフトマシン録画設定」(37 または 60)が必要です。
- 「内蔵3」、「内蔵4」を通常の録画・予約録画用に転用することができます(「ハードディスク設定」61)。その場合、「タイムシフトマシン録画」の機能は使用できません。

■ 本機を長期間使用しないとき

- ハードディスクの機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて本機を使用してください。

結露(露付き)について

結露はハードディスクを傷めます。結露がおきた状態で使用しないようにご注意ください。以下をよくお読みください。

■ 「結露」はこんなときにおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ **結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。**
その場合は電源を入れないで一定の温度の場所にしばらくおいてからご使用ください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」95 をして、暗証番号や双方向サービスの情報(お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など)なども含めて、初期化することをおすすめします。
- B-CAS(ビーキャス)カードの登録廃止、登録名義変更などについては、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
  お問い合わせ先：
  カスタマーセンター　TEL.0570-000-250
- **廃棄時にご注意願います**
  家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ハードディスクや録画・録音機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

たいせつなお知らせ

■ デジタル放送の番組情報取得について

- **番組情報を取得するために、「番組情報取得設定」93 を「取得する」にして、毎日2時間以上本機の電源を「待機」にしておくことをおすすめします。**
  - デジタル放送では、番組情報（番組名や放送時間など）が放送電波で送られてきます。
    本機は、チューナーの電源が「待機」のときに番組情報を自動的に取得して、番組表表示や番組検索、予約などに使用します。チューナーの電源が「入」のときにも番組情報は取得されますが、視聴中のデジタル放送以外の放送の番組情報は取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のご使用状態によって、取得できる内容は異なります）
  - チューナーの電源プラグを抜いている場合、および「番組情報取得設定」を「取得しない」に設定している場合には、番組情報は取得できません。番組情報が取得できていない場合には、番組表が正しく表示されなかったり、番組検索や録画予約などができなかったりすることがあります。

■ 同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて

- 本機には6枚のB-CASカードが同梱されています。B-CASカードの役割および本機への取付方法については、25 をご覧ください。
- B-CASカードの登録や取扱いの詳細については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。
- カードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要となった場合などは、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。（お問い合わせ先：カスタマーセンター　TEL.0570-000-250）

■ デジタル放送の録画について

- 地上デジタル／ BSデジタルテレビ放送局は、著作権保護のために電波に「1世代のみ録画可能」や「コピー 9回＋ムーブ1回（ダビング10）」のコピー制御信号を加えて放送しています（2009年11月現在）
- 「1世代のみ録画可能」の番組は、録画したものをコピーすることはできません。
- 本機は、「ダビング10」のデジタル放送番組で以下のことができます。（他の録画機器での録画やダビングなどの制限については、録画機器の取扱説明書をご覧ください）
  - 内蔵ハードディスク/USBハードディスクから、DTCP-IP対応サーバーへコピー９回＋ムーブ１回ができます。ムーブ（移動）完了後は、ムーブした番組はムーブ元のハードディスクから自動的に削除されます。
  - タイムシフトマシン録画用の内蔵ハードディスクに録画された「ダビング10」の番組は、いったん通常録画用の内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに保存してからDTCP-IP対応サーバーにダビングできます。その場合、保存した番組はコピー８回＋ムーブ1回となります。タイムシフトマシン録画用内蔵ハードディスクに残された該当の番組はコピー禁止になります。

  ※ 内蔵ハードディスク/USBハードディスク間はムーブしかできません。

■ HDMI連動機能について 52

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI端子に接続した場合に、本機がHDMI連動機能対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証できません。

■ ブロードバンド機能について

- ブロードバンドの利用には、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でブロードバンドが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。
- Webサイトによっては、本機の仕様が対応していない場合があり、映像、文字などが正しく表示されない、または正しく動作しないことがあります。
- 本機で採用しているブロードバンド機能は、基本的な閲覧機能だけに対応しています。メール機能やインターネット上のプラグインソフト（FlashやJavaなど）の機能には対応していません。また、今後の新技術にも対応できない場合があることを、あらかじめご了承ください。

■ インターネットの閲覧制限機能（プロキシ制限機能、パスワードロック機能）について

- 本機には、青少年を有害サイトから保護することを意図した閲覧制限機能が組み込まれています。青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、この閲覧制限機能を利用することをおすすめします。
- この制限機能を利用する場合は、「暗証番号の設定」88 の手順で暗証番号を設定のうえ、「インターネット制限設定」89 をしてください。設定された制限レベル以上のサイトにアクセスできないようにするプロキシ制限機能と、暗証番号を入力しないとブロードバンド機能が使用できないようにするパスワードロック機能の2種類の閲覧制限機能があります。

■ 取扱説明書(本書および別冊の操作編)について

● 記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現やイメージなどが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
● 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
● 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
● 画面に表示されるアイコン(絵文字や絵記号)については、「アイコン一覧」(操作編 124)をご覧ください。
● 本書および別冊の操作編、画面表示、リモコンの操作ボタン名などでは、以下の略語を使用しています。

略　語	意　味
デジタル放送	地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送
地上アナログ、地アナ	地上アナログ放送
地上デジタル、地デジ	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
110度CS、CS	110度CSデジタル放送

■ ソフトウェアの更新について

● お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア(制御プログラム)を更新する場合があります。
本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波で送られるソフトウェアを本機が自動的に受信し、そのあとにソフトウェアを更新することができます。(お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています)
自動ダウンロードやソフトウェアの更新については、操作編の 118 をご覧ください。

■ インターネットで情報を・・・

● ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご覧ください。

■ www.toshiba.co.jp/regza

※ 上記アドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが東芝総合ホームページ(www.toshiba.co.jp)をご覧ください。
● 東芝総合ホームページからもさまざまな情報を提供しています。

■ 放送、通信サービスについて

● 放送や通信サービス(ADSL回線や光通信回線などを利用した映像配信サービス、その他の通信サービスなど)は、お客様への予告なしに、放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断したり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

■ お問い合わせ先について

● 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。(同梱の冊子の「ファーストステップガイド」をご覧ください)

■ アフターサービスをご依頼になる際のお知らせ

● 以下をあらかじめご了承ください。
- 本機(チューナー)の修理の際に内蔵ハードディスクの保存内容が消える場合があります。
- 破損、消失した記録内容の復旧はできません。
- 内蔵ハードディスク交換の場合、もとの内蔵ハードディスクの保存内容を新しい内蔵ハードディスクや他のハードディスクなどに移動させることはできません。

卓上スタンド(別売品)を取り付ける

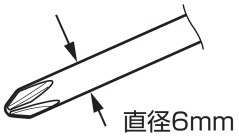
- この取扱説明書では、別売品の卓上スタンドをモニターに取り付ける手順を説明します。ほかのタイプの専用スタンドを取り付ける場合は、それぞれのスタンドに付属されている取付説明書をご覧ください。

ご注意

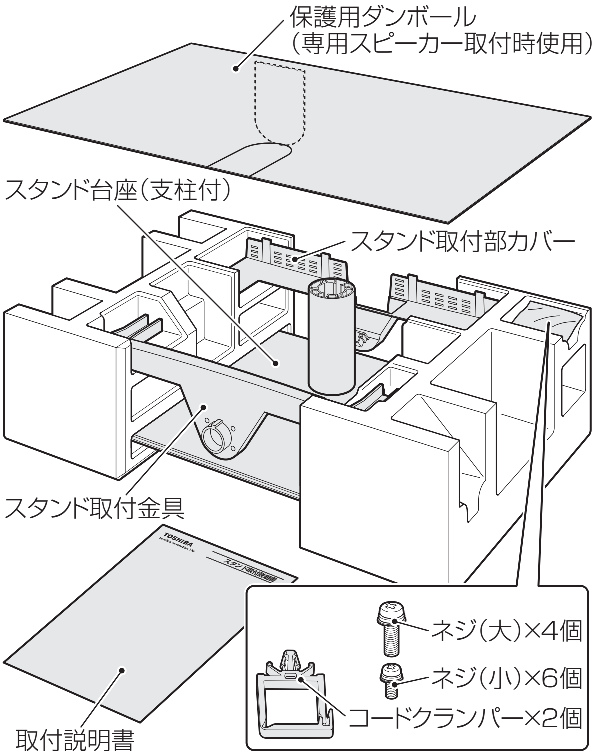
- スタンドを取り付けるまでの間、モニター本体は包装箱の中で立てた状態にしておいてください。倒した状態で置くと、誤って画面の上に物を落としたときなどに、液晶パネルが破損するおそれがあります。
- モニターの画面に力を加えたり、物をぶつけたりしないようにご注意ください。液晶パネルが破損するおそれがあります。
- 卓上スタンドおよびモニター本体の保護フィルムは設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。
- 電源コードを挟み込んだり、傷つけたりしないようにご注意ください。

ご使用いただきたいドライバー

プラスドライバー JIS 2番
※電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.5N·m(15kgf·cm)に設定してください。

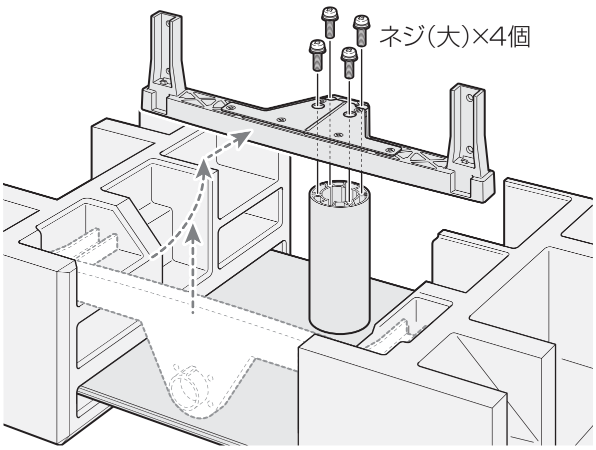


1 スタンド組立用部品を確認する

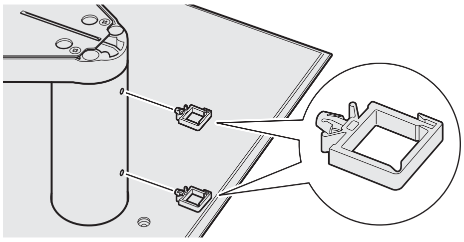


2 スタンドを組み立てる

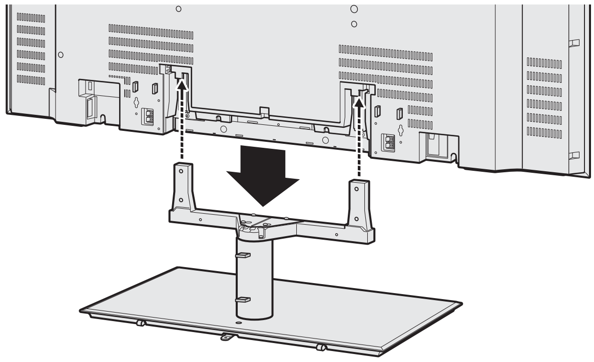
- 包装材に入れたままで作業してください。(傷防止)
- ネジはしっかりと締めてください。



3 コードクランパー 2個を支柱に差し込む

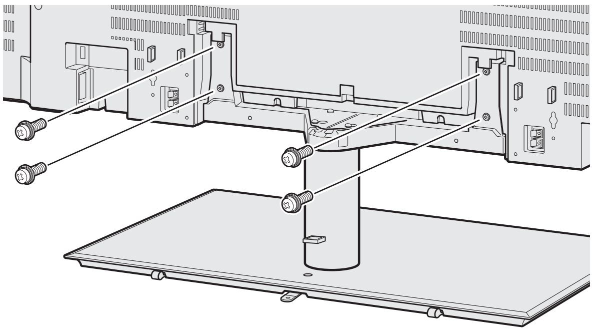


4 スタンドにモニターを載せる



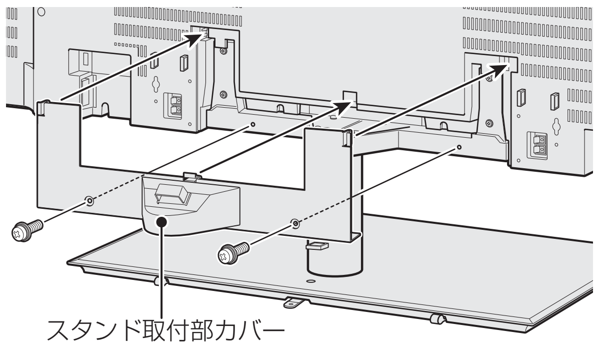
5 スタンドをネジ(小)4個で固定する

- ネジはしっかりと締めてください。



6 スタンド取付部にカバーを取り付ける

❶ キャビネットの形状に合わせてカバーをはめ込みます。
❷ ネジ(小)2個でカバーを固定します。



スピーカーを取り付ける

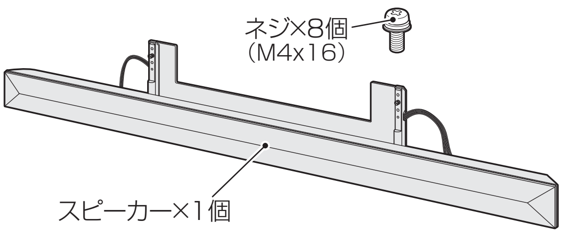
ご注意

- スピーカーはていねいに取り扱ってください。モニターなどにぶつけたりすると、破損・変形・傷の原因になります。
- モニターを持ち上げるときは、スピーカーを持たないでください。破損の原因になります。

- 別売スタンドを取り付けてから、スピーカーを取り付けます。
- 卓上スタンドが取り付けられている場合の図を示していますが、ほかのタイプのスタンドを取り付けた場合もスピーカーの取付手順は同様です。

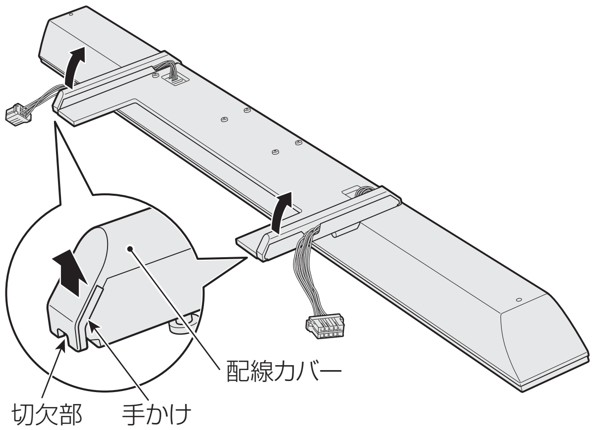
1 スピーカーと取付ネジを用意する

- スピーカーはモニターの包装箱内にあります。
- 取付ネジ8個は、この取扱説明書がはいっていた箱の中にあります。



2 スピーカー背面の配線カバーを取りはずす

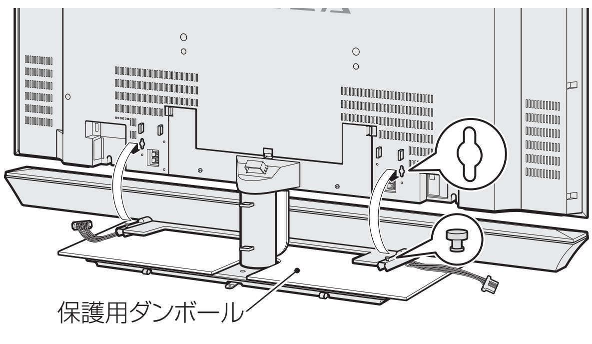
- 配線カバー両側の手かけ部をつまんで取りはずします。取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどの先を切欠部にかけて、取りはずしてください。



3 スピーカーをモニター背面に取り付ける

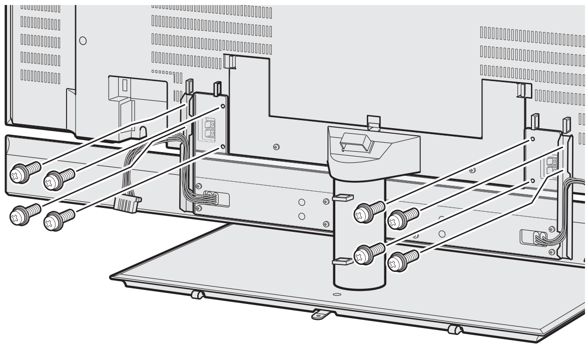
❶ 卓上スタンドに付属されていた保護用のダンボールを卓上スタンドの上に置きます。(傷防止)

❷ スピーカーを図の向き(網目の面が上側)にしてモニターの前面側から入れ、左右のフックをモニター背面の穴に引っ掛けます。



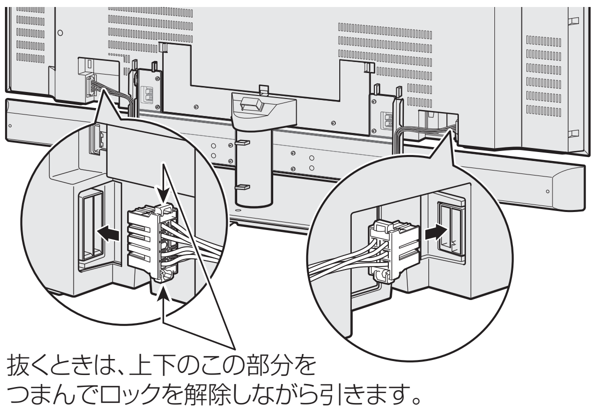
4 スピーカーを付属のネジ8個でモニターに固定する

- ネジはしっかりと締めてください。

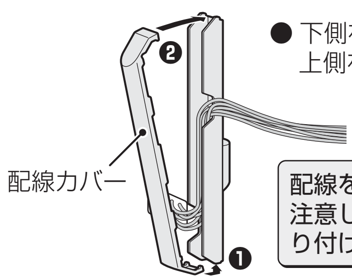


5 スピーカーをモニターに接続する

- 方向が合っていないと差し込めません。はいらないときは、無理をしないで逆の方向でご確認ください。

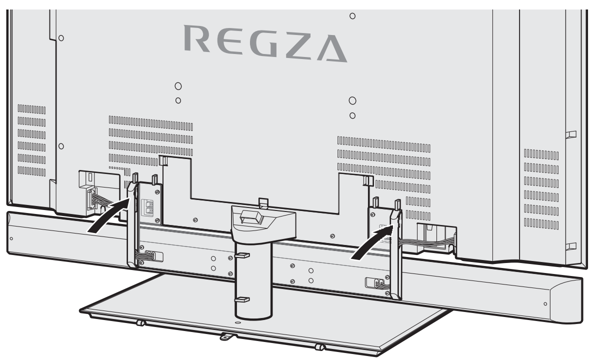


6 手順*2*で取りはずした配線カバー 2個を取り付ける



- 下側を先にはめ込んでから、上側を押し込みます。

配線を挟み込まないように注意して、配線カバーを取り付けてください。

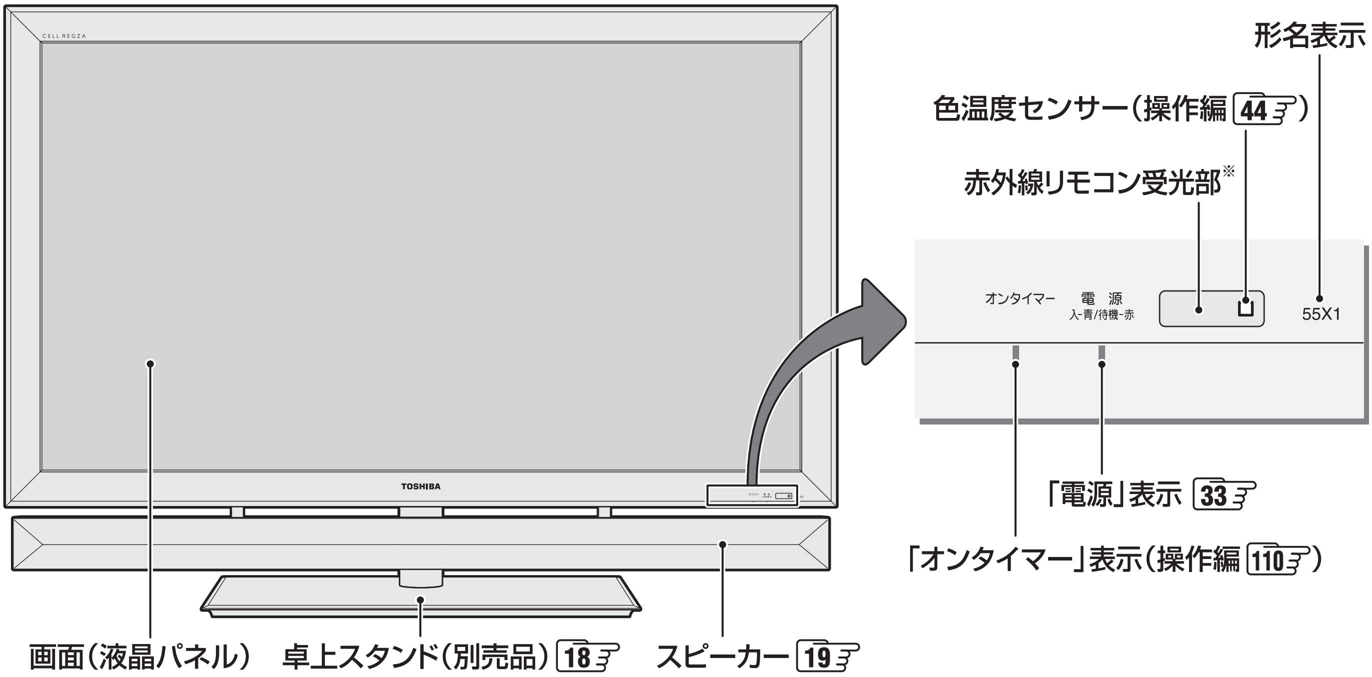


各部のなまえ

● この取扱説明書では、別売の卓上スタンドを取り付けた状態で説明しています。
● イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
● 詳しくは内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

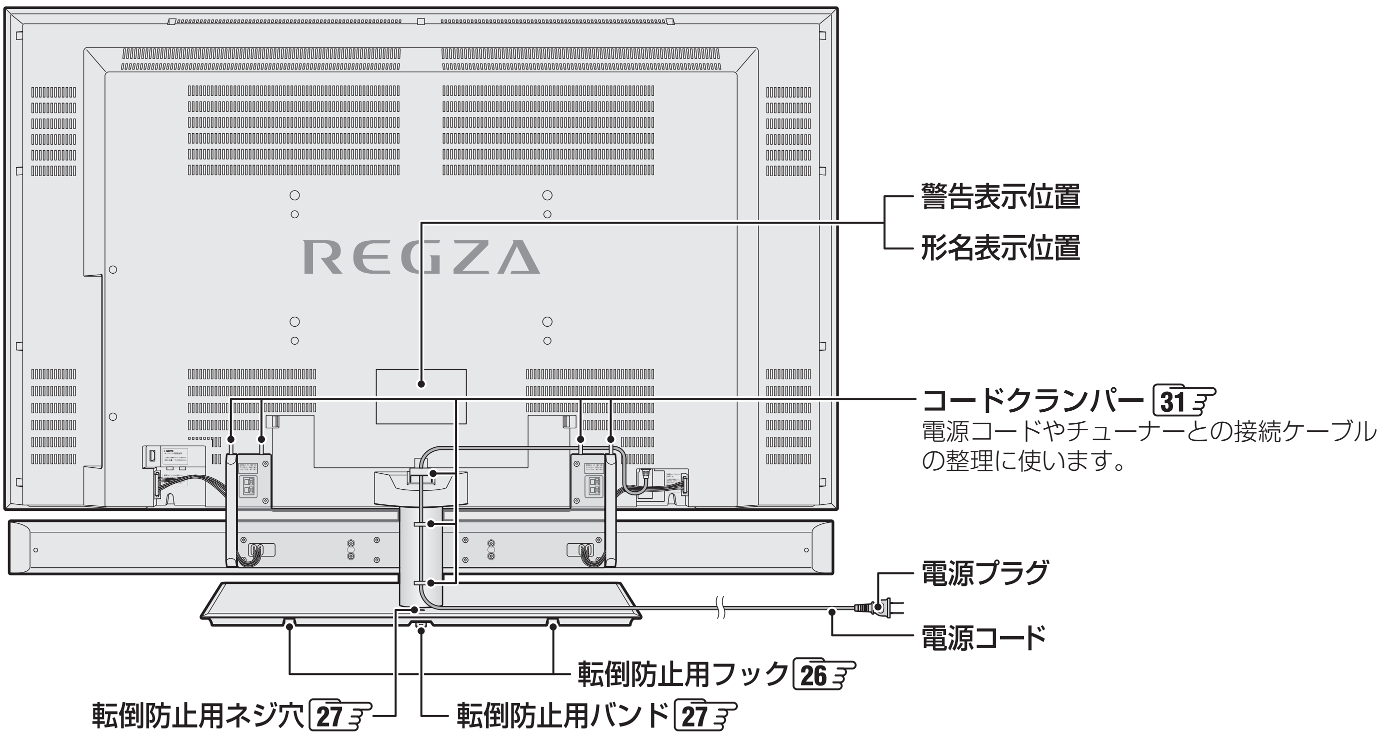
モニター

前面

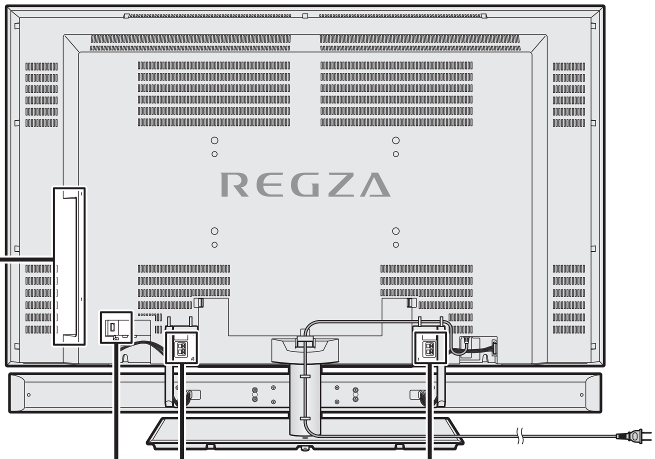


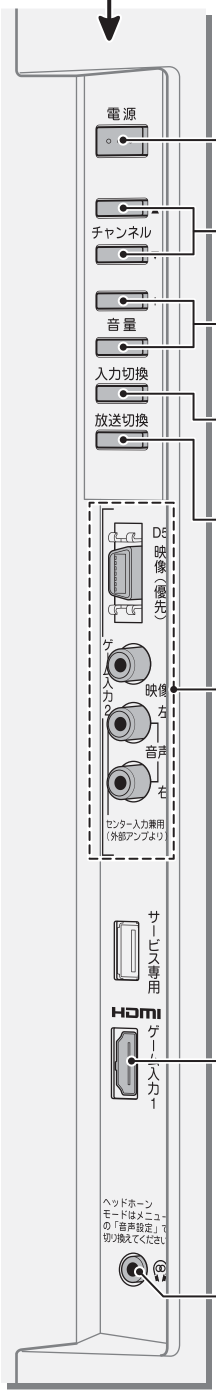
※ 赤外線リモコンについて
● 赤外線リモコンは本機に付属されていません。
● お買い上げ時は、東芝レグザシリーズ用の赤外線リモコンで本機の一部の操作ができるように設定されています。設定を変える場合は、「赤外線リモコン設定」94 をご覧ください。

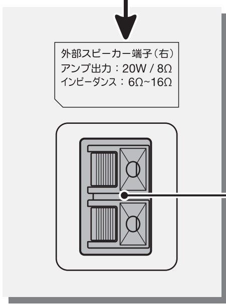
背面

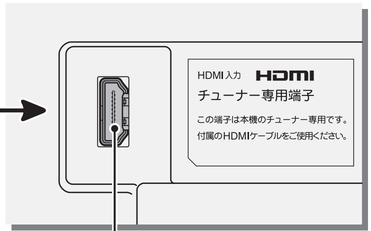


入出力端子および操作部









電源 33

- 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル▲･▼（アップ･ダウン）

- チャンネルを順番に切り換えます。

音量 ＋･－

- 音量を調節します。

入力切換（操作編 26）

- 入力を切り換えます。

放送切換

- 放送の種類を切り換えます。

ゲーム入力2端子 47

- D端子やピンジャックで映像を出力するゲーム機を接続することができます。

※D端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、D端子からの映像が映ります。
※音声（左）入力端子は、外部アンプのセンター出力を接続する端子として兼用しています。43

ゲーム入力1端子 47

- HDMI出力端子付のゲーム機を接続することができます。

ヘッドホーン端子

- ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
  モノラルイヤホーンを接続した場合は左音声だけが聞こえます。

外部スピーカー端子（右）、（左） 44

- 外部スピーカーを接続することができます。

※外部スピーカーを接続する場合は、専用スピーカーを取りはずす必要があります。

チューナー専用端子 31

- 本機のチューナーを接続します。

※他の機器は接続しないでください。

各部のなまえ つづき

チューナー

前面

電源ボタン 33
- 電源を「入」または「待機」にします。

「電源」表示 33

「録画/ダビング」表示（操作編 61）

「ハードディスク」表示
- 内蔵ハードディスクが動作しているときに青色に点灯します。
- ! 点灯時は電源プラグを抜かないでください。

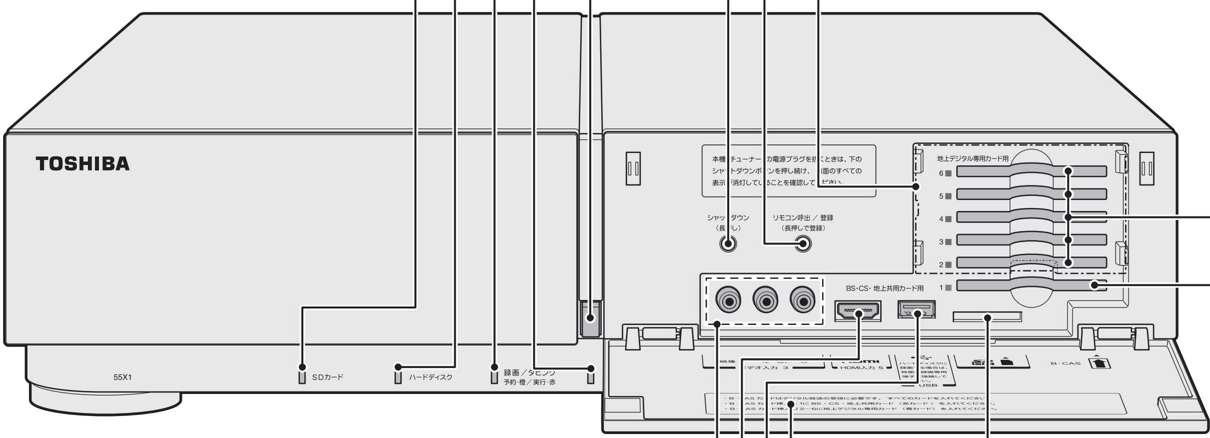
「SDカード」表示
- SDメモリーカード使用時に青色に点灯します。
- ! 点灯時はSDメモリーカードや電源プラグを抜かないでください。

シャットダウンボタン 14
- 本機（チューナー）の電源プラグを抜く場合は、その前にこのボタンを押し続けて、前面の4個の表示がすべて消えるまで待ちます。
- ! 表示の点灯中に電源プラグを抜くと、故障やコンテンツ消失などの原因になります。

リモコン呼出/登録ボタン 92

地上デジタル専用カード挿入口 25
- 地上デジタル専用のB-CASカードを差し込みます。（青カード：5枚）

地上デジタル専用カード挿入口カバー
- 図は、カバーを取りはずした状態です。



ビデオ入力3端子 46
- ビデオムービーカメラなどで使えば、接続や取りはずしの際に便利です。

HDMI入力5端子 46
- HDMI出力端子を備えた機器を接続することができます。

USB端子 49
- USB機器を接続することができます。

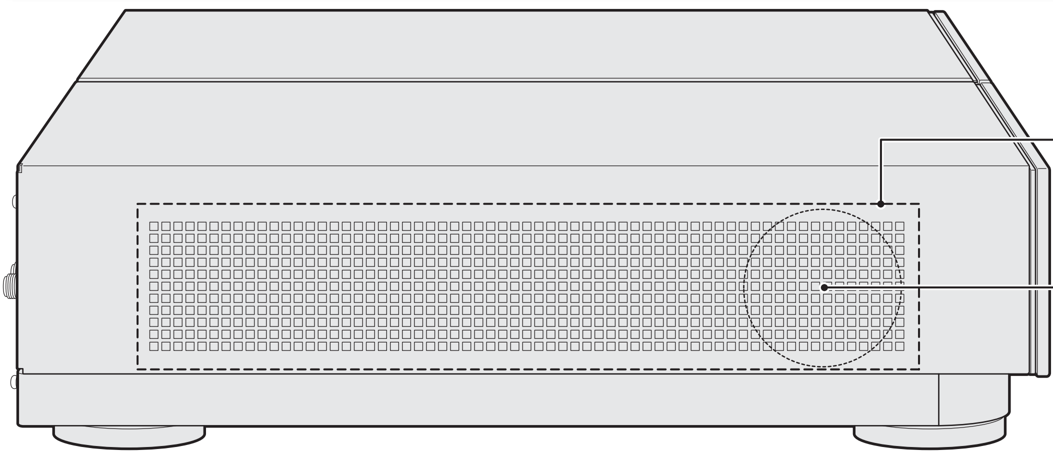
※録画に使用するUSBハードディスクは、背面の録画専用端子に接続してください。

SDメモリーカード挿入口（操作編 7）

BS・CS・地上共用カード挿入口 25
- BS・CS・地上共用のB-CASカードを差し込みます。（赤カード：1枚）

とびら 25
- B-CASカードの挿入時や、入力端子の使用時などに、図のように開けます。

左側面



通風孔

※物を差し込んだり、通風孔をふさいだりしないでください。

冷却ファン（内部）

背面

USB(録画専用)端子 53

- USBハードディスクを接続して録画・再生ができます。

HDMI4アナログ音声入力端子 41

- HDMI入力4端子に接続した機器からアナログ音声を入力するときに使います。

光デジタル音声出力端子 42

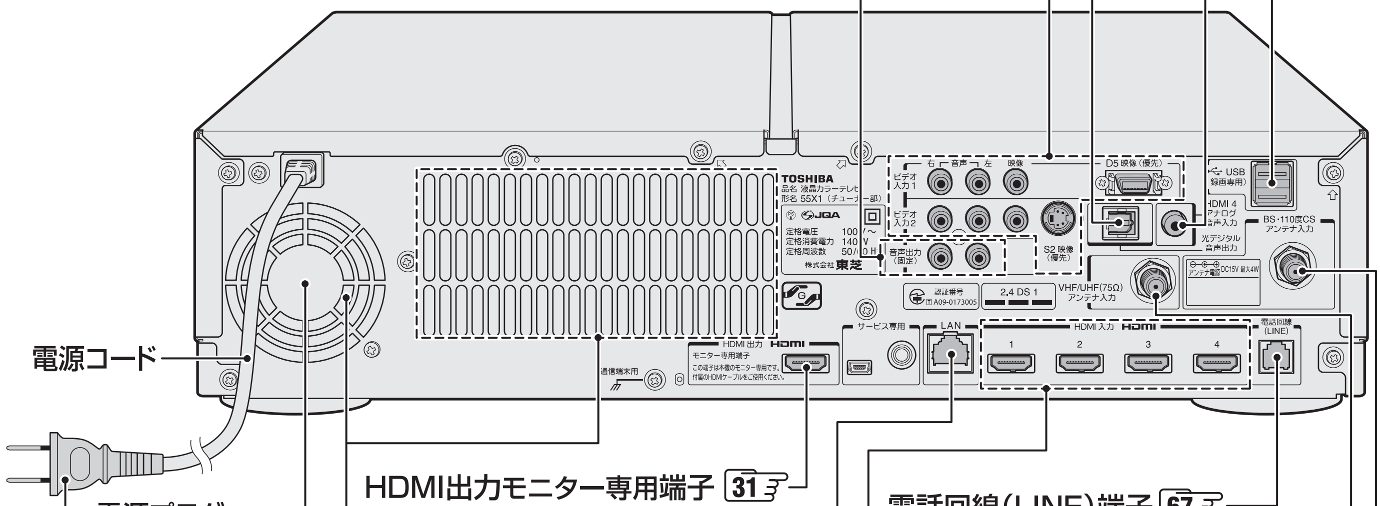
- 光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器で本機の音声を聴く場合に使います。

ビデオ入力1, 2端子 40

- ビデオやDVDプレーヤー/レコーダーなどの映像機器を接続することができます。

音声出力(固定)端子 43

- アナログ音声入力端子を備えたオーディオ機器で本機の音声を聴く場合に使います。



電源コード

電源プラグ

冷却ファン(内部)

HDMI出力モニター専用端子 31

- 本機のモニターを接続します。

LAN端子 72

- ブロードバンド、Eメールでの録画予約機能などを利用する場合に使います。

HDMI入力1〜4端子 41

- HDMI出力端子を備えた機器を接続することができます。

電話回線(LINE)端子 67

- デジタル放送の双方向サービスを利用する場合に、電話回線に接続します。

VHF/UHFアンテナ入力端子 28

- 地上放送を視聴する場合に、VHF/UHFアンテナを接続します。

通風孔

※物を差し込んだり、ふさいだりしないでください。

※底面にも通風孔があります。布団やじゅうたんなど、やわらかいものの上に置かないでください。

BS・110度CSアンテナ入力端子 30

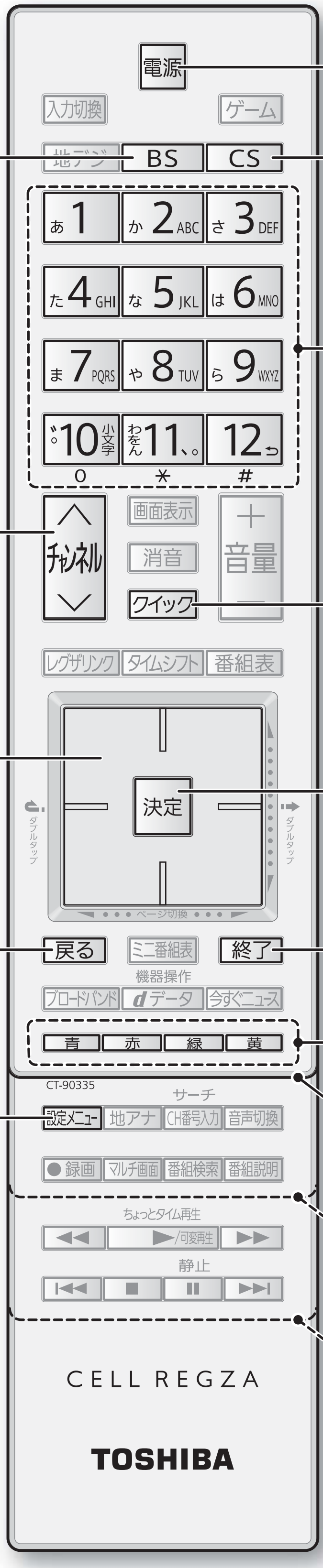
- 衛星放送を視聴する場合に、BS・110度CSアンテナを接続します。

各部のなまえ つづき

リモコン

● 本書に記載されている設定などの準備のときに使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。
● 詳しくは[☞]内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)
※ 通常操作時のリモコンボタンの機能については、操作編をご覧ください。

[前面]



電源 33☞
• 電源の「入」、「待機」を切り換えます。

BS 76☞
• BSデジタル放送に切り換えます。

CS 76☞
• 110度CSデジタル放送に切り換えます。

文字入力 36☞
• 文字、数字、記号の入力が必要な設定で使います。

チャンネル ∧・∨ 76☞
• チャンネルを順番に選びます。

クイック 38☞
• クイックメニューを表示させます。

カーソル(タッチパッド) 35☞
• 設定メニューで項目を選びます。

決定 35☞
• メニューで選んだ項目を決定します。

戻る
• 設定の途中で、前のメニュー画面に戻るときに使います。

終了
• 設定を終了してメニューを消します。

カラーボタン 63☞
• ハードディスクの設定などで使います。

設定メニュー 35☞
• 設定メニューを表示させます。

パネル
• 2段階にスライドします。

B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

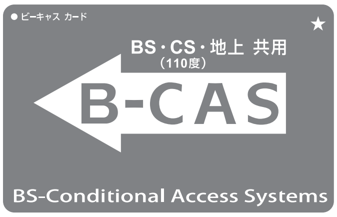
●本機には6枚のB-CASカードが同梱されています。

それぞれ以下の用途に使用されます。6枚とも常に本機(チューナー)のB-CASカード挿入口に入れておいてください。
(B-CASカード挿入口**1**に赤色のカード、挿入口**2**～**6**に青色のカード5枚を入れます)

本機に同梱されているB-CASカードの種類、数量、役割

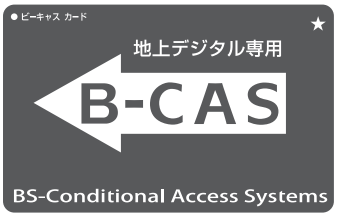
● 本機に同梱されているB-CASカードの種類、数量、役割などは以下のとおりです。(付属のカードは本機でご使用ください)

■ BS・CS(110度)・地上 共用カード (赤色のカード「赤カード」):1枚



● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の受信に使用されます。
● 本機のご使用開始時にNHK受信確認メッセージが表示された際は、この赤カードの裏面に記載されているID(B-CASカード番号)を連絡してください。
● BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送をご契約の際は、この赤カードのIDをご使用ください。(同梱のB-CASカードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約の際に加入申込書に貼ってください)
● 放送局からのお知らせや双方向サービスにこの赤カードのIDが使用されます。

■ 地上デジタル専用カード (青色のカード「青カード」):5枚

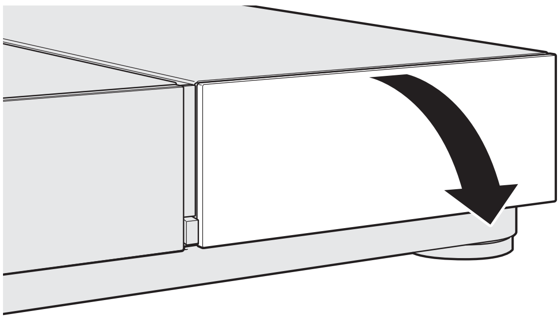


● 地上デジタル放送の受信に使用されます。
● 番組表の動画表示やマルチ画面表示機能などのために、5枚の青カードを使用しています。

B-CASカードを本機(チューナー)に入れる

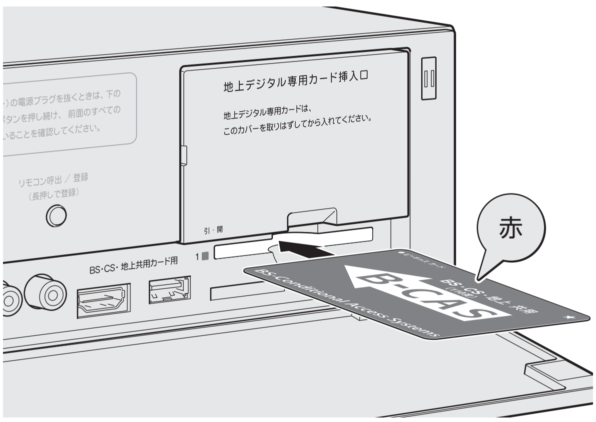
※ B-CASカードを抜き差しするときは、チューナーの電源を切ってください。

1 チューナー前面右側のとびらを開ける

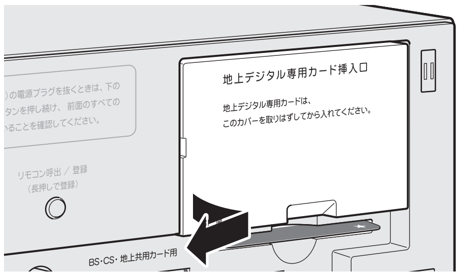


2 挿入口1にBS・CS(110度)・地上共用カードを入れる

● 図の向きにして、奥までしっかりと差し込みます。

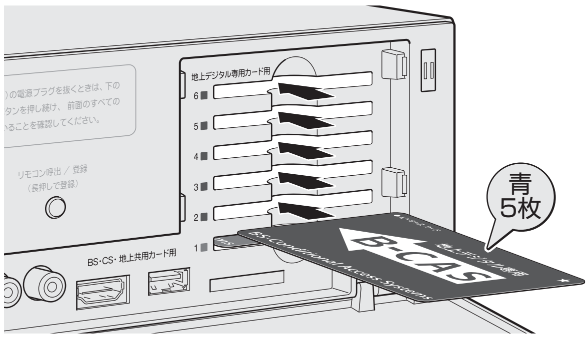


3 地上デジタル専用カード挿入口のカバーを取りはずす



4 挿入口2～6に地上デジタル専用カード5枚を入れる

● 図の向きにして、奥までしっかりと差し込みます。



5 地上デジタル専用カード挿入口のカバーを取り付け、チューナー前面右側のとびらを閉める

テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」7 ~ 13 を必ずお読みください。

⚠警告	■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。
⚠注意	■ 転倒・落下防止の処置をする 地震などでのテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

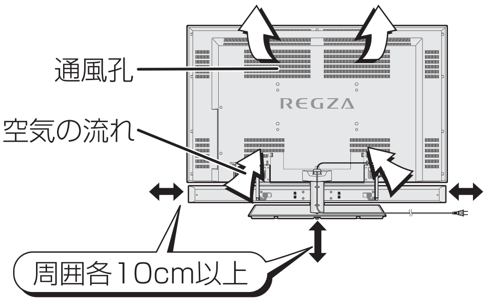
正しい置きかた

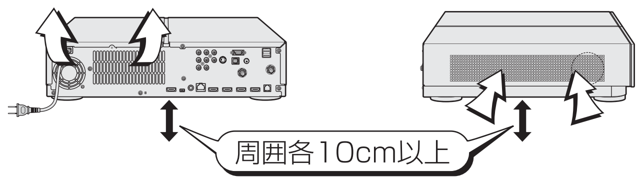
■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください

● テレビ台を使用する場合は、テレビ台の取扱説明書をよくお読みください。

■ 周囲から離して置いてください

● 本機（モニターおよびチューナー）の内部は高温になります。常に涼しい空気が取り込まれるよう、解放された場所に設置し、上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。また、通風孔をふさがないでください。





モニターの転倒・落下防止のしかた

● 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● この取扱説明書では、卓上スタンド（別売品）を使用した場合の転倒・落下防止のしかたを説明します。ほかのタイプの専用スタンドをご使用の場合は、それぞれのスタンドに付属されている取扱説明書をご覧ください。

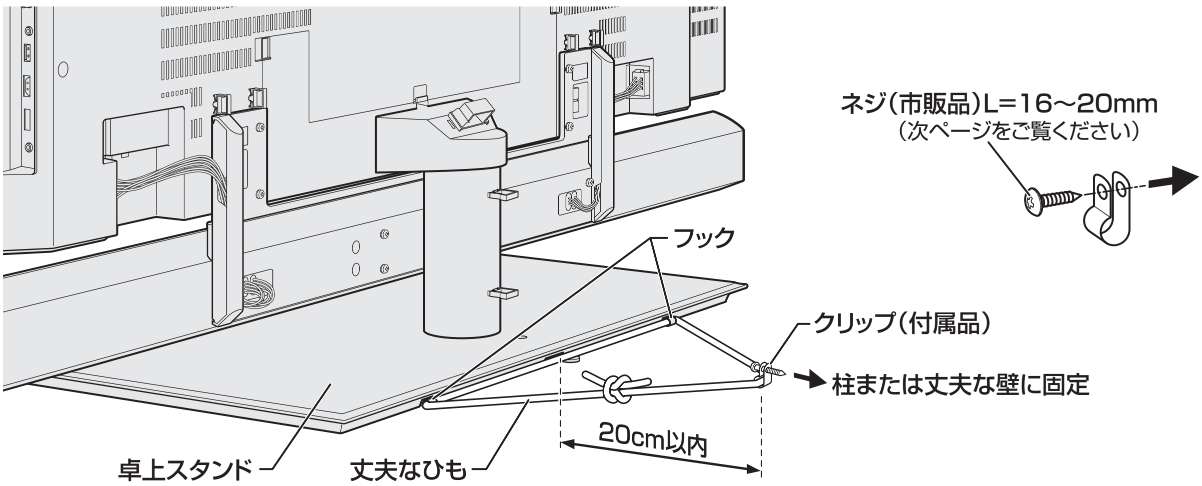
壁または柱などに固定するとき

● 卓上スタンド背面のフックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選んで、丈夫なひもで固定してください。

● クリップは卓上スタンド背面のフックと同じくらいの高さの場所にネジ（市販品）で取り付けてください。

! 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因となるので使用しないでください。

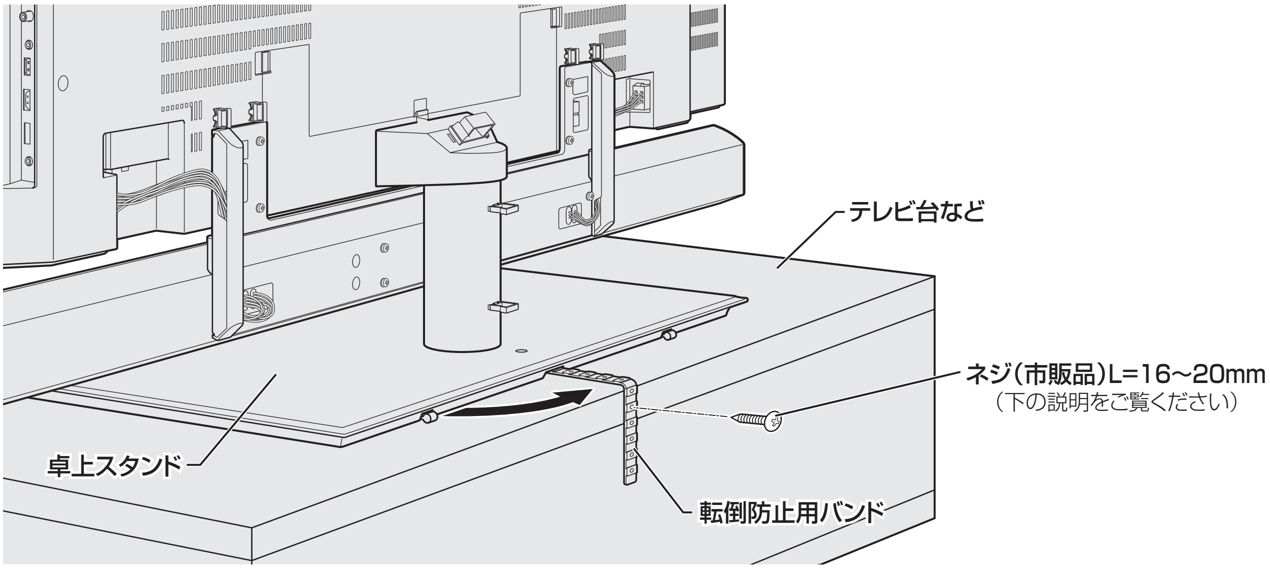
! 移動するときは、ひもをはずしてください。



転倒防止バンドを使用して固定するとき

● 卓上スタンド底面の転倒防止バンドを後方に回転させて、設置するテレビ台などの確実に支持できる背面にネジ(市販品)で固定してください。

! 後方には倒れます。固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様がはいれないようにしてください。

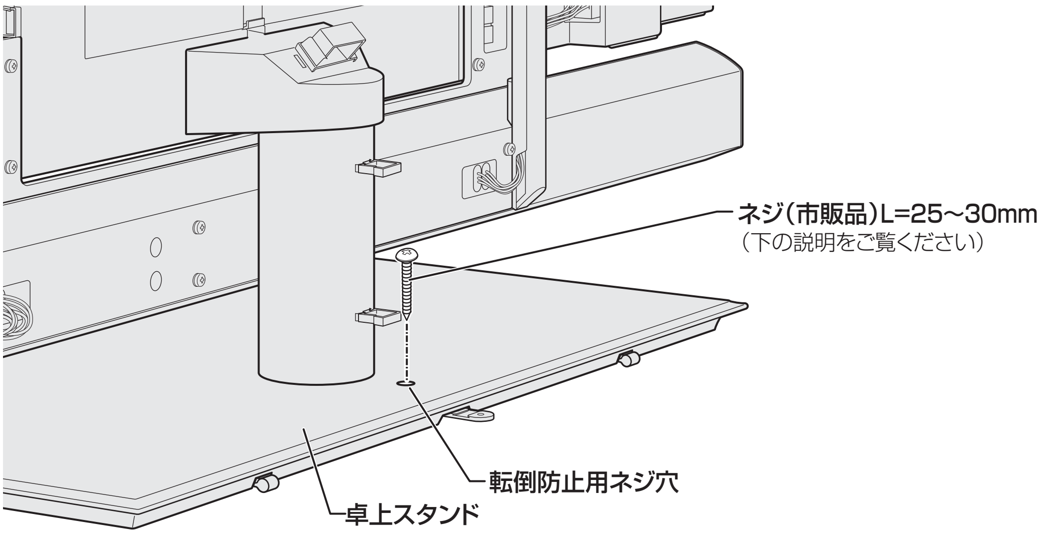


転倒防止ネジ穴を使用して固定するとき

● 転倒防止ネジ穴を使ってネジ(市販品)で卓上スタンドを設置面にしっかりと固定します。

● 材質のしっかりした、十分に厚い場所に固定してください。

! 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。



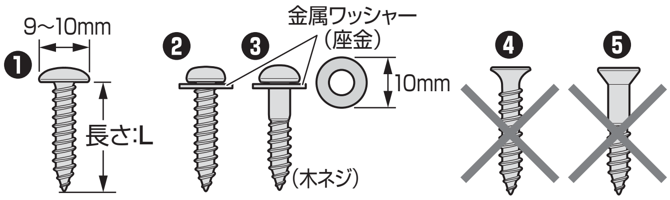
固定用のネジ(市販品)について

● 右図を参考に、固定する場所の状況に応じて、しっかりと固定できる長さのタッピングネジや木ネジをご使用ください。

● 頭の形状が❷:ナベ、❸:丸のネジは、固定部の変形・破損防止のためにワッシャーを併用してください。

! 頭の形状が❹:ラッパ、❺:皿のネジは使用しないでください。

● ネジの太さは、公称3.8～4.1mmのものをご使用ください。



お願い

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

アンテナを接続する

※ **アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。**

● アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

ご注意

● 同軸ケーブル(アンテナ線)のF型コネクターがネジ式の場合は、ゆるまない程度に手で締めつけてください。工具などで締めつけすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。

● F型コネクターが差込式の場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。ゆるいものを使用すると接続が不完全になり、正常に受信できなかったり、映らなくなったりすることがあります。

VHF/UHFアンテナの接続

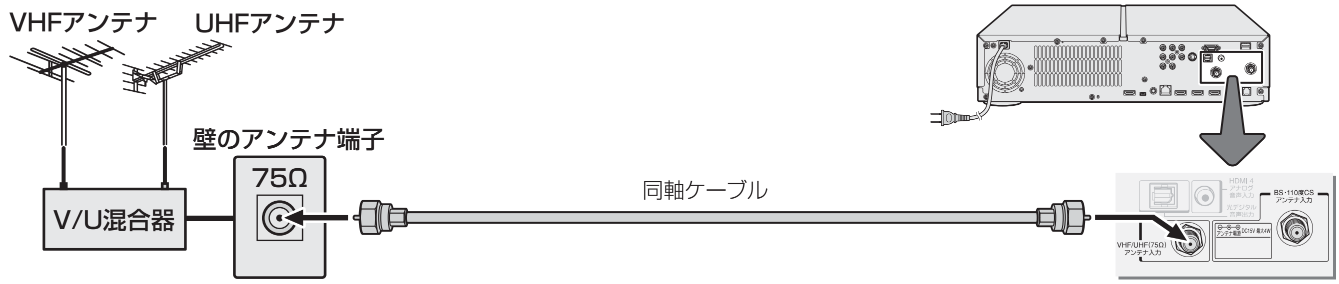
● 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

● 地上デジタル放送はUHFアンテナで受信します。UHFアンテナが設置されている場合はそのままで受信できることもありますが、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。

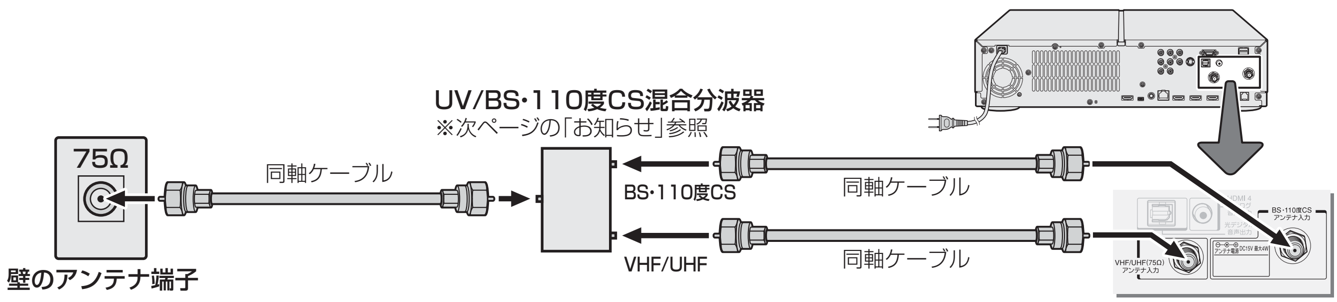
● お住まいの地域で地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お買い上げの販売店または「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」(TEL. 0570-07-0101)にご相談ください。(放送エリア内でも、ビルなどの障害物がある場合は視聴できないことがあります)

● 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか確認してください。曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。ケーブルにF型コネクターの取付加工をする場合は、心線とアース線がショートしないようにしてください。

アンテナがVHF/UHF混合の場合(またはVHFだけ、またはUHFだけの場合)

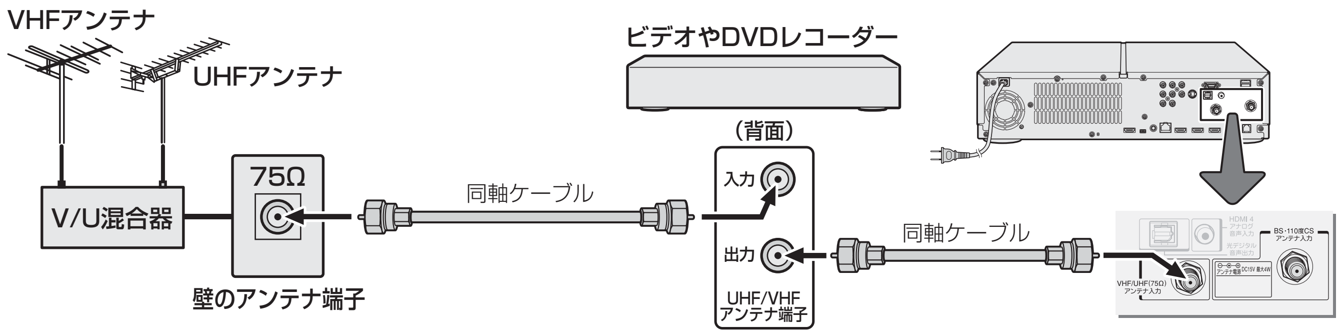


マンションなどの共聴システムのとき(VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき)



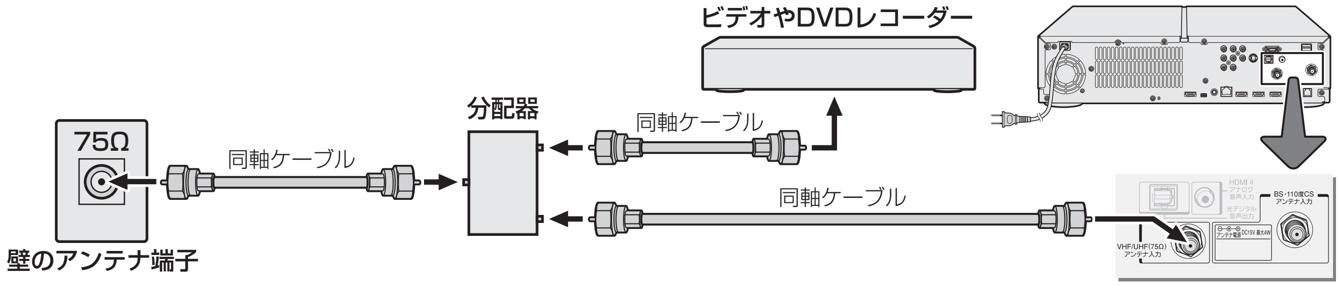
● 「はじめての設定」 34 のあとで「BS・110度CSアンテナ電源供給」を「供給しない」に設定してください。詳しくは 75 をご覧ください。

ビデオやDVDレコーダーを経由して接続するとき(壁の端子が75ΩでビデオなどのV・U混合のとき)



● 「はじめての設定」 34 をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、ビデオやDVDレコーダーを経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。次ページの「分配器を使用するとき」もお試しください。症状が改善されない場合は、「正しく受信できないとき」 38 をご覧ください。

分配器を使用するとき

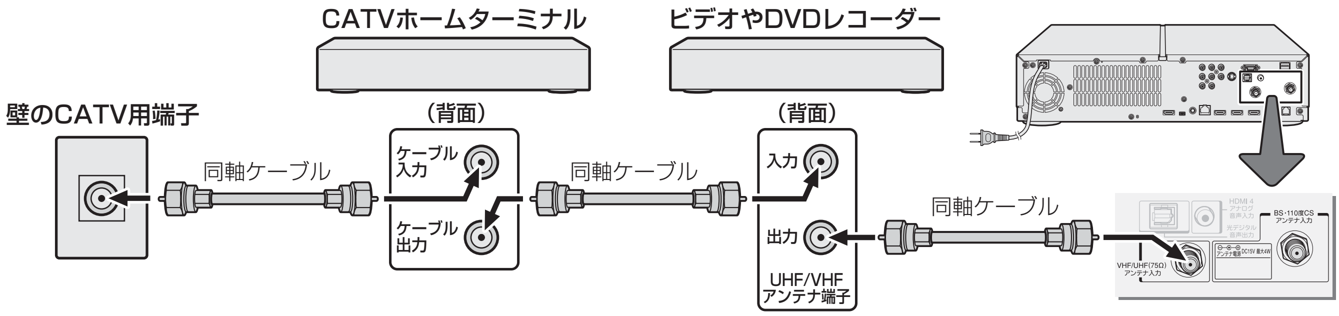


VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

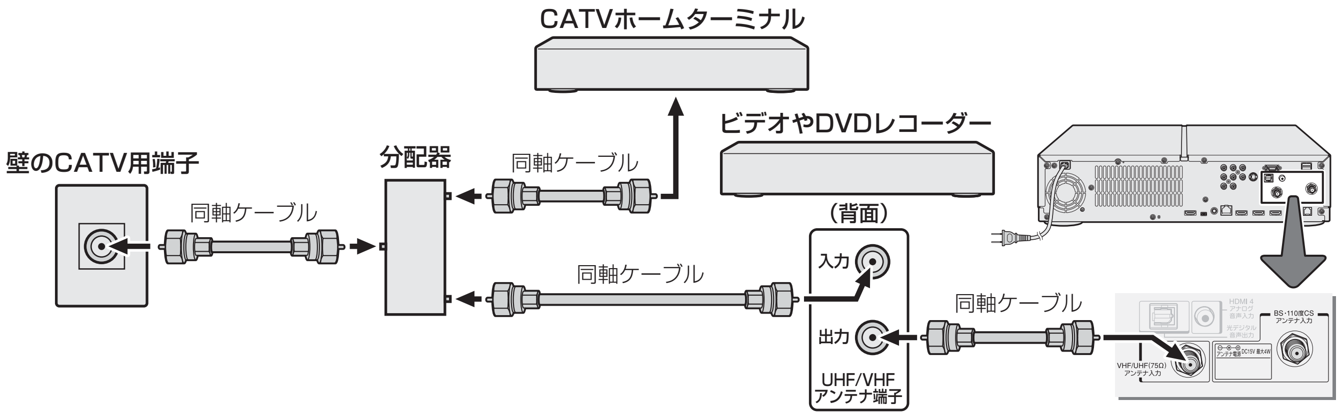
- V/U混合器、形名HMX-77（別売品）などが必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のとき

- CATVホームターミナルによっては端子の名称が異なる場合があります。接続方法や、地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。



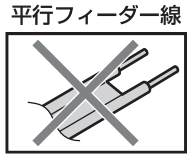
- 地上デジタル放送のUHF電波が壁のCATV用端子に送られてきている場合でも、CATVホームターミナルによっては「ケーブル出力」端子にその電波が出力されないことがあります。その場合には、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。



お知らせ

- VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをご使用ください。
  平行フィーダー線を使用すると、受信状態が不安定になったり、妨害電波によって画面が乱れたり、画面にノイズが出たりすることがあります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- VHF、UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

平行フィーダー線



■ **地上デジタル放送を受信する場合**

- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものを選び、妨害波の影響などを防ぐために空き端子には終端抵抗器（75Ω）を接続してください。（お買い上げの販売店にご相談ください）
- 一般的に地上デジタル放送はUHFアンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システム（VHF帯、またはUHF帯）で伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

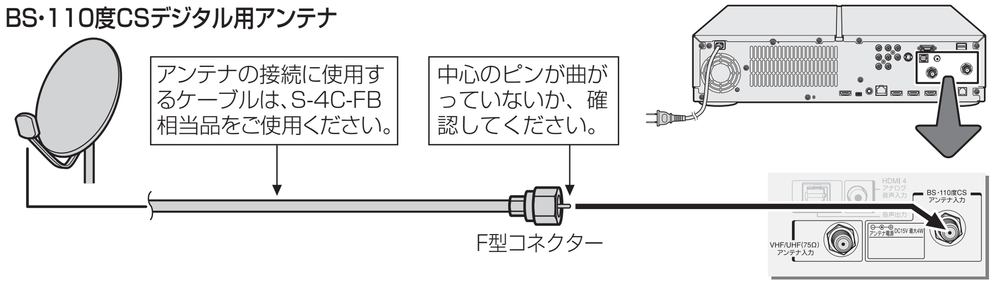
アンテナを接続する つづき

BS・110度CSデジタル用アンテナの接続

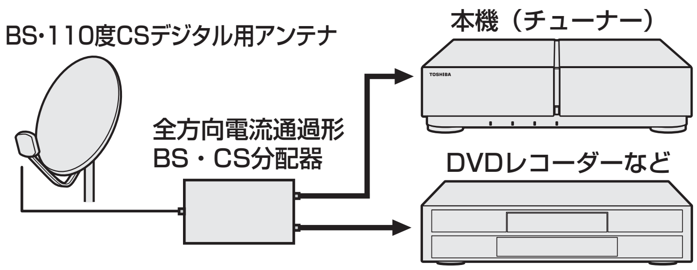
- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- F型コネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。
- BSデジタル放送だけを視聴する場合はBSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送も視聴する場合はBS・110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。(以下、これらのアンテナをBS・110度CSデジタル用アンテナと記載します)
- 本機とBS・110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS・CSデジタル対応のケーブル(S-4C-FB相当)をご使用ください。
- 110度CSデジタル放送を受信する際にブースターやBS・CS分配器が必要な場合は、110度CSデジタル放送(周波数2150MHz以上)に対応したものを使用してください。対応していないものを使用した場合には、110度CSデジタル放送を受信できません。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

ご注意
- 本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からBS・110度CSアンテナに電源を供給します。ケーブルにF型コネクターの取付加工をする場合は、心線とアース線がショートしないようにしてください。

BS・110度CSデジタル用アンテナを接続するとき



BS・110度CSデジタル用アンテナ1台で、本機などBSや110度CS機器を2台以上接続するとき



※ BS・CS分配器の例
- 2分配 CSG-D2B(別売品)など
- 3分配 CSG-D3B(別売品)など
- 4分配 CSG-D4B(別売品)など

※ BSや110度CS機器を接続するときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。
※ 将来、110度CSデジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

アンテナ電源について

- BS・110度CSデジタル用アンテナは電源を必要とします。本機にはアンテナ電源を供給する機能がありますが、マンションなどの共聴システムや他の機器などから供給されている場合は、本機から供給する必要はありません。
「はじめての設定」34 のあとで、お使いの条件に合わせて「BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給」75 の設定をしてください。

マンションなどの共同受信の場合

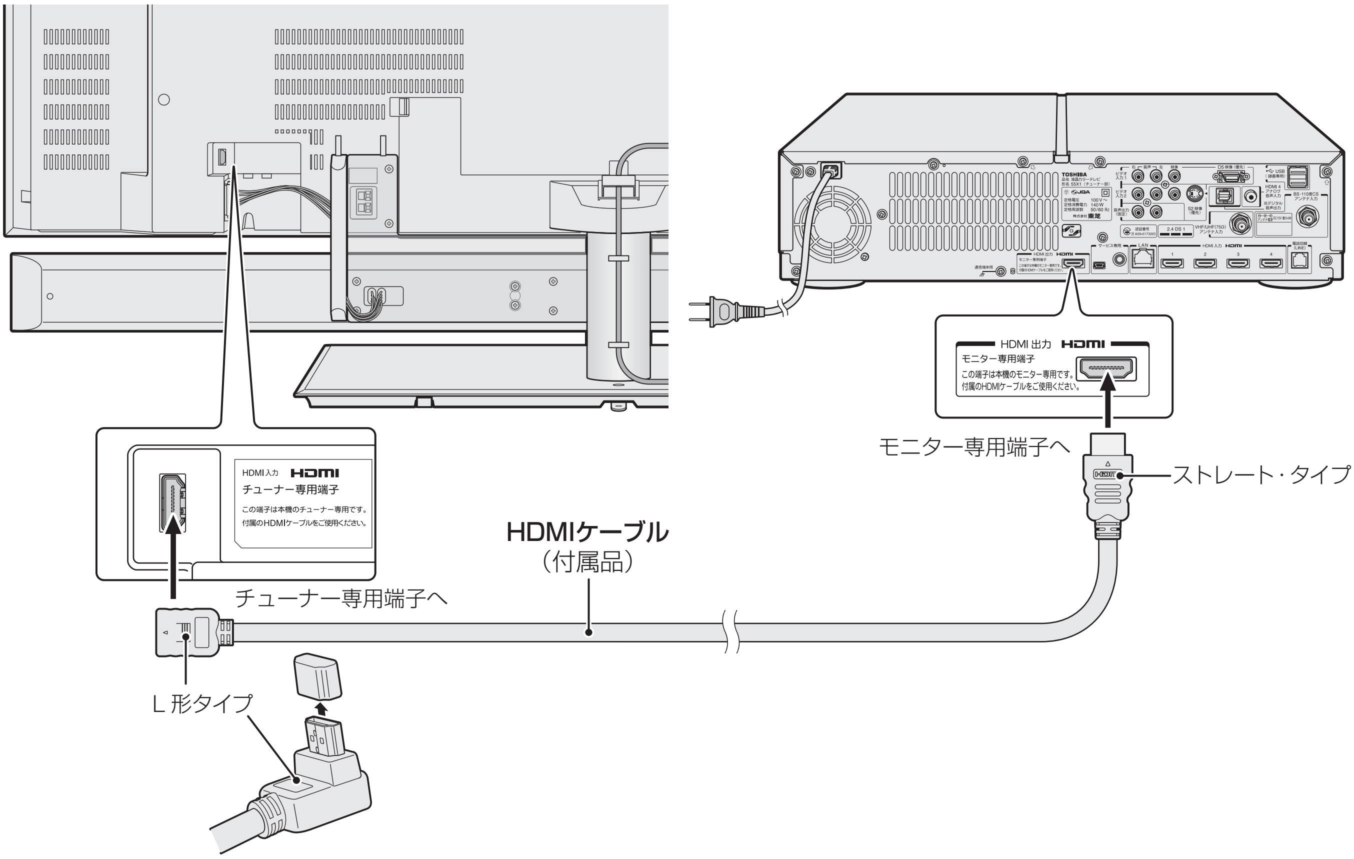
- お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかどうかは、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
既存の設備で受信できない場合には、BS・110度CSデジタル用アンテナの設置・接続が必要です。

ご注意
■BS・110度CSデジタル用アンテナの設置について
- マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備にはアンテナを設置できません。また、避難通路や消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また、建物の管理者にもご相談ください。

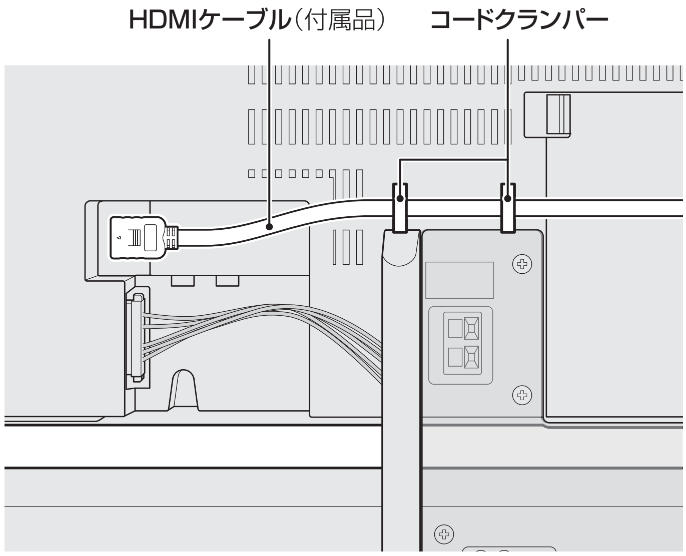
お知らせ
- 本機でアンテナレベルを確認しながら、BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整76をすることができます。
- BSアナログ放送用のBSアンテナではBSデジタル放送を受信できないことがあります。また、BSアンテナやスカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

チューナーとモニターを接続する

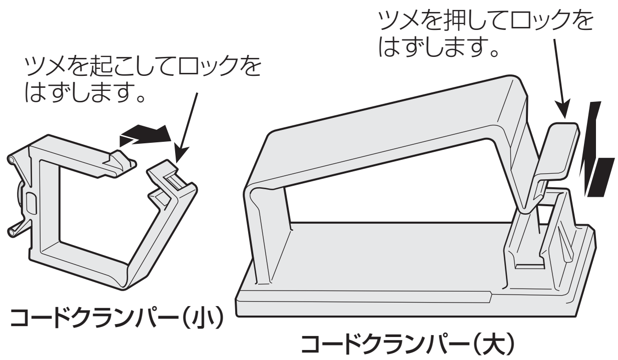
- 付属のHDMIケーブルで、モニターの「チューナー専用端子」とチューナーの「モニター専用端子」を接続します。
- HDMIケーブルを使用する際に、ケーブル両側のコネクターから保護キャップを取りはずしてください。
- モニター側にL形タイプのコネクターのほうを差し込んでください。



- 接続が終わったら、モニター背面のコードクランパーでHDMIケーブルを保持します。
  - ケーブルが整理されてすっきりします。
  - 「チューナー専用端子」への荷重が軽減されます。



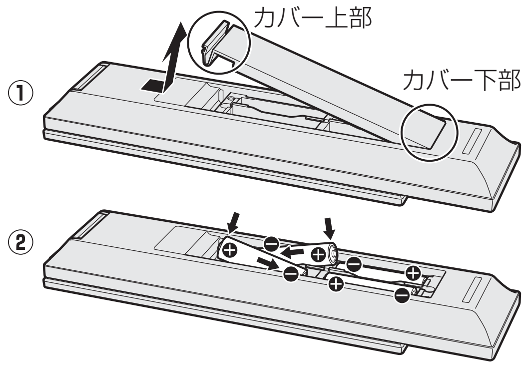
■コードクランパーの使いかた



リモコンの準備をする

乾電池を入れる

● 単四形アルカリ乾電池専用です。LR03を4個ご使用ください。
お買い上げ時は単四形アルカリ乾電池LR03が4個付属されています。



1 カバーをはずし、乾電池を入れる

① カバーをはずすときは、カバー上部の▭部分をカバー下部方向に押しながらすくい上げます。
② 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

● カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

タッチパッド／カーソルボタンの使いかた

なぞって使うとき（タッチパッド機能）

● タッチパッドを指先で⁜の方向になぞると、選択する対象が矢印の方向へ移動します。
● タッチパッドの上端または下端、左端または右端の部分をなぞると、ページ切換ができます。（番組表など、ページ数が複数あるときに使用できます）
● 手書きで文字入力をすることができます。（操作編 115）

ダブルタップ（タッチパッド機能）

● ⏎（ワンタッチリプレイ）、➡（ワンタッチスキップ）は、◌の部分をダブルタップ（押さずに、指先で2回続けて軽くたたく）します。（操作編 65 など）

押して使うとき（カーソルボタン機能）

● タッチパッドの╋の部分を押すと、押すたびに選択する対象が一つずつ移動します。（上を押すと上へ移動します）

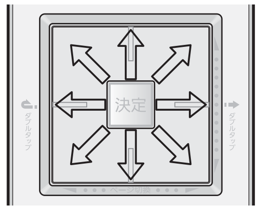
操作手順説明文中の表記について

● メニュー操作などでは、操作する部分を黒く表記します。以下の例の場合は、上や下を押すことを意味します。

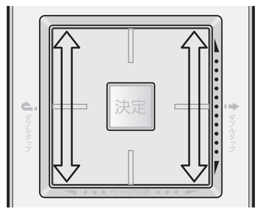
例 **設定する項目を ╋ で選び、‥‥**

● この準備編ではタッチパッド機能を使用する操作はありません。

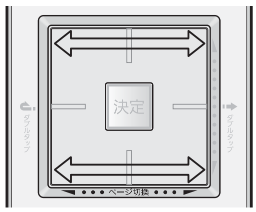
なぞる（選択）



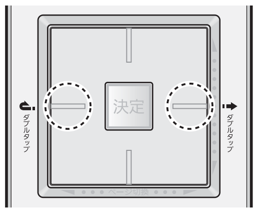
なぞる（上下ページ切換）



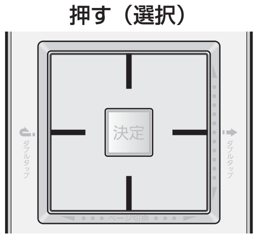
なぞる（左右ページ切換）



ダブルタップ



押す（選択）



ご注意

■リモコンについて
● 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
● 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
● 分解しないでください。
● 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。



お願い

■ 乾電池について
● 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら4個とも新しい乾電池と交換してください。（ボタン操作ができなくなる前に、タッチパッドの操作やリモコン呼出機能 91 が使用できなくなったりすることがあります）
● 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

● 電源は、以下の準備が終わってから入れてください。

準　備	記載ページ
スタンド、スピーカーの取付け	18～19
B-CASカード挿入	25
設置	26～27
アンテナの接続	28～30
チューナーとモニターの接続	31
リモコンの準備	32

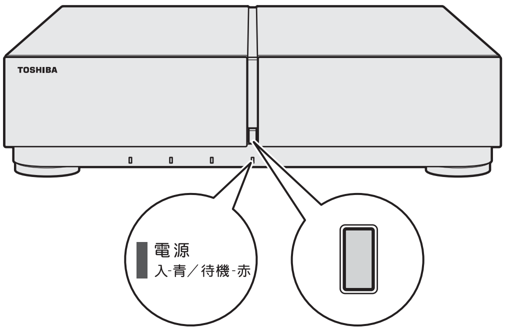
1 チューナーとモニターの電源プラグをコンセントに差し込む

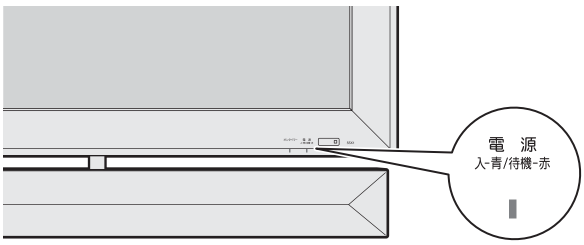
● 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

● 番組情報を取得するために、電源プラグは非常時と長期間使用しないとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

※ 電源プラグを抜くときは、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14の操作をしてください。

2 チューナー前面の電源ボタンを押す





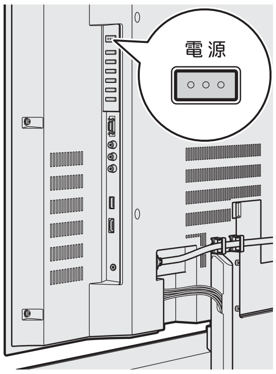
● チューナーとモニターの電源が「入」になり、「電源」表示が青色に点灯します。

● B-CASカードが正しく挿入されていないと、モニターの画面にメッセージが表示されます。

● もう一度チューナーの電源ボタンを押すと、チューナーとモニターの電源が「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。

※ 上記の操作でモニターの電源が「入」や「待機」にならないときは、チューナーとモニターの接続をご確認ください。31

モニターの電源ボタンについて



● モニターの電源ボタンでも、チューナーとモニターの電源を連動操作できます。
ただし、電源が「入」のときに押すと、以下のようになります。

- チューナーの電源が「待機」になり、チューナーの「電源」表示が赤色に点灯します。
- モニターの電源が「切」になり「電源」表示が消灯します。
- リモコンでの操作ができなくなります。
電源を入れるには、モニターまたはチューナーの電源ボタンを押します。

はじめて電源を入れたとき

● 「リモコン登録」の画面が表示されます。
次ページの手順に従って登録してください。

● リモコンの登録が終わると、続いて「はじめての設定」の画面が表示されます。
35の手順 **2** 以降に従って設定してください。

リモコンで電源を入/待機にするには

※ リモコンは、次ページの「リモコンの登録」をしたあとに使用できるようになります。

● 電源「入」の状態でリモコンの電源を押すと電源が「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。

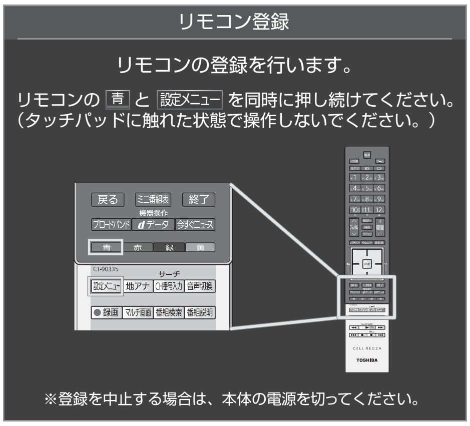
● 「待機」のときにリモコンの電源を押すと電源が「入」になり、「電源」表示が青色に点灯します。

※ モニターの電源を「切」にしている場合、リモコンで「入」にすることはできません。

設置と基本の接続・設定　電源を入れる

リモコンを登録する

● 付属のリモコンで本機の操作ができるようにするには、以下の手順でリモコンを登録する必要があります。



1 リモコンの［青］と［設定メニュー］を押し続ける

● 登録の処理が始まります。

2 「登録しました。」のメッセージが表示されたら、［青］と［設定メニュー］を放す

● 以下のような場合には、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 乾電池の消耗または接触不良または極性間違い
- 本体（チューナー）との距離が遠すぎる、または電波をさえぎる障害物がある
- ［青］と［設定メニュー］を押すときにタッチパッドに触れている

※ 登録済のリモコンで登録の操作はできません。
中止するには、チューナーの電源ボタンを押してください。

3 ［決定］を押す

● 「はじめての設定」の画面が表示されます。右欄の説明を読み、次ページ以降の手順で設定してください。

はじめての設定をする

● 本機を使えるようにするための基本的な設定をします。（この設定をしないと、地上デジタル放送は映りません）
● 設定の項目と順番は下表のとおりです。

B-CASカードの確認
すべてのB-CASカードが正しく挿入されているか確認します。

▼

地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定
地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネルを同時に設定します。また、地域の設定もします。

▼

郵便番号の設定
お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を視聴するための設定です。（電話回線 67 を使用する場合には、この設定によって、通信の際にもよりのアクセスポイントが利用されます）

▼

おまかせ音声設定
音声メニューを「おまかせ」にするかどうかを設定します。「おまかせ」に設定すると、デジタル放送の番組やシーンに合わせて音質が自動的に切り換わります。

▼

タイムシフトマシン録画設定
地上デジタル放送で、タイムシフトマシン録画機能を使用するかどうかを設定をします。
タイムシフトマシン録画は、指定した曜日・時間に地上デジタル放送の自動録画をする機能です。

※ 「はじめての設定」は何度でもできますが、やり直した場合はそれまでに手動で設定していた内容（地上デジタル放送や地上アナログ放送、地デジ機能のチャンネルを手動で設定した内容など）は消去されます。双方向サービスの情報（お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など）は消去されません。

お知らせ

■「地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定」について
● 地上デジタル放送の場合
次ページの手順 ***8***（または 77 ）の「初期スキャン」をすることで、本機が地上デジタル放送の受信できるチャンネルを探し、リモコンの［1］～［12］に自動設定します。**（「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）**
自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
※ 初期スキャンによってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常に受信できないことがあります。
※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」 80 をしてください。
● 地上アナログ放送の場合
入力された地方、地域に応じて、リモコンの［1］～［12］に自動的にチャンネルが設定されます。
自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（ 105 ～ 109 ）をご覧ください。
※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」 81 をしてください。

■ 地方と地域の設定について
● チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」の手順 ***5***～***7*** で設定された地方、地域に基づいて行われます。
手順 ***11*** の郵便番号でも地域を設定しますが、それは地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）を視聴したり、電話回線での通信をもよりのアクセスポイントで利用したりするための設定であり、手順 ***5***～***7*** の設定とは別のものです。

■ 新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき
● 地上デジタル放送の放送局が新たに開局された場合や、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえたなどの場合は、「自動設定」の「再スキャン」 78 をしてください。新たに受信できたチャンネルが追加設定されます。

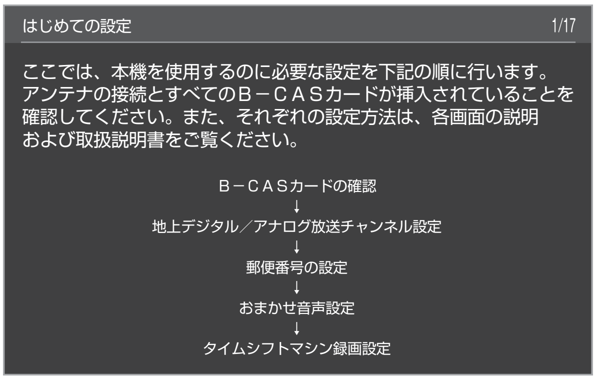
※ はじめて電源を入れたときは、手順 *1* の操作は不要です。

1 以下の操作で「はじめての設定」画面にする

❶ 設定メニュー を押す

❷ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❸ で「はじめての設定」を選び、決定 を押す

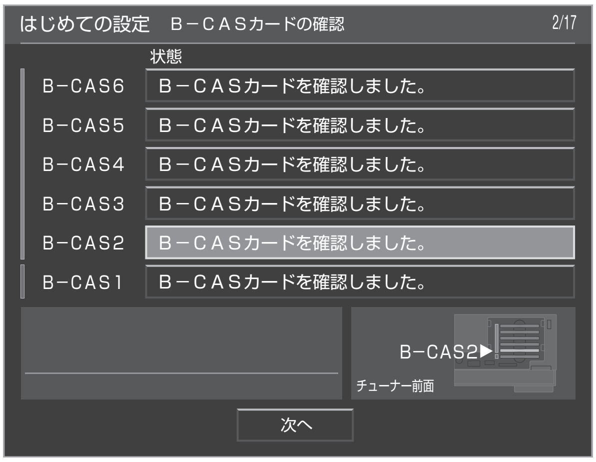


B-CASカードの確認

● 6枚のB-CASカードすべてが正しく挿入されているか確認します。

2 画面の説明を読んで、決定 を押す

● 「B-CASカードの確認」画面が表示されます。



● 正しく挿入されていないなどの不具合がある場合は、メッセージが表示されます。赤カードが挿入口［1］に挿入されているか、すべてのカードが正しい向きで奥まで挿入されているか、確認してください。

3 すべてのカードの状態が「B-CASカードを確認しました。」と表示されたら、 で「次へ」を選んで 決定 を押す

● B-CASカードの確認が終わると、「地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定」の説明画面が表示されます。

地上デジタル／アナログ放送チャンネル設定

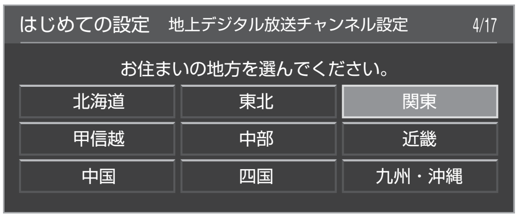
● 地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネルを設定します。データ放送の地域が同時に設定されます。

4 画面の説明を読んで、決定 を押す

● 地方を選ぶ画面が表示されます。

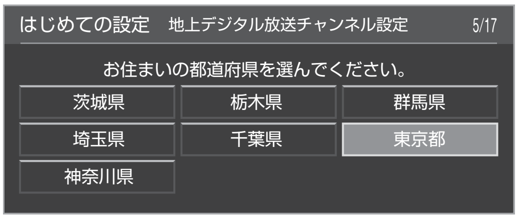
5 お住まいの地方を で選び、決定 を押す

例



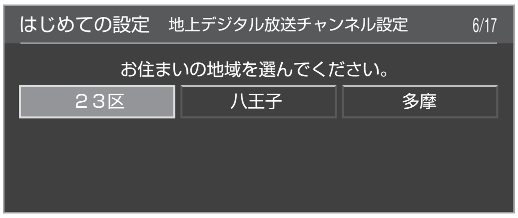
6 お住まいの都道府県を で選び、決定 を押す

例



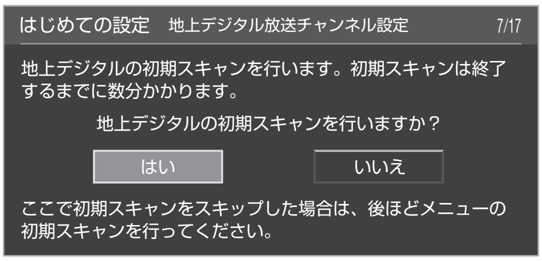
7 お住まいの地域を で選び、決定 を押す

例



● お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

8 画面の説明を読み、 で「はい」を選んで 決定 を押す



● 初期スキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んでください。

はじめての設定をする つづき

● 「いいえ」を選んだ場合は、手順 **10** に進みます。

※ 県外への転居などで「はじめての設定」をやり直した場合は、データ放送用メモリーの割当画面が表示されることがあります。その場合は、「データ放送用メモリーの割当て」87 を参照して設定してください。

9 地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定　9/17

初期スキャンを終了しました。
地上デジタル放送の設定内容を確認しますか？
はい　いいえ

❶ で「はい」を選び、決定 を押す

● 設定内容の確認画面が表示されます。

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定　10/17

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	―――	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

リモコンボタンの番号
を押せば、7～12が表示されます。

❷ 設定内容を確認して 決定 を押す

10 地上アナログ放送チャンネルの設定内容を確認する

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定　11/17

地上アナログ放送の設定内容を確認しますか？
はい　いいえ

❶ で「はい」を選び、決定 を押す

● 設定内容の確認画面が表示されます。

例

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定　12/17

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ1	NHK総合
2	16	地アナ2	放送大学
3	3	地アナ3	NHK教育
4	4	地アナ4	日本テレビ
5	14	地アナ16	TOKYO MX
6	6	地アナ6	TBS

リモコンボタンの番号
を押せば、7～12が表示されます。

❷ 設定内容を確認して 決定 を押す

● 「郵便番号の設定」の画面が表示されます。

● 以上で地上デジタル放送チャンネルと地上アナログ放送チャンネルの自動設定が終了しました。

● チャンネルの欄が「－－－」となった場合は、放送がないか、または受信できなかったことを示します。

● 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」80、81 をしてください。

郵便番号の設定

● お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴したり、電話回線（ダイヤルアップ通信）を使用した双方向サービスを、もよりのアクセスポイント（接続中継点）で利用したりするための設定です。

● 郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

11 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10(0) で入力し、決定 を押す

● 間違えて入力したときは、 を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。

● 郵便番号入力で、上3ケタを入力して 決定 を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

はじめての設定　郵便番号の設定　13/17

お住まいの郵便番号を入力してください。
デジタル放送では、それぞれの地域に適した番組を放送する場合があります。

1 0 5 - 0 0 2

● 郵便番号の設定が終わると、「おまかせ音声設定」の画面が表示されます。

おまかせ音声設定

● 本機の「音声メニュー」（操作編 47）には、デジタル放送の番組やシーンに合わせて音質を自動的に切り換える「おまかせ」があります。ここでは、その機能を使用するかどうかを設定します。

12 「おまかせ」に設定する場合は、 で「はい」を選んで 決定 を押す

はじめての設定　おまかせ音声設定　14/17

デジタル放送の音声メニューを設定します。
音声メニューを「おまかせ」に設定すると、
番組内のCMやシーン（音楽）を検出して、
それぞれに適した音質に自動調整します。
「おまかせ」に設定しますか？
はい　いいえ

● 「いいえ」を選んだ場合、「音声メニュー」は「ダイナミック」の音質になります。

● 「おまかせ音声設定」が終わると、次は「タイムシフトマシン録画設定」の説明画面が表示されます。

お知らせ

■ 郵便番号の設定について

● データ放送の視聴中に郵便番号の設定を変更した場合、設定を有効にするには設定終了後にデータ放送を選局し直してください。

タイムシフトマシン録画設定

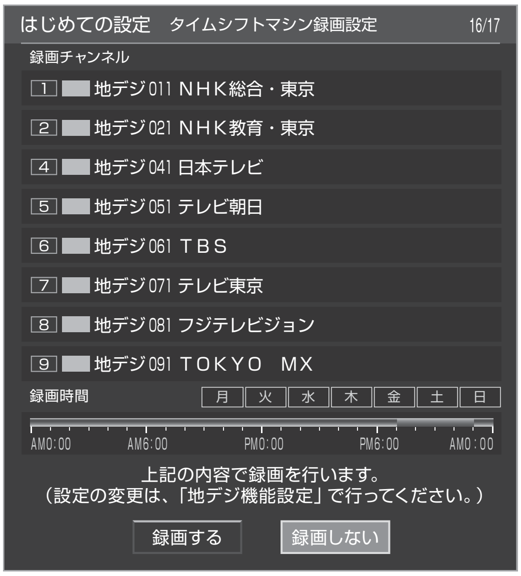
- タイムシフトマシン録画は、指定した曜日･時間に地上デジタル放送の自動録画をする機能です。
- 録画するチャンネルや曜日･時間は以下の操作で自動的に設定されますが、あとで変更することができます。

13 画面の説明を読んで、決定を押す

※ 手順*8*で「いいえ」を選択した場合や、初期スキャンをしても地上デジタル放送チャンネルが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。その場合は、決定を押して手順*15*に進みます。

14 ◁▷で「録画する」または「録画しない」を選び、決定を押す

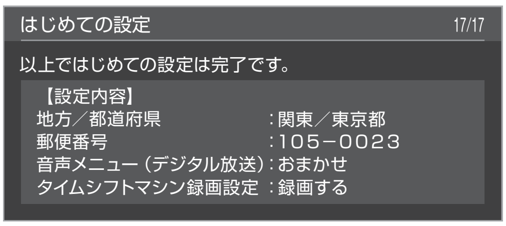
例



- 「録画する」に設定した場合、設定画面に表示されている録画チャンネルが毎日のPM7:00～PM11:00に自動録画されます。
- 録画するチャンネルや曜日、時間の設定をあとで変更することができます。「地デジ機能チャンネル設定」58、「タイムシフトマシン録画設定」60をご覧ください。
- 「録画しない」に設定した場合、タイムシフトマシン録画用のハードディスクを通常録画で使用することができます。「地デジ機能設定」の「ハードディスク設定」61をご覧ください。

15 「はじめての設定」の設定結果の内容を確認し、決定を押す

例

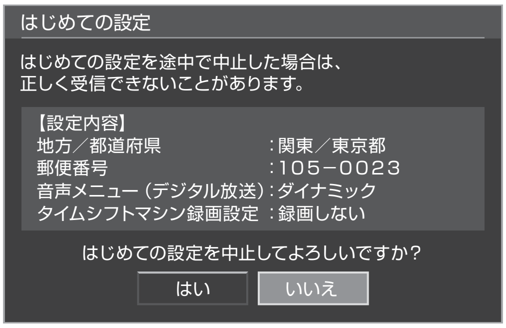


- 以上で「はじめての設定」は終了です。

■「はじめての設定」を中止したとき

※「はじめての設定」の途中で終了を押した場合は、下図の画面が表示されます。

例



❶ ◁▷で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

- 「はい」を選ぶと、「はじめての設定」が終了します。途中まで設定した内容によっては、放送が受信できなかったり、機能が動作しなかったりすることがあります。
- 「いいえ」を選ぶと、終了を押す前の手順に戻ります。

■ タイムシフトマシン録画機能について

- 地上デジタル放送で受信できるチャンネルがない場合は、タイムシフトマシン録画機能を使用することはできません。
- 地上デジタル放送の受信可能地域で、受信できるチャンネルが見つからなかった場合は、次ページの「はじめての設定をしても地上デジタル放送が正しく受信できないとき」の説明をご覧ください。
  アンテナ接続などの問題が解決して、地上デジタル放送が受信できるようになった場合は、「はじめての設定」を手順*1*からやり直すことでタイムシフトマシン録画機能が使用できるようになります。
- 本機をご使用後に地上デジタル放送の運用が開始された地域の場合も、「はじめての設定」を手順*1*からやり直すことでタイムシフトマシン録画機能が使用できるようになります。
- 「地デジ機能チャンネル設定」58で録画チャンネルをお好みに設定している場合、「はじめての設定」をやり直すと録画チャンネルが変更されることがありますので、ご確認ください。

正しく受信できないとき

●以下は代表的な事例です。別冊「操作編」の「困ったときは」もご覧ください。

「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないとき

● 正しく受信できないチャンネルで以下の操作をして、アンテナレベルの数値を確認してください。

❶ クイック を押す

❷ ↕ で「その他の操作」を選び、決定 を押す

❸ ↕ で「アンテナレベル表示」を選び、決定 を押す

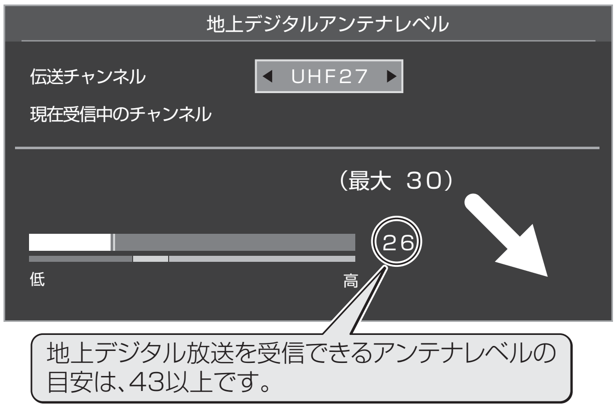
❹ アンテナレベルを確認したら、終了 を押す

❺ 以下の確認や処置をする

- アンテナレベルが低い場合は、アンテナが正しく接続されているかご確認ください。
- 症状が改善されない場合は、アンテナの交換や方向調整が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、「地上デジタル用アンテナの方向調整」75 を参照して、アンテナレベルを確認しながらアンテナの方向を調整してください。
- CATVをご利用の場合やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地上デジタル放送受信に対応しているか、ご契約のCATV会社や共聴システムの管理者にそれぞれお問い合わせください。

❻「はじめての設定」35 の手順 *1* から操作をする

例



「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」79 をしても地上アナログ放送が正しく受信できないとき

● アンテナの種類（チャンネル1～12はVHF、13～62はUHF）や向きが、設定した地域・都市名の条件に合っていることを確認してください。

● 複数の地域・都市名が隣接する地域にお住まいの場合は、地域・都市名を変えて設定すれば受信状態が改善されることがあります。（例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など）
このような場合は、次のようにして設定します。

❶ 近隣の別の地域・都市にアンテナの種類や向きを合わせる

- お買い上げの販売店にご相談ください。

❷「自動設定」の「地上アナログ放送の場合」79 の手順 *1*～*4* の操作をする

❸ 79 の手順 *5* で、アンテナを向けた地域・都市名を選び、決定 を押す

上記の対処をしても地上アナログ放送の一部のチャンネルが正しく受信できないとき

● 受信できるチャンネルを手動設定で探します。

❶「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」81 の手順 *1*～*2* の操作をする

❷ 81 の手順 *3* で、該当する「リモコンボタン」を選び、手順 *4* の❶でほかに受信できる「チャンネル」を選んで、決定 を押す

例：地域・都市名を「横浜・川崎」に設定した場合で、リモコンボタン 7 に割り当てられている「テレビ神奈川」「42CH」だけが正しく受信できないときは、隣接地域の「48CH」（横浜みなと）や「46CH」（小田原）などに変えてみて、正しく受信できるところを探します。

❸ 必要に応じて 81 の手順 *4* の❷～❹の操作で「表示」、「放送局」、「受信地域」を設定する

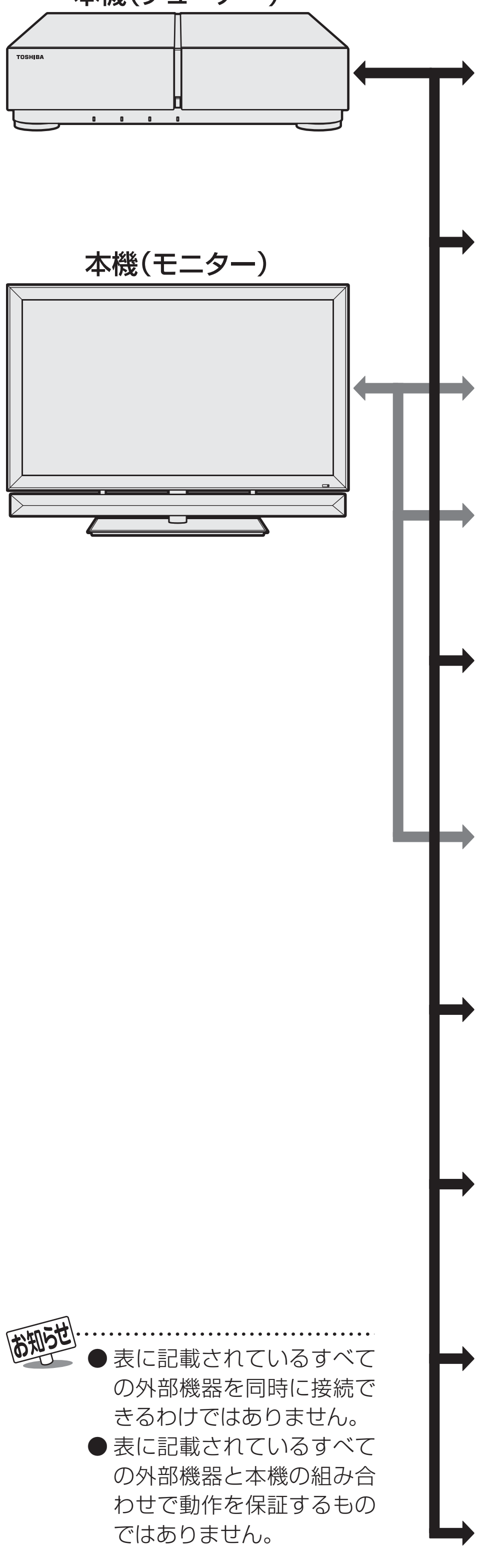
例

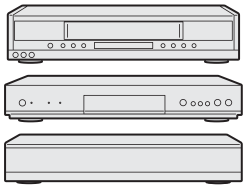
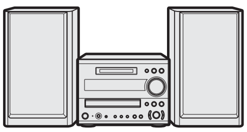
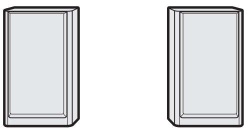
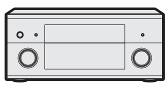
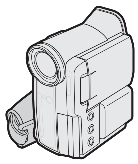
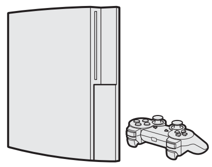
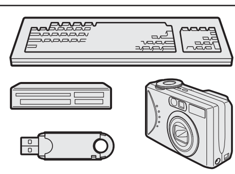
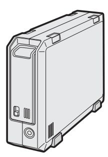
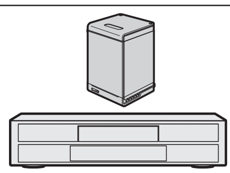


本機に接続できる外部機器一覧

● 本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。

ご注意
- ● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ● 外部機器を接続したり、取りはずしたりするときは、必ず本機および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ● 録画または録音したものは個人的に楽しむほかは、著作権法によって権利者に無断で使用することはできません。



接続できる外部機器		参照ページ
	ビデオ DVD、ブルーレイディスクプレーヤー、レコーダー	接続 40～41 設定 50～52
	オーディオ機器	接続 42～44 設定 45、52
	外部スピーカー	
	外部アンプ（センター出力）	
	ビデオカメラレコーダー	接続 46 設定 50
	ゲーム機	接続 47 設定 50
	パソコン	接続 48 設定 50、52
	USB機器 ・USBキーボード ・メモリーカードリーダー ・デジタルカメラ ・USBメモリー	接続 49
	USBハードディスク	接続 53 設定 54～55
	DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバー	接続 57 確認 57

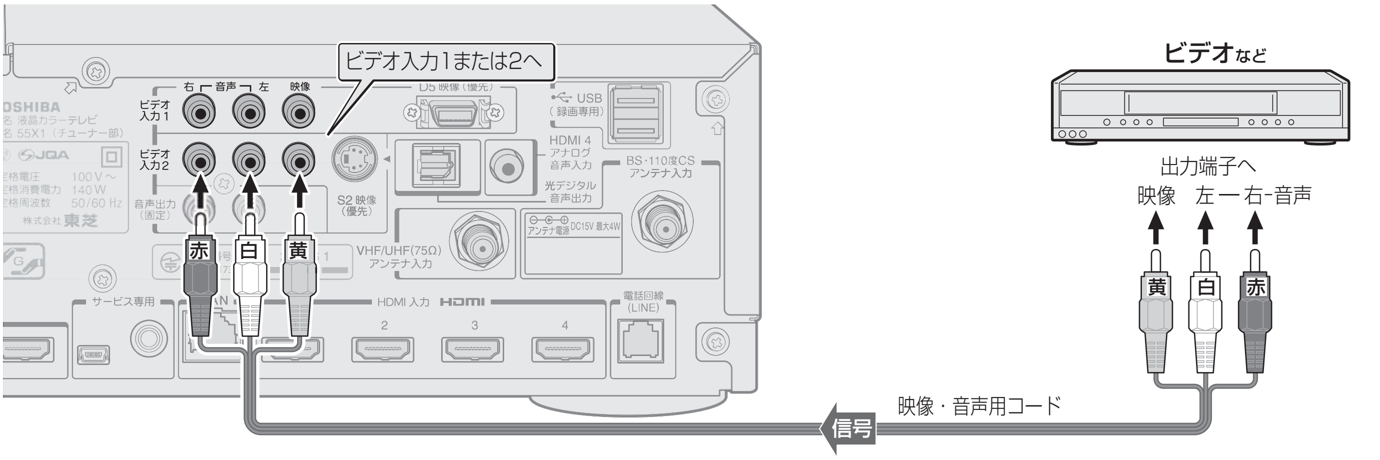
お知らせ
- ● 表に記載されているすべての外部機器を同時に接続できるわけではありません。
- ● 表に記載されているすべての外部機器と本機の組み合わせで動作を保証するものではありません。

お願い
- ● 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ／モノラル変換コードをご使用ください。

ビデオやDVD、ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーを接続する

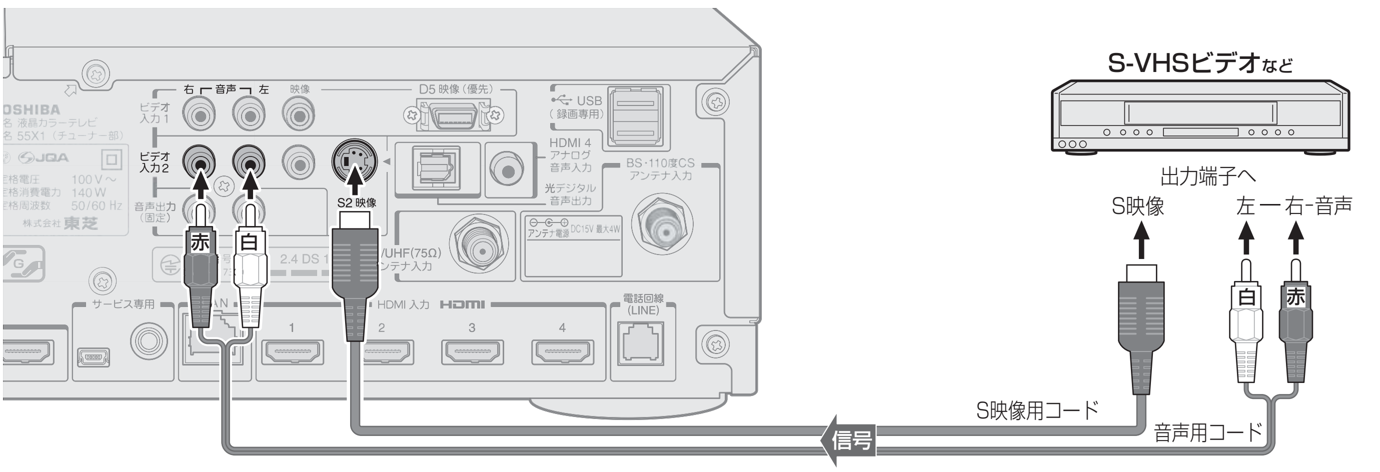
- 外部機器および本機とのアンテナの接続については、28 ～ 30 をご覧ください。
- 接続後は必要に応じて「外部入力設定」50 ～ 51 をしてください。

映像・音声用コードで接続するとき（ビデオなど）



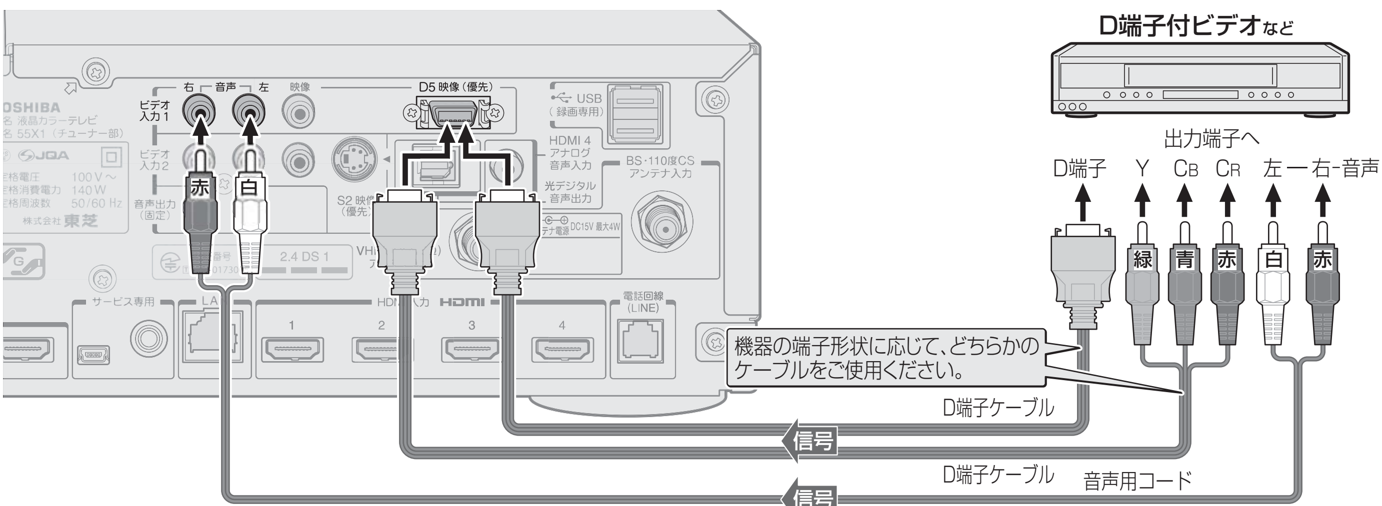
S映像用コードで接続するとき（S-VHSビデオなど）

- 映像・音声用コードで接続する場合よりも、原理的には画質が良くなります。



D端子ケーブルで接続するとき（D端子付ビデオなど）

- D端子ケーブルで接続すればD-VHSビデオのハイビジョン映像も視聴できます。

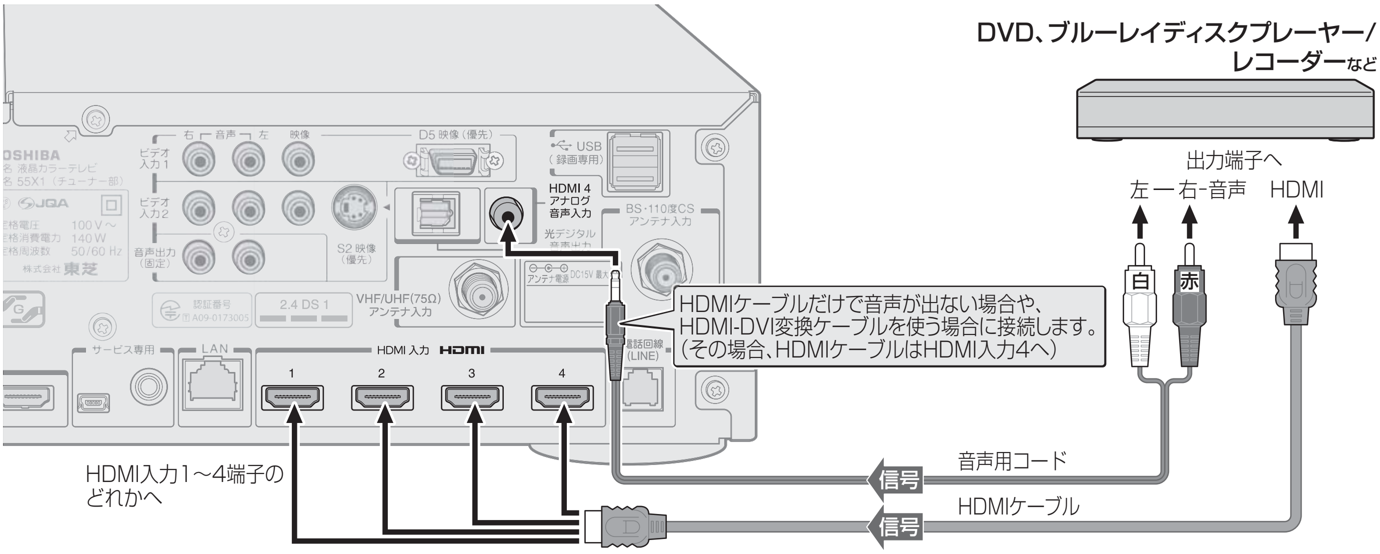


お知らせ

- ビデオ入力1のD5映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、D5映像入力端子からの映像が映ります。
- ビデオ入力2のS2映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、S2映像入力端子からの映像が映ります。
- 本機のD5映像入力端子が対応している映像信号：コンポーネント映像信号480i、480p、720p、1080i、1080p

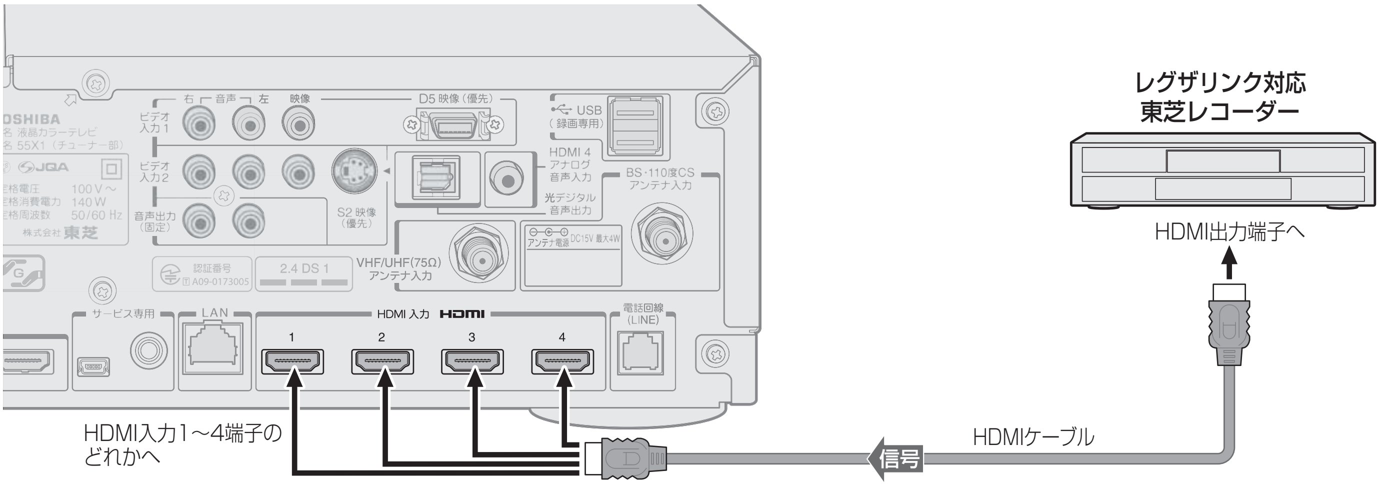
HDMIケーブルで接続するとき(DVD、ブルーレイディスクプレーヤー /レコーダーなど)

● HDMIケーブルで接続すれば、ハイビジョン画質での視聴ができます。(機器の出力信号によります)
● HDMIケーブルだけで音声が出ない機器の場合や、HDMIケーブルのかわりにHDMI-DVI変換ケーブルを使う機器の場合は、HDMI入力4端子に接続し、HDMI4アナログ音声入力端子に音声用コードも接続してください。



レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

● レグザリンク対応の東芝レコーダーと本機をHDMIケーブルで接続すれば、本機から録画予約をしたり、本機のリモコンでレコーダーの基本操作をしたり、本機との連動機能 52 を使ったりすることができます。
● 録画予約や基本操作などについては、「録画・予約をする」(操作編 51)の章、「レグザリンクを使う」(操作編 62)の章をご覧ください。
● 必要に応じて「外部入力設定」50、「HDMI連動設定」52、「ダイレクト録画時間」64 をしてください。
※ モニターのHDMI入力端子(ゲーム入力1)では、レグザリンクの機能は使用できません。



お知らせ

※ 本機の「レゾリューションプラス」と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相乗効果で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス設定」(操作編 41)をオフにしてください。
● レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、135 の❶をご覧ください。

■ HDMI端子について
- 本機にはHDMIおよびDVI機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機のHDMI端子が対応している映像信号　480i、480p、720p、1080i、1080p
- 本機のHDMI端子が対応している音声信号　リニアPCM、MPEG-2 AAC　サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz
  ドルビーデジタル　サンプリング周波数：48kHz
- DVDなどの再生時に、音声の出始めが少し途切れることがありますが、これはデジタル信号の判定のためで故障ではありません。

■ HDMIケーブルについて
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。また、外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cableをご使用ください。(一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)

オーディオ機器を接続する

光デジタル音声入力端子付機器を接続する

■ミニコンポなどの音響システムに接続するとき

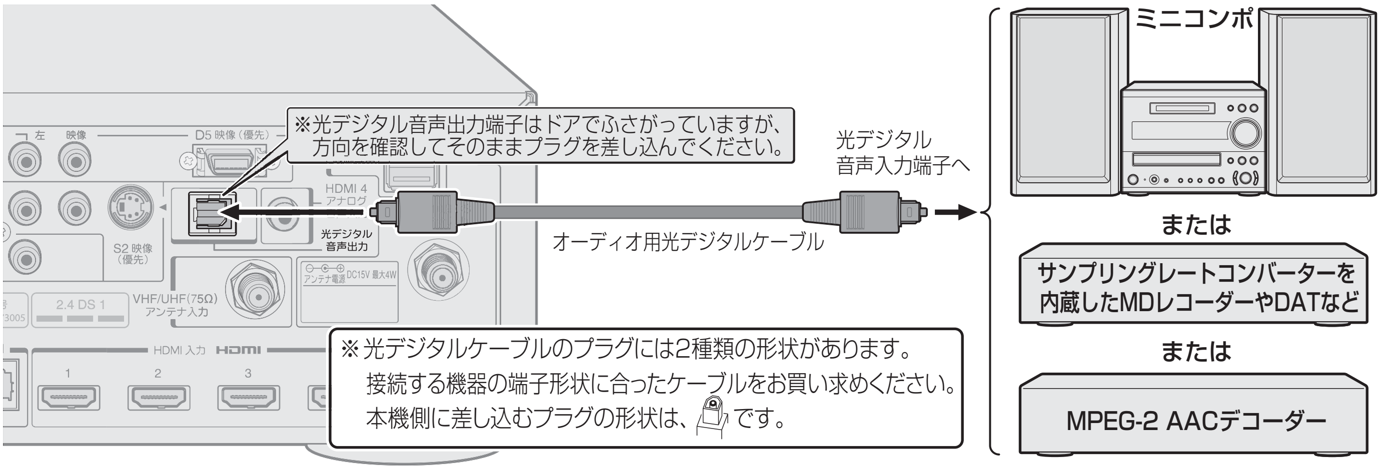
- 本機のスピーカーの音量を最小に調節し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、「光デジタル音声出力の設定」45をします。

■サンプリングレートコンバーターを内蔵したMDレコーダーやDATに接続するとき

- MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 「光デジタル音声出力」45を「PCM」に設定します。

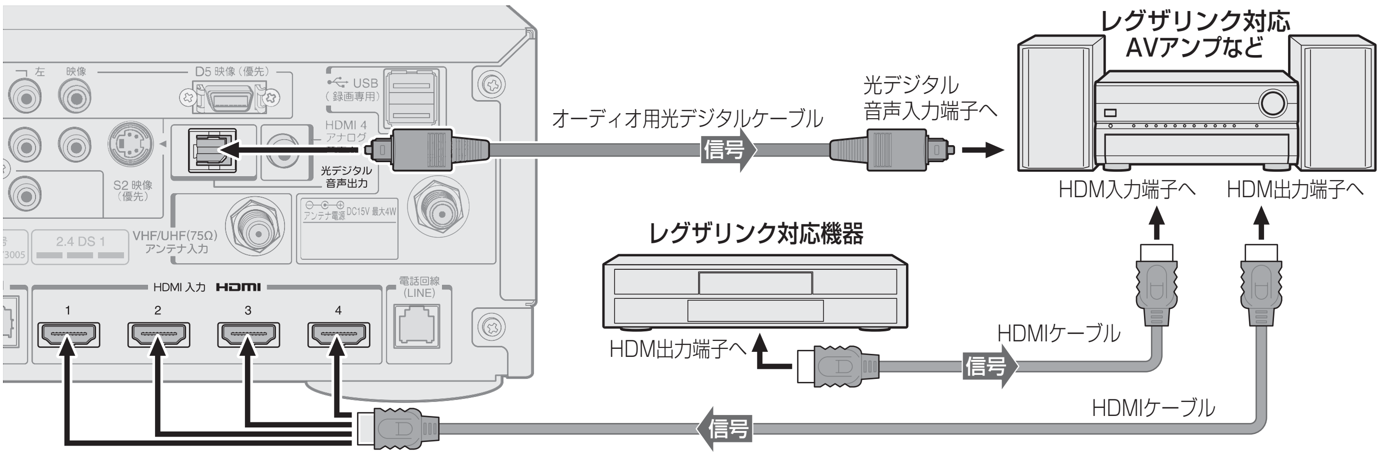
■MPEG-2 AACデコーダーに接続するとき

- デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。
- 「光デジタル音声出力」を「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定します。



レグザリンク対応のAVシステム機器（AVアンプなど）を接続する

- レグザリンク対応のAVシステム機器の場合は、本機のリモコンでAVシステムの音量を調節するなどの操作ができます。
- レグザリンク対応のAVシステム機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器を接続することができます。
- AVシステム機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「光デジタル音声出力」を設定してください。
- 必要に応じて「HDMI連動設定」52をしてください。

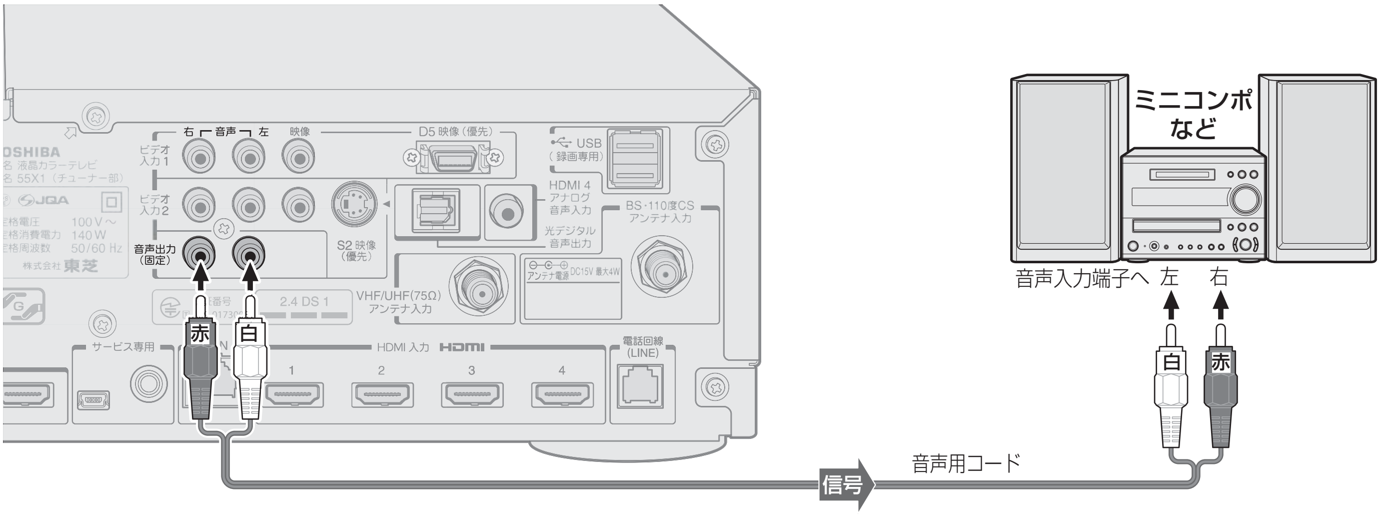


お知らせ

- 光デジタル音声出力および音声出力（固定）端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のデジタル信号が出力されます。ただし、音声メニュー、音声調整、お好み調整、ドルビーボリュームの効果は得られません。（ドルビー DRCの効果は、ドルビーデジタル音声が記録された映像ソフトなどの視聴時に、リニアPCM信号が出力される場合に得られます）
- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、「PCM」（リニアPCM）の場合、48kHz、44.1kHzまたは32kHzです。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC、ドルビーデジタル音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に光デジタル音声出力端子から出力される信号を、他の機器に録音することはできません。
- モニターのゲーム入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子および音声出力（固定）端子から音声信号は出力されません。
- HDMIケーブルおよび本機のHDMI端子については、前ページの「お知らせ」をご覧ください。
- レグザリンク対応AVシステム機器（推奨機器）については、135 の2をご覧ください。

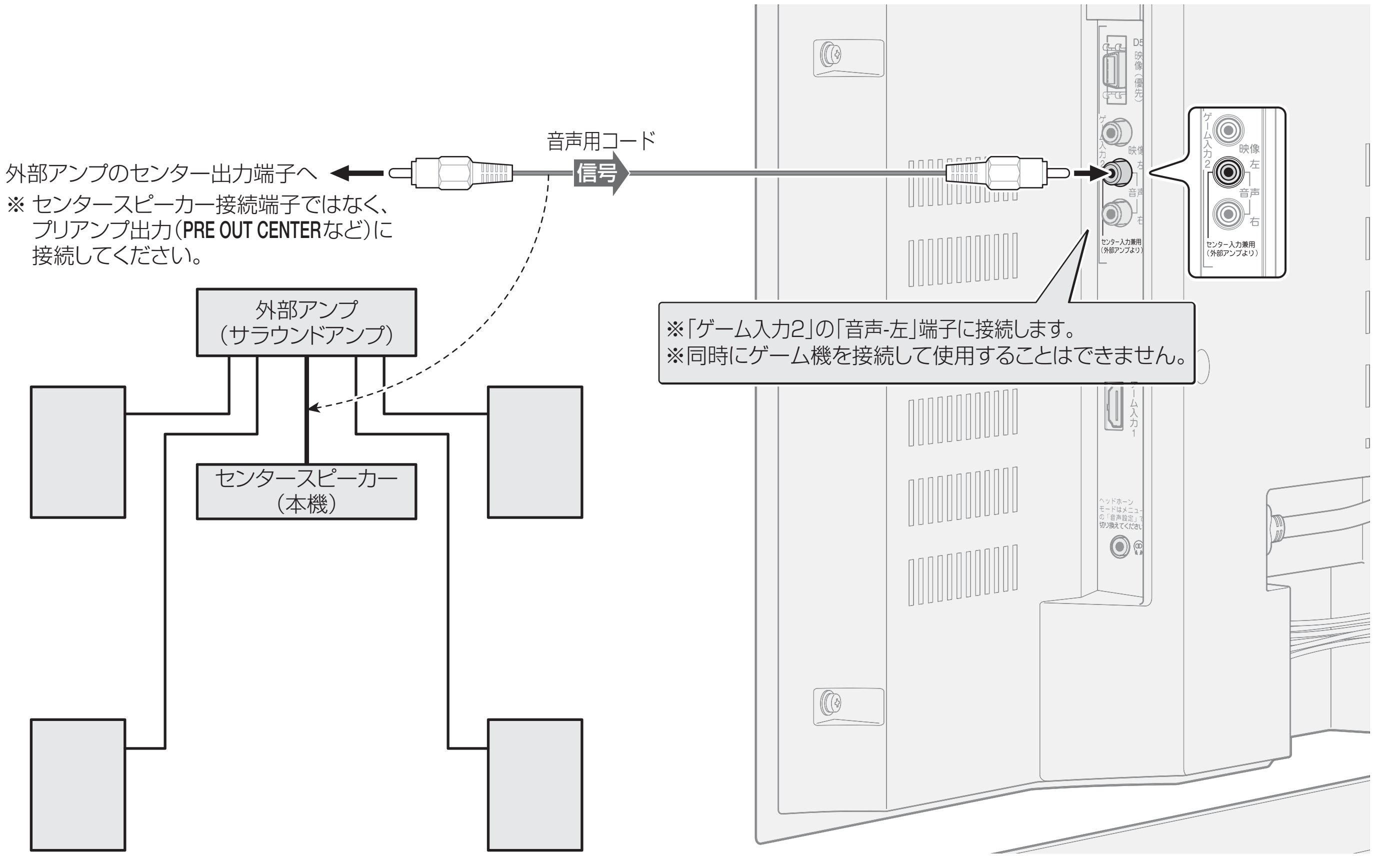
アナログ音声入力端子付機器を接続する

● 音声出力(固定)端子を使って、アナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。



本機のスピーカーを5.1chサラウンドシステムのセンタースピーカーとして使用する

● 5.1chサラウンドを楽しむ場合、本機の専用スピーカーをセンタースピーカーとして使用することができます。
● 以下の接続をして、「センタースピーカーモード」45 の設定をしてください。
※ AVアンプによっては、センター出力端子の音声と、左右スピーカーの音声のタイミングがずれることがあります。その場合には、外部アンプのセンターチャンネル用の音声ディレイで調整してください。
※ 本機の外部スピーカー端子から音声出力は出ません。専用スピーカーをご使用ください。



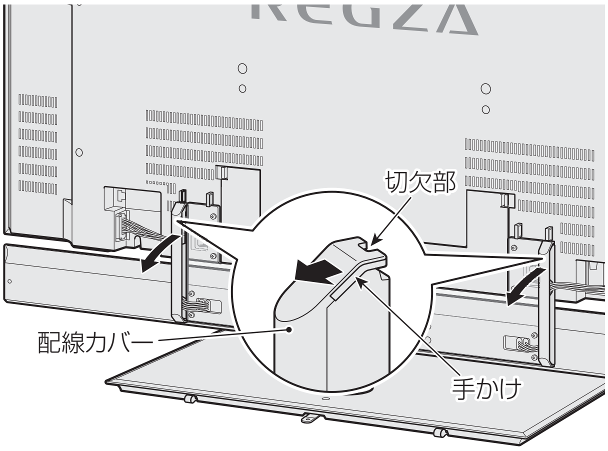
オーディオ機器を接続する つづき

外部スピーカーを接続する

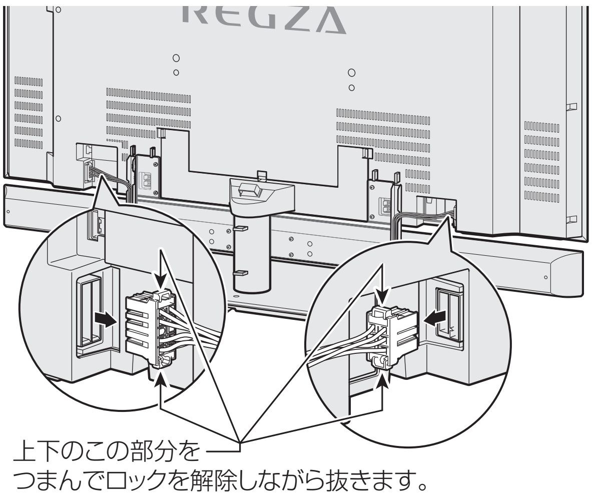
ご注意
- 外部スピーカーと専用スピーカーの同時使用はできません。
- 外部スピーカー端子の上側にラベル表示された仕様範囲内のスピーカーを接続してください。仕様範囲外のスピーカーやスピーカー以外のものを接続したり、ショートさせたりすると、本機やスピーカーが故障する原因になります。

❶ 専用スピーカーの配線カバーを取りはずす

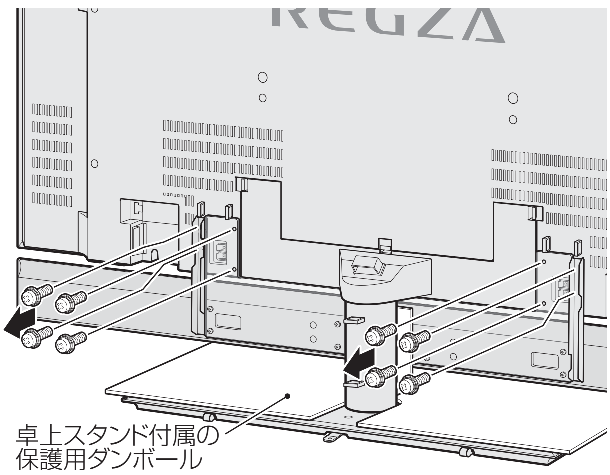
- 配線カバー両サイドの手かけ部をつまんで、取りはずします。取りはずしにくいときは、マイナスドライバーなどの先を切欠部にかけて、取りはずしてください。



❷ 専用スピーカーの接続プラグを抜く

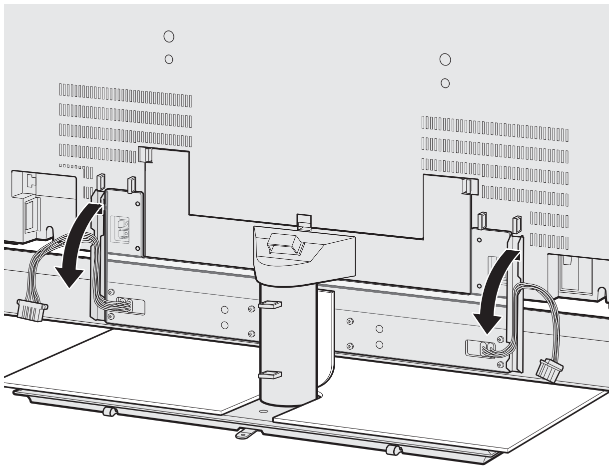


❸ 専用スピーカー取付ネジ8本を取りはずす

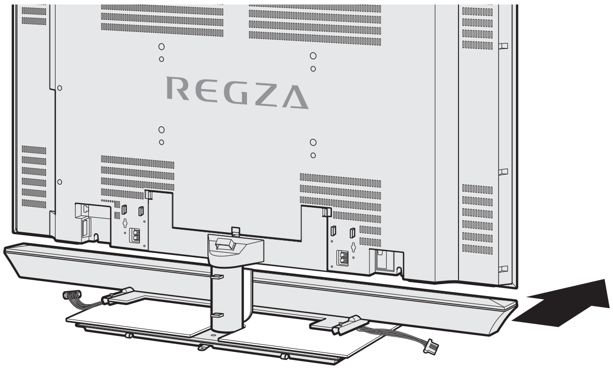


❹ 専用スピーカーを取りはずす

- 少し持ち上げてモニター背面の穴からフックをはずせばスピーカーが取りはずせます。

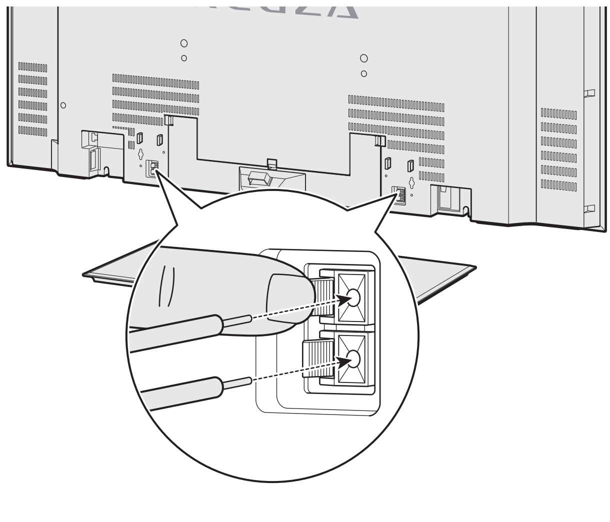


- 専用スピーカーをモニター前面側に取り出します。



❺ 外部スピーカーを接続する

- 極性を合わせて接続してください。
- ロック解除ボタンを押しながら外部スピーカーのケーブルの先端を差し込み、指を放したときにケーブルが抜けないことを確認します。



光デジタル音声出力の設定

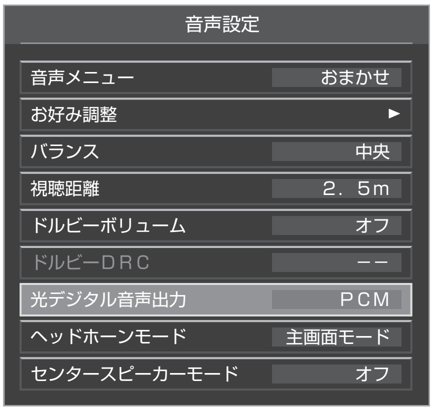
- 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
- お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプおよびドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプを接続するときは、「デジタルスルー」または「サウンド優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

❶ 設定メニュー を押す

❷ で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 で「光デジタル音声出力」を選び、決定 を押す



3 で信号を選び、決定 を押す



- **PCM**…………………リニアPCM信号が出力されます。
- **デジタルスルー**……MPEG-2 AAC、ドルビーデジタル信号の場合、その信号が出力されます。
- **サラウンド優先**……MPEG-2 AAC、ドルビーデジタル信号で、サラウンド音声(5.1chや4.1chサラウンド音声など)の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニアPCM信号が出力されます。

4 終了 を押して、メニューを消す

センタースピーカーモードの設定

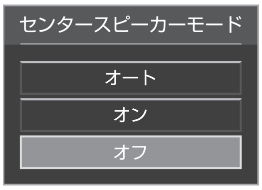
- 本機の専用スピーカーを5.1chサラウンドシステムのセンタースピーカーとして使用する場合の設定です。接続については、43 をご覧ください。
- 専用スピーカーを取りはずしているときは設定できません。

※ 外部アンプのセンター出力を本機に接続した状態で設定してください。ゲーム機など、他の機器を接続した状態で設定を切り換えたり、「オート」や「オン」に設定した状態で他の機器を接続したりすると、大きな音が出て故障の原因になることがあります。

1 左記の手順 *1* の操作をする

2 で「センタースピーカーモード」を選び、決定 を押す

3 で設定を選び、決定 を押す



- **オート**……専用スピーカーをセンタースピーカーとして使用するか、通常のスピーカーとして使用するかが、レグザリンクのAVシステム連動機能によって自動的に切り換わります。
- **オン**…………専用スピーカーをセンタースピーカーとして使用します。外部アンプからセンター入力端子に入力された音声が出ます。
- **オフ**…………専用スピーカーを通常のスピーカーとして使用します。

※「オート」に設定する場合は、「HDMI連動設定」52 の「HDMI連動機能」と「AVシステム連動」を「使用する」に設定してください。また、外部アンプをHDMIケーブルで本機(チューナー)に接続してください。

※ **センタースピーカーとして動作するとき**
- ヘッドホーンは使用できません。
- 外部アンプがレグザリンク対応機器以外の場合は、機器側で音量を調節してください。

4 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

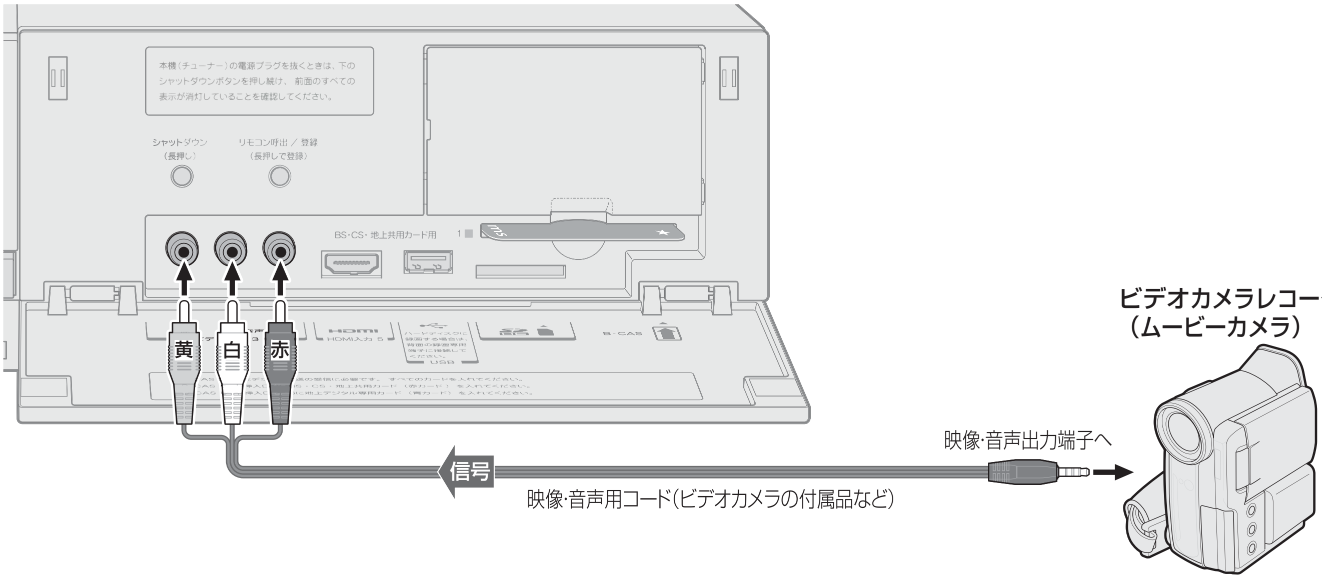
- 「光デジタル音声出力設定」が「デジタルスルー」や「サラウンド優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声のときには、データ放送の一部の音声(効果音など)が、光デジタル音声出力端子からは出力されないことがあります。
- 地上アナログ放送の視聴時およびビデオ入力の選択時は、光デジタル音声出力端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、本機のHDMI端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子から信号は出力されません。(本機のHDMI端子が対応している音声信号については、41 の「お知らせ」をご覧ください)
- モニターのゲーム入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子から音声信号は出力されません。

ビデオカメラレコーダーを接続する

● ビデオカメラレコーダーなどのポータブル機器は、本機（チューナー）前面とびら内の端子を使用すれば、接続や取りはずしのときに便利です。（背面の端子も使用できます）
● 本機はデジタルビデオカメラレコーダーのDV端子との接続はできません。

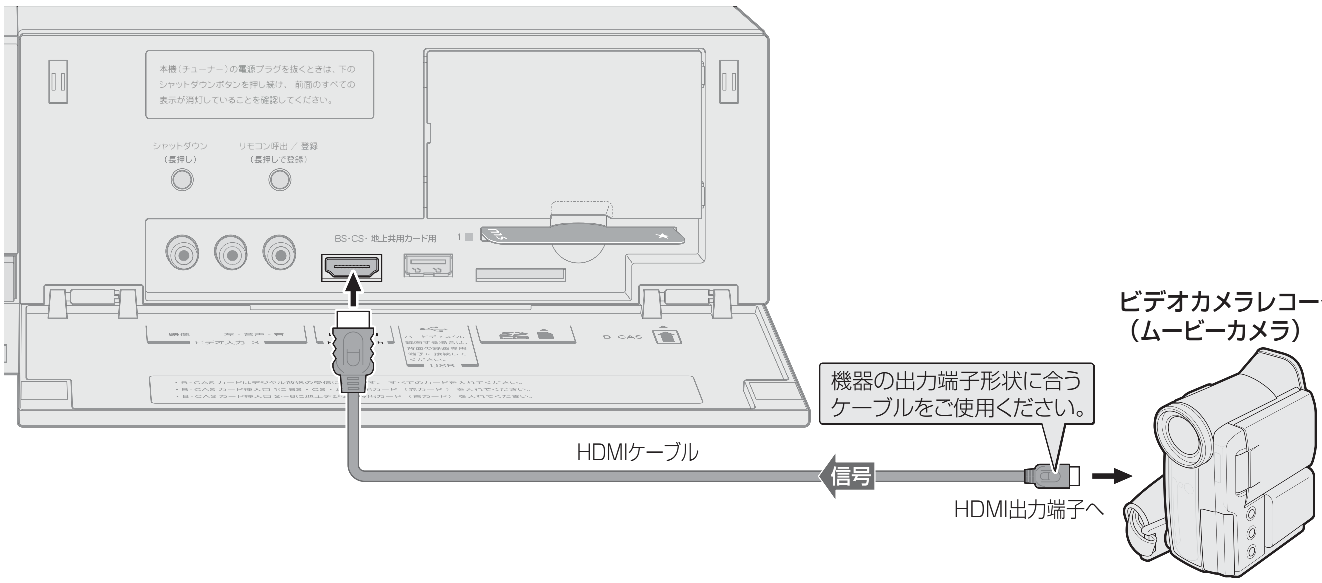
映像・音声用コードで接続するとき

● 映像・音声コードで接続した場合は、480i（標準画質）の映像でだけ視聴できます。
● 必要に応じて「外部入力設定」50 をしてください。



HDMIケーブルで接続するとき

● ハイビジョン対応のビデオカメラレコーダーの場合、ハイビジョン画質で視聴するにはHDMIケーブルで接続します。（D端子ケーブルで接続するときは、背面の端子をご使用ください）
● 必要に応じて「外部入力設定」50 をしてください。



お知らせ
● HDMIケーブルおよび本機のHDMI端子については、41 の「お知らせ」をご覧ください。

ゲーム機を接続する

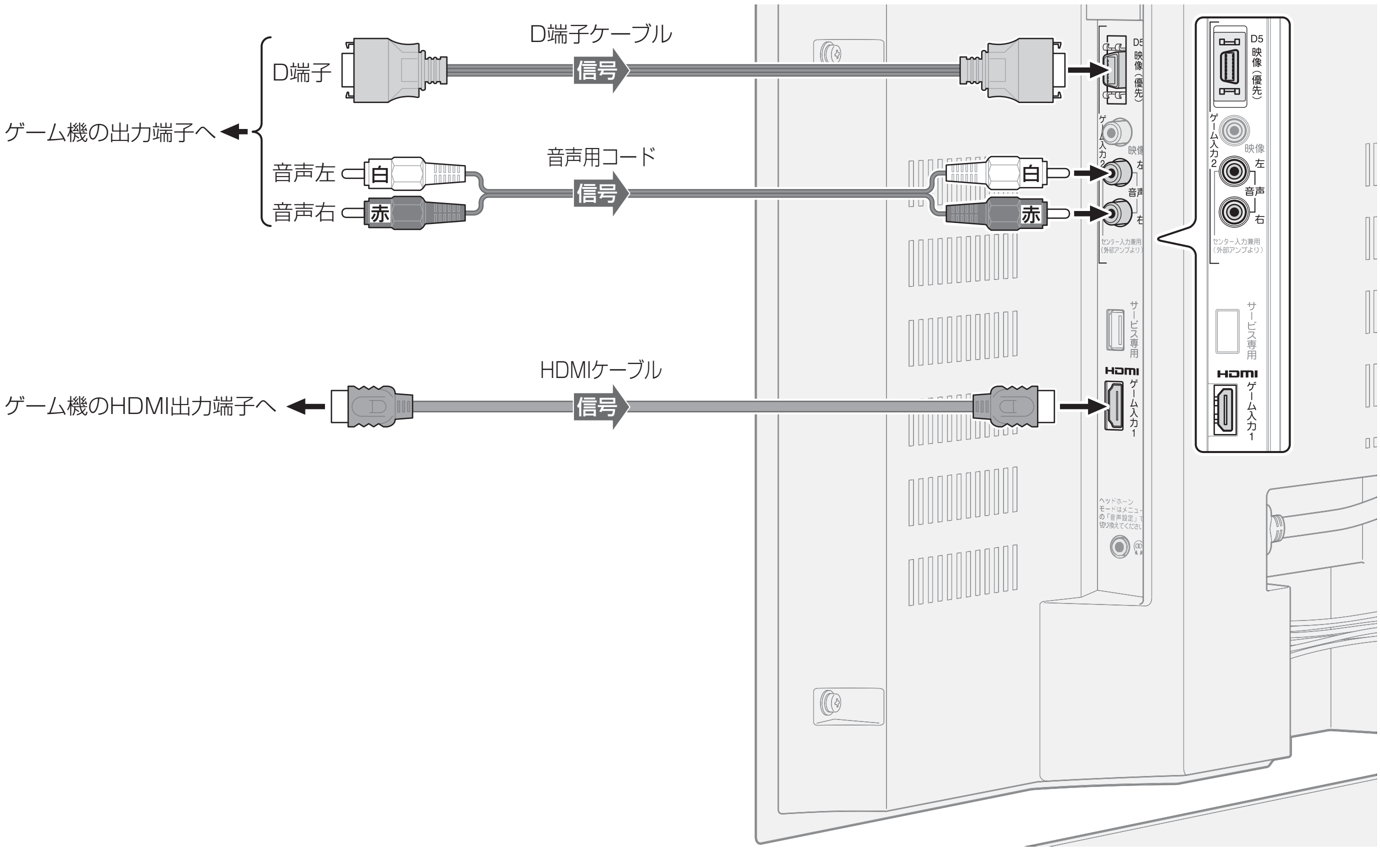
● ゲーム機は、モニターのゲーム入力1端子やゲーム入力2端子に接続します。(チューナーの入力端子に接続した場合は、モニターに接続した場合よりも映像の遅延が大きくなります)
- 映像・音声出力、D端子出力、HDMI出力のゲームを接続することができます。
- ゲーム入力2のD5映像端子と映像端子の両方に接続した場合は、D5映像端子から入力した映像が映ります。
- ゲーム機側のコネクターや端子名などは、下図と異なる場合があります。

● 必要に応じて「外部入力設定」50 をしてください。

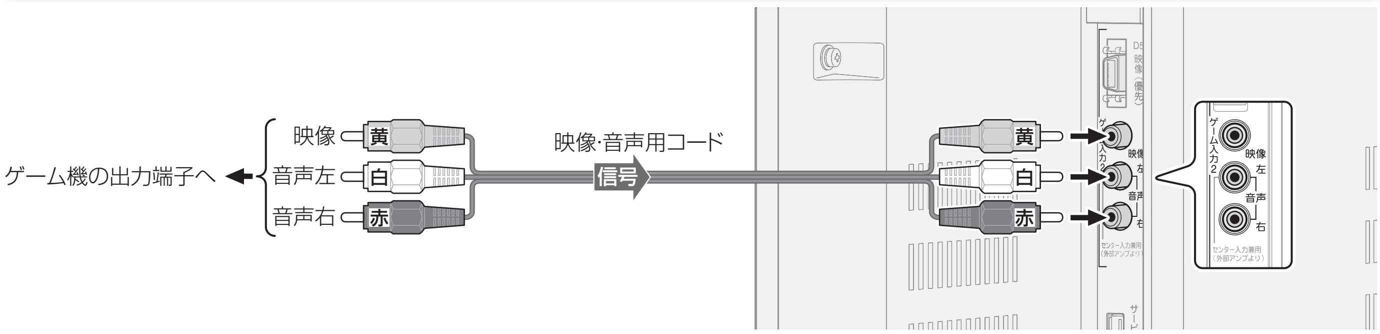
※ ゲーム入力1端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続しても、連動動作はできません。

※ ゲーム入力の音声は、チューナーの光デジタル音声出力端子および音声出力(固定)端子から出力されません。

D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続するとき

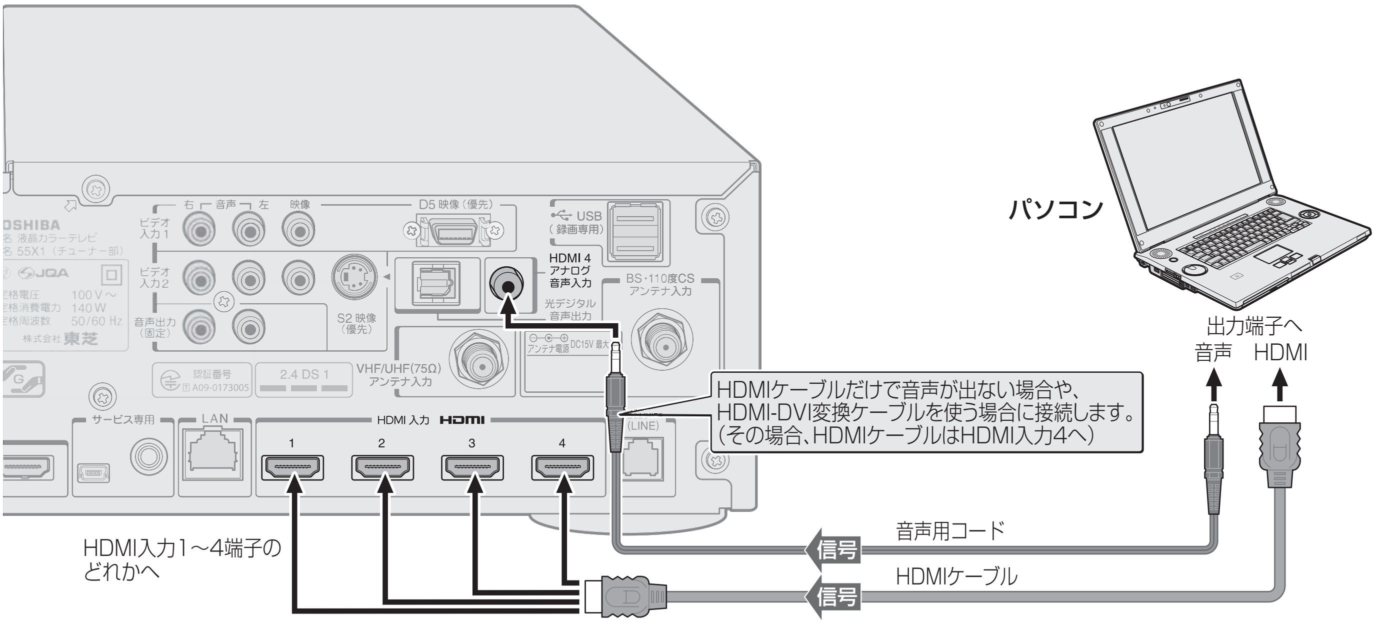


映像・音声用コードで接続するとき



パソコンを接続する

● HDMI端子付のパソコンを接続することができます。
● HDMI-DVI変換ケーブルを使えば、DVI出力端子付のパソコンも接続することができます。本機から音声を出す場合には、HDMI-DVI変換ケーブルをHDMI入力4端子に接続し、HDMI4アナログ音声入力端子に音声用コードも接続してください。
● 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
● 必要に応じて「外部入力設定」50をしてください。
※ レグザリンク対応の東芝パソコンの場合は、必要に応じて「HDMI連動設定」52をしてください。



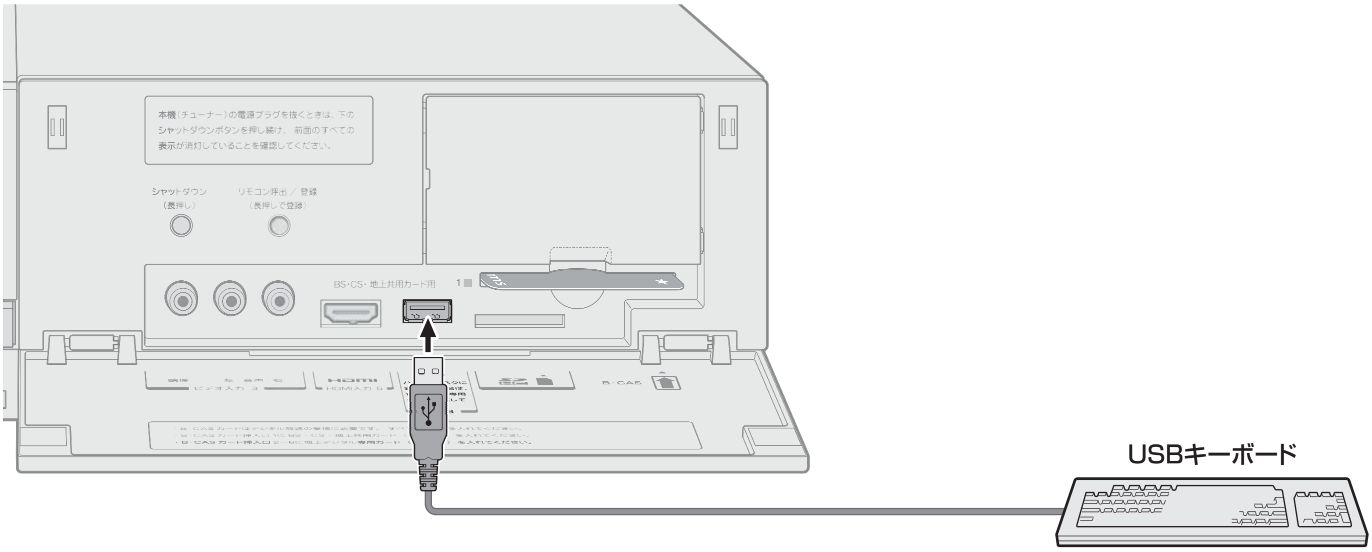
お知らせ
● レグザリンク対応東芝パソコンについては、135の3をご覧ください。
● パソコンから、本機が対応しているフォーマットの信号を入力してください。対応している信号フォーマットや条件などについては、操作編125をご覧ください。
● 本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります。
● パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。
● HDMIケーブルについては、41の「お知らせ」をご覧ください。

USB機器を接続する

※ 以下の機器は本機(チューナー)前面とびら内のUSB端子に接続してください。(背面のUSB端子には接続しないでください)

USBキーボードを接続する

● USBキーボードを接続すれば、ブロードバンド機能(操作編 89)などで文字入力をするときに便利です。

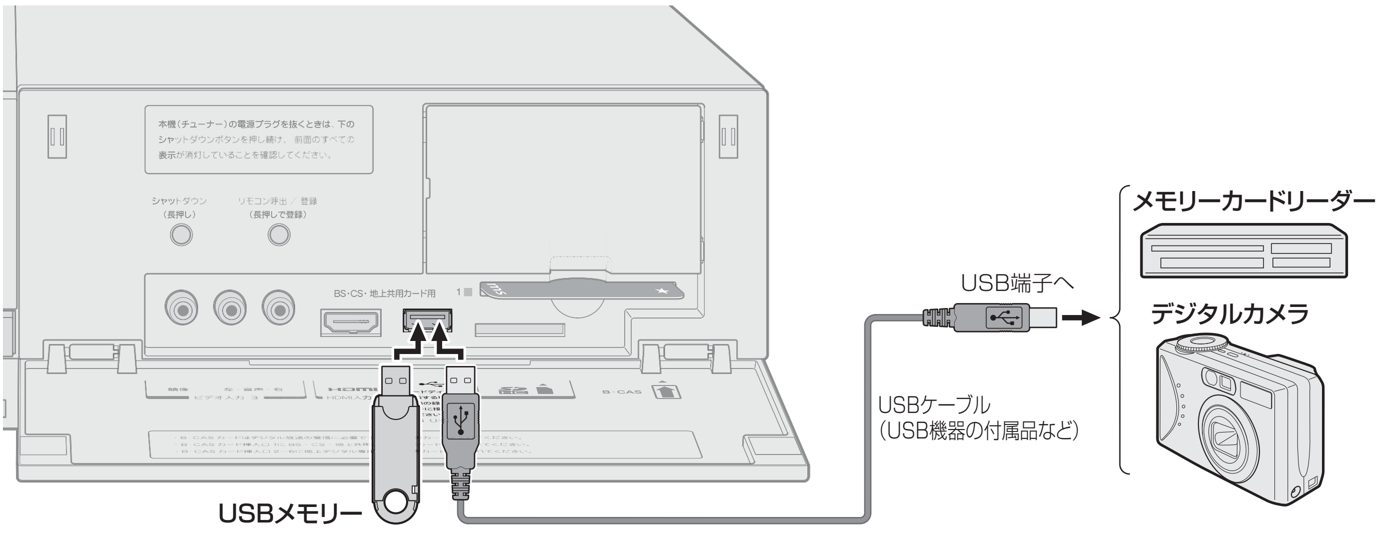


メモリーカードリーダーやデジタルカメラ、USBメモリーを接続する

● USB接続に対応しているメモリーカードリーダーやデジタルカメラ、USBメモリーなどを接続して、写真(JPEGファイル)を本機の画面で見ることができます。(操作編 77)

※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

ご注意
- USB機器の抜き差しをするときは、本体またはリモコンの電源ボタンで本機の電源を切ってください(写真を見ている場合は、終了してから電源を切ってください)。電源が「入」の状態でUSB機器の抜き差しをしたり、写真を見ているときに電源を切ったりすると、メモリーカードなどに記録されているデータが破壊されることがあります。
- それぞれの機器の動作や取扱いなどについては、機器の取扱説明書もよくお読みください。



お知らせ
- USBハブには対応しておりません。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

外部入力設定

外部入力表示設定

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ビデオ、DVDなど)を変更することができます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ [設定メニュー]を押す

❷ [▲▼]で「機能設定」を選び、[決定]を押す

❸ [▲▼]で「外部入力設定」を選び、[決定]を押す

2 [▲▼]で「外部入力表示設定」を選び、[決定]を押す

外部入力設定	
外部入力表示設定	►
外部入力自動スキップ	する
RGBレンジ設定	►
HDMI 4音声入力設定	オート

3 設定する外部入力を[▲▼]で選び、[決定]を押す

外部入力表示設定	
HDMI 1設定	DVD
HDMI 2設定	DVD
HDMI 3設定	DVD
HDMI 4設定	DVD
HDMI 5設定	DVD
ビデオ1設定	DVD
ビデオ2設定	DVD
ビデオ3設定	DVD
ゲーム1設定	ゲーム1
ゲーム2設定	ゲーム2
初期設定に戻す	►

4 機器名を[▲▼]で選び、[決定]を押す

HDMI 1設定	
レコーダー	DVD
VTR	CATV
ゲーム	チューナー
PC	ムービーカメラ
表示しない	

5 [終了]を押して、メニューを消す

■外部入力表示をお買い上げ時の設定に戻すには

❶ 上記手順**3**で「初期設定に戻す」を選び[決定]を押す

❷ [◄►]で「はい」を選び、[決定]を押す

● お買い上げ時の設定(手順**3**のイラストの設定)に戻ります。

❸ [終了]を押して、メニューを消す

外部入力自動スキップ

● 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする(飛び越す)ことができます。

1 左記「外部入力表示設定」の手順**1**の操作をする

● 「外部入力設定」画面になります。

2 [▲▼]で「外部入力自動スキップ」を選び、[決定]を押す

外部入力設定	
外部入力表示設定	►
外部入力自動スキップ	する
RGBレンジ設定	►
HDMI 4音声入力設定	オート

3 [▲▼]で「する」または「しない」を選び、[決定]を押す

外部入力自動スキップ
する
しない

- **する**……… 入力切換時に、何も接続されていない入力をスキップします。(お買い上げ時の設定です)
- **しない**…… 入力切換時にスキップしません。

4 [終了]を押して、メニューを消す

外部機器の接続と設定
外部入力設定

RGBレンジ設定

- 本機のHDMI端子に接続する機器からの映像に関する設定です。通常は「オート」の設定のままでご使用ください。
- 本機がRGBレンジを識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定してください。

1 前ページ「外部入力表示設定」の手順 *1* の操作をする

- 「外部入力設定」画面になります。

2 で「RGBレンジ設定」を選び、決定を押す



3 設定するHDMI入力をで選び、決定を押す

4 で設定を選び、決定を押す



- **オート**………………… 自動切換になります。
- **フルレンジ**………… RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
- **リミテッドレンジ**…… RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。

5 終了を押して、メニューを消す

HDMI4音声入力設定

- 通常は「オート」の設定のままでご使用ください。
- 「オート」で、HDMI4アナログ音声入力端子への音声用コードを接続（41、48 を参照）しても音声が出ない場合は、以下の手順で「アナログ」に設定してください。

1 前ページ「外部入力表示設定」の手順 *1* の操作をする

- 「外部入力設定」画面になります。

2 で「HDMI4音声入力設定」を選び、決定を押す



3 で設定を選び、決定を押す



- **オート**……… 自動切換になります。
- **デジタル**…… HDMI4端子からの音声が出ます。
- **アナログ**…… HDMI4アナログ音声入力端子からの音声が出ます。

4 終了を押して、メニューを消す

HDMI連動設定

● レグザリンク対応機器(HDMI連動機能対応機器)でレグザリンクの機能や各種の連動機能を使う場合は、必要に応じて以下の設定をします。(お買い上げ時は手順**2**のイラストに表示された設定になっています)

1 以下の操作で「HDMI連動設定」画面にする

❶ [設定メニュー] を押す

❷ [▲▼] で「レグザリンク設定」を選び、[決定] を押す

❸ [▲▼] で「HDMI連動設定」を選び、[決定] を押す

レグザリンク設定	
内蔵ハードディスク設定	►
USBハードディスク設定	►
録画再生設定	►
HDMI連動設定	►

2 設定する項目を [▲▼] で選んで [決定] を押し、表の手順で設定する

HDMI連動設定	
HDMI連動機能	使用する
HDMI連動機器リスト	►
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
PC映像連動	使用する
AVシステム連動	使用する
AVシステム音声連動	使用する
優先スピーカー	テレビスピーカー

3 [終了] を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
HDMI連動機能	● HDMI連動機能を使用するかどうかを設定します。 ❶ [▲▼] で「使用する」または「使用しない」を選び、[決定] を押す
連動機器→テレビ入力切換	● 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。(本機の電源が「入」の場合) ❶ [▲▼] で「連動する」または「連動しない」を選び、[決定] を押す
連動機器→テレビ電源	● 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。 ❶ [▲▼] で「連動する」または「連動しない」を選び、[決定] を押す ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
テレビ→連動機器電源オフ	● 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります) ❶ [▲▼] で「連動する」または「連動しない」を選び、[決定] を押す ※「省エネ設定」93ページ の「無操作自動電源オフ」、「オンエアー無信号オフ」、「外部入力無信号オフ」や、「オフタイマー」(操作編 110ページ)の各機能によって本機の電源が「待機」になった場合も、連動機器の電源が「待機」になります。
PC映像連動	● 本機に接続したレグザリンク対応東芝パソコン 135ページ からの映像を見る場合に、パソコンの画面の形式や映像に応じて、本機が自動的に画面サイズや映像メニューの設定を切り換える機能です。 ❶ [▲▼] で「使用する」または「使用しない」を選び、[決定] を押す
AVシステム連動	● レグザリンク対応のAVシステム機器(AVアンプなど)とスピーカーを接続している場合に、本機のリモコンで以下のことができます。 • 音声を本機から出すか、AVシステムのスピーカーから出すかの切換え • 音声をAVシステムのスピーカーから出す場合の音量調節 ❶ [▲▼] で「使用する」または「使用しない」を選び、[決定] を押す
AVシステム音声連動	● レグザリンク対応のAVシステム機器との音声連携機能を使うかどうかを設定します。 ● AVシステム機器が本機と音声連携可能な機種であり、かつ「AVシステム連動」が「使用する」に設定されていて、AVシステムのスピーカーから音声が出る状態になっているときに設定できます。 ❶ [▲▼] で「使用する」または「使用しない」を選び、[決定] を押す
優先スピーカー	● 「AVシステム連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択することができます。この機能は本機の電源が「入」のときに働きます。 ❶ [▲▼] で以下から選び、[決定] を押す • **テレビスピーカー** 本機のスピーカーから音声が出ます。 • **AVシステムスピーカー** AVシステム機器の電源が「入」のときは、AVシステムのスピーカーから音声が出ます。 ※「主画面モード」(操作編 31ページ)選択時の本機のヘッドホーン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

お知らせ

● 本機が認識できるレグザリンク対応機器の台数は、AVシステム機器1台、東芝レコーダーは3台まで、東芝パソコンは1台です。

● ゲーム入力1端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続しても、連動動作はできません。

● 「AVシステム音声連動」の対応機器については、135ページ の**4**をご覧ください。

USBハードディスクを接続する

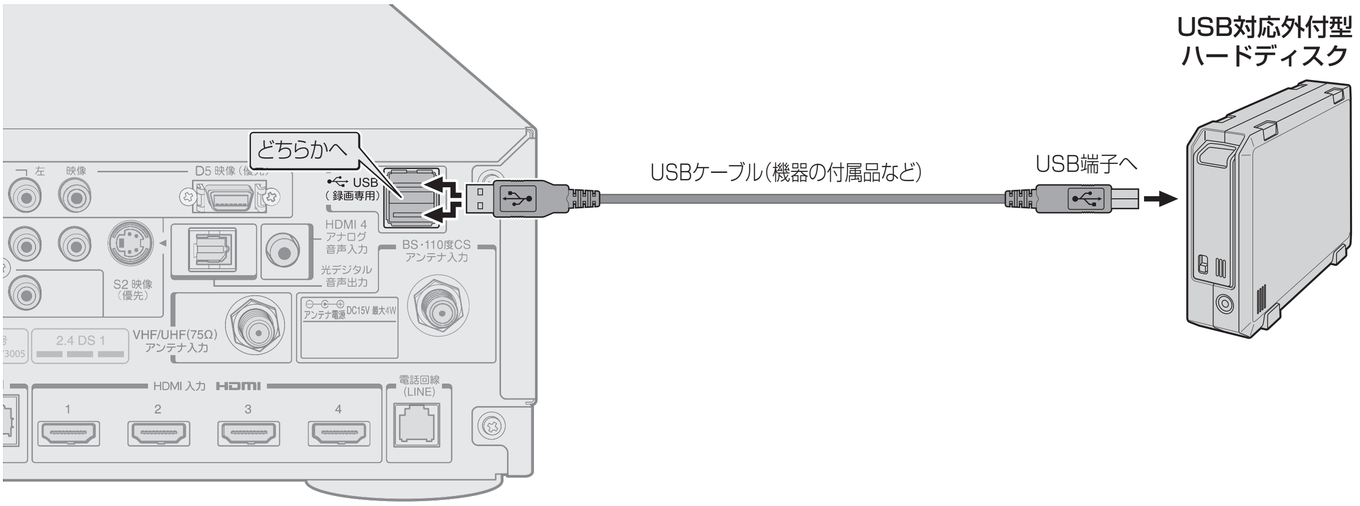
※ USBハードディスクは、図に示すように本機(チューナー)背面のUSB(録画専用)端子に接続してください。前面とびら内のUSB端子では録画・再生はできません。

※ 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて次ページ以降の「USBハードディスク設定」で「機器の取りはずし」55 の操作をしてください。
USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。保存されている内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。

機器の接続

● USBハードディスクを本機に接続すれば、本機で受信した番組を録画したり、再生したりすることができます。詳しくは、「録画・予約をする」(操作編 51)の章、「レグザリンクを使う」(操作編 62)の章をご覧ください。
※ USBハードディスクを使用する際は、必要に応じて次ページの「USBハードディスク設定」の設定や操作をしてください。

ご注意
● パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
● 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で保存した内容はすべて消去されます。
● 前面とびら内のUSB端子に、USBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。



お願い
※ USBハードディスクを2台接続することができますが、未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台目を接続して登録の処理が終わったら2台目のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
※ 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクの登録」をご覧ください。

お知らせ
● USBハードディスクに保存した録画内容は、本機でしか再生できません。ほかのテレビ(同じ形名のテレビも含みます)やパソコンなどに接続して再生することはできません。
● USBハブを使用しての接続には対応しておりません。
● 本機に接続できるUSBハードディスクについては、135 の5をご覧ください。

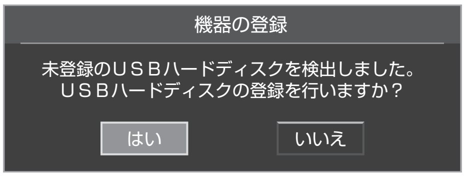
USBハードディスクを接続する つづき

USBハードディスクの登録

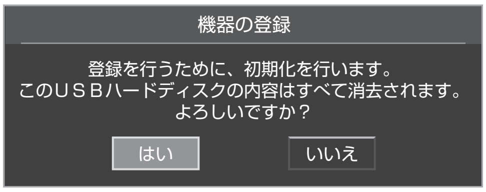
● 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」画面が表示されます。以下の手順で登録してください。

1 [▲▼]で「はい」を選んで[決定]を押す

● 登録しないときは「いいえ」を選びます。



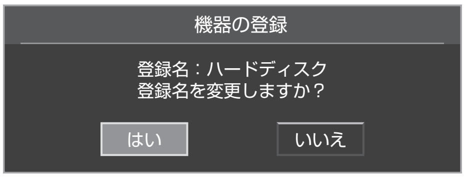
2 初期化の確認画面で、[▲▼]で「はい」を選んで[決定]を押す



● 登録の処理が始まります。

3 登録名を変更する場合は、[▲▼]で「はい」を選んで[決定]を押す

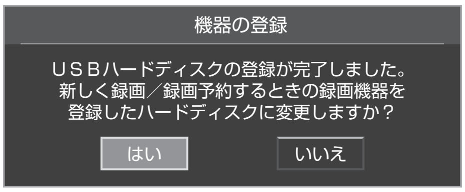
● 登録された名称（図では「ハードディスク」）のままでよければ「いいえ」を選んでください。



● 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力してください。
● 文字入力のしかたは、操作編の112☞をご覧ください。

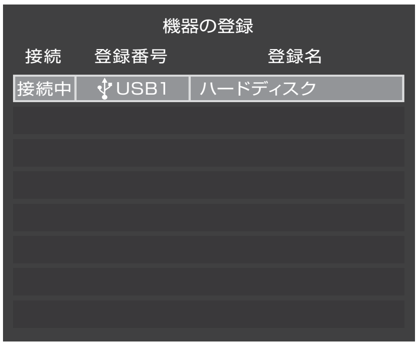
4 画面の説明を読み、「はい」または「いいえ」を[▲▼]で選んで[決定]を押す

● リモコンの[●録画]を押して録画したり、予約録画をしたりする機器の初期候補を、今登録したUSBハードディスクにする場合は「はい」を選びます。
※ 録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。



5 登録結果の内容を確認し、[決定]を押す

※ 登録できるのは8台までです。



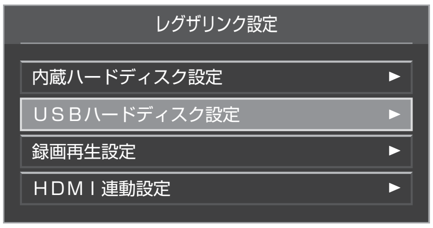
※ 手順**1**で「いいえ」を選択した場合、USBハードディスクは「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、以下の「USBハードディスク設定」で「機器の登録」の操作をしてください。

USBハードディスク設定

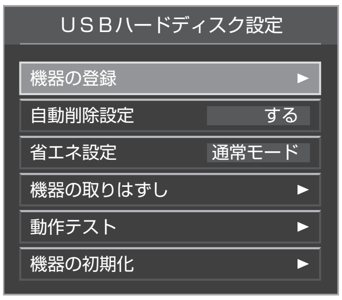
● USBハードディスクを使用する際は、必要に応じて以下の設定をしてください。

1 以下の操作で「USBハードディスク設定」画面にする

❶ [設定メニュー]を押す
❷ [▲▼]で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押す
❸ [▲▼]で「USBハードディスク設定」を選び、[決定]を押す



2 設定する項目を[▲▼]で選んで[決定]を押し、次ページの表の手順で設定する



3 [終了]を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
機器の登録	● 未登録または登録が解除されたUSBハードディスクを登録したり、登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。 **■ 機器の登録** **※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。** **❶ 登録する機器を で選び、決定 を押す** **❷ 前ページの「USBハードディスクの登録」の手順 *2* 以降の操作をする** **■ 登録名の変更** **❶ 登録名を変更する機器を で選び、青 を押す** **❷ で「はい」を選び、決定 を押す** **❸ 文字入力画面で登録名を入力する** **■ 登録の解除** ● 予約が設定されているUSBハードディスク（時計アイコン付）は登録解除できません。 ① **登録を解除したいUSBハードディスクを で選択し、赤 を押す** ② **で「はい」を選び、決定 を押す**
自動削除設定	● ハードディスクの容量が足りない場合に、日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能です。ただし、保護（操作編 67）されている録画番組は、自動削除されません。 ● 保護をした録画済番組が多くなると、自動削除機能が働かなくなる場合があり、録画できる時間は短くなります。 ● 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。 **❶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す** ・**する**……… 自動削除機能が働きます。 ・**しない**…… 自動削除機能は働きません。
省エネ設定	● 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。 ※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。 ※「省エネモード」に設定した場合に、USBハードディスクの機種によっては、待機状態になってもUSBハードディスクの表示ランプが待機状態を示さないことがあります。 **❶ でモードを選び、決定 を押す** ・**通常モード**…… 本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。 ・**省エネモード**…… USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
機器の取りはずし	● 本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。 **❶ 取りはずす機器を で選び、決定 を押す** **❷ 確認画面で、 で「はい」を選び、決定 を押す** ・ 停止の処理が始まり、終了すると安全に取りはずしができる旨のメッセージが表示されます。 **❸ メッセージを確認し、USBハードディスクを取りはずしてから 決定 を押す**
動作テスト	● 本機に接続したUSBハードディスクで、以下の動作ができるかテストします。 ・**録画**……………… ハイビジョン画質で録画ができるかテストします。 ・**録画中の再生**…… ハイビジョン画質で録画しながら録画済番組再生ができるかテストします。 ・**録画中の可変再生**…… 録画中に可変再生ができるかテストします。 **❶ テストする機器を で選び、決定 を押す** ● テストが始まります。終了までに数分間かかります。 ● テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。 ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。
機器の初期化	● USBハードディスクを初期化します。 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。 **※ 初期化すると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。** **❶ 初期化する機器を で選び、決定 を押す** **❷ 初期化の確認画面で、 で「はい」を選び、決定 を押す** **❸ 初期化終了の画面で 決定 を押す**

お知らせ
● 「録画再生設定」 64 もご覧ください。

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーを接続する

DLNA認定サーバーについて

DLNA®とは

- DLNA（Digital Living Network Alliance）とは、デジタル時代の相互接続性を実現させるための標準化活動を推進している団体です。
- 現在、DLNA認定機器にはコンテンツを送り出すDLNA認定サーバーと、コンテンツを再生することができるDLNA認定プレーヤーがあります。本機はDLNA認定プレーヤー（動画／静止画／音楽）です。

本機でできること

- DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます。
  ※ 接続する機器やコンテンツによっては、早送り／早戻し再生などの特殊再生ができない場合があります。また、再生時間の表示がずれる場合があります。
- 本機に接続したDLNA認定サーバーは「機器選択」の画面に表示され、操作編の73や77、82の操作でコンテンツを視聴することができます。
- 本機で視聴できるコンテンツのフォーマットは以下のとおりです。
  - 映像（LAN再生）…………MPEG2-PS（VRフォーマット）
  - 映像に附随する音声……リニアPCM、ドルビーデジタル(AC3)、MPEG-1, 2 Layer Ⅱ
  - 静止画（写真再生）………JPEG（ただし、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります）
  - 音楽………………………………リニアPCM、MP3

DTCP-IP対応サーバーについて

DTCP-IPについて

- DTCP-IP（「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略）はネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応することによって、著作権保護付データ（たとえば、1世代のみ録画が許された番組など）をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。
- 本機は著作権保護に関する規格「DTCP-IP」に対応しています。

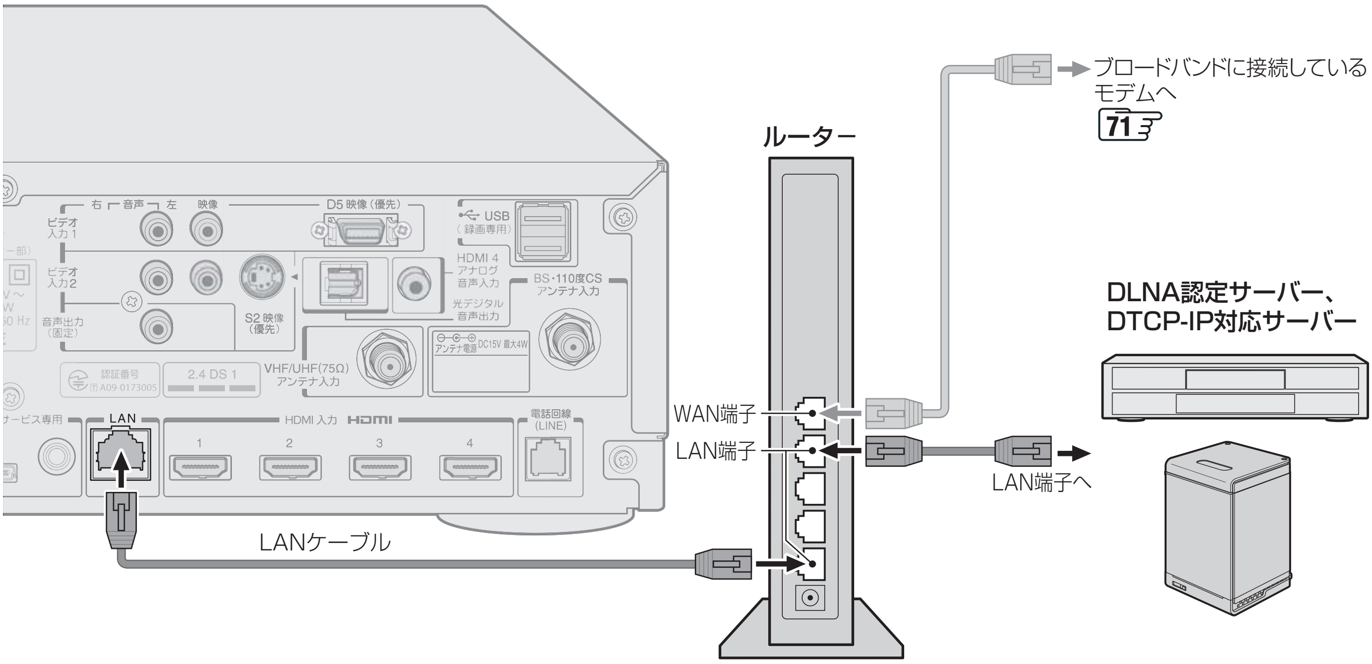
本機でできること

- 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画したデジタル放送番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバーにダビング（「1回だけ録画可能」番組はムーブのみ、「ダビング10」の番組はコピー 9回＋ムーブ1回）することができます。（タイムシフトマシン録画機能（37または60）で録画された「ダビング10」の番組は、いったん通常録画用の内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに保存してからDTCP-IP対応サーバーにダビングできます。その場合は、コピー８回＋ムーブ1回となります）
  - すべてのDTCP-IP対応サーバーに対してダビングすることができるわけではありません。対応できる機器については、ホームページで順次公開する予定です。（ホームページについては、17をご覧ください）
  - ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。
  - DTCP-IP対応サーバーにダビングした番組を、他のDTCP-IP対応テレビ（REGZA Z2000、Z3500、ZH/ZV500、Z/ZH7000、Z/ZH/ZX8000、Z/ZX9000の各シリーズおよび他の55X1など）で視聴することができます。
  ※ ダビング後のコンテンツについては、再生時間の表示がずれる場合があります。

お知らせ

- DLNA認定サーバーが公開している一部のコンテンツ（本機で視聴できるフォーマット以外のコンテンツなど）は再生できない場合があります
- 本機で受信した番組をDLNA認定サーバーに記録（録画・録音など）することはできません。
- 複数のDLNA認定サーバーを接続した場合、2台目以降の機器が「機器選択」の画面に表示されるまでに15分程度の時間がかかることがあります。（機器選択画面を終了させて、もう一度機器選択画面を出すと表示される場合もあります）
- DLNA®はDigital Living Network Allianceの登録商標です。

機器の接続



設定の手順

- 「IPアドレス設定」、「DNS設定」ともに「自動取得」で使用する前提です。本機で接続機器側の設定はできませんので、あらかじめルーターや機器側で設定してください。（機器やルーターの取扱説明書をご覧ください
- 一般のDLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーはMACアドレスによるアクセス制限をかけています。本機のMACアドレスは、「通信接続設定」 73 ～ 74 のメニューで確認できます。

❶ ルーター、接続機器、本機の順に電源を入れる

❷「LAN端子設定」 73 で、IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX～172.31.XXX.XXX」または「10.XXX.XXX.XXX」（XXXは数字）になっていることを確認する

使いかた

- 「レグザリンクを使う」（操作編 62 ）の章をご覧ください。

地デジ機能設定

- 地上デジタル放送で、番組表の動画表示（操作編 16）、マルチ画面表示（操作編 13）、高速チャンネル選局（操作編 12）、タイムシフトマシン録画ができます。ここでは、この機能を使用するための設定をします。
- タイムシフトマシン録画は、指定した曜日・時間帯に最大8チャンネルの地上デジタル放送を自動的に同時録画する機能です。録画された番組の視聴や検索、保存のしかたについては、「地デジの過去番組を見る」（操作編 32）の章をご覧ください。
- 「はじめての設定」 34 で設定された内容から変更したい場合に以下の手順で設定してください。

地デジ機能チャンネル設定

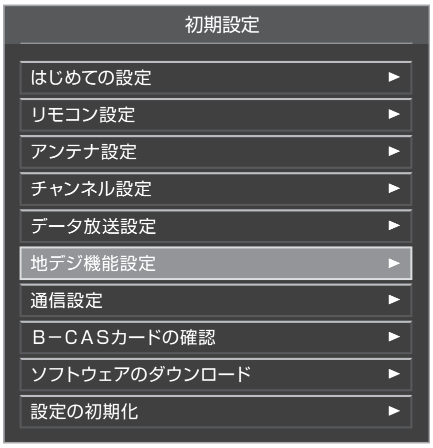
- 地デジ機能で使用する地上デジタル放送チャンネルを設定します。
- はじめにタイムシフトマシン録画で使用するチャンネル（最大8）を設定し、続いてその中から高速チャンネル選局、マルチ画面表示の副画面、番組表の動画表示で使用するチャンネル（最大7）を選びます。

1 以下の操作で「地デジ機能設定」画面にする

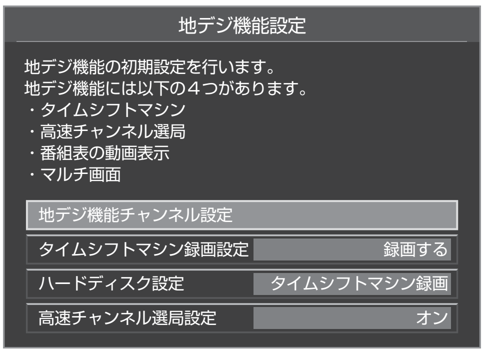
❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す

❷ [▲▼◀▶]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

❸ [▲▼◀▶]で「地デジ機能設定」を選び、[決定]を押す



2 [▲▼◀▶]で「地デジ機能チャンネル設定」を選び、[決定]を押す



- 「地デジ機能チャンネル設定」画面が表示されます。チャンネルの一覧が表示されています。

3 チャンネルの確認・設定をする

例



■ 表示されたチャンネルでよい場合

❶ [▲▼◀▶]で「次へ」を選び、[決定]を押す

■ チャンネルを変更する場合

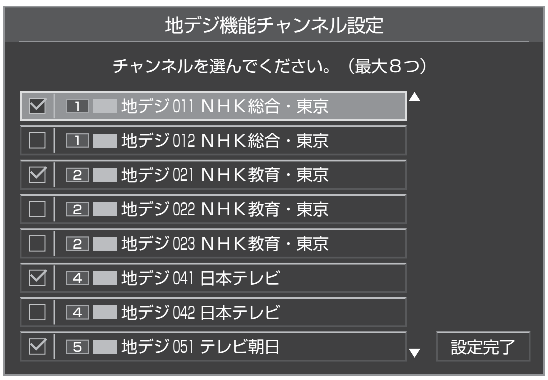
❶ [▲▼◀▶]で「チャンネル変更」を選び、[決定]を押す

❷ ご注意の内容を読み、[▲▼◀▶]で「はい」を選んで[決定]を押す

❸ 使用するチャンネルを[▲▼◀▶]で選び、[決定]を押す（✓をつける）

- [決定]を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。使用するチャンネルに✓がつくようにします。
- 解除（☑→☐）したチャンネルの録画済番組は削除されます。

例



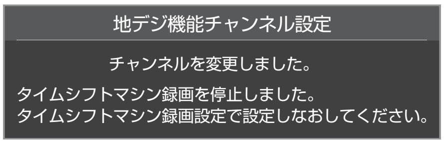
❹ 終わったら、[▲▼◀▶]で「設定完了」を選び、[決定]を押す

- チャンネルの確認画面に戻ります。

❺ [▲▼◀▶]で「次へ」を選び、[決定]を押す

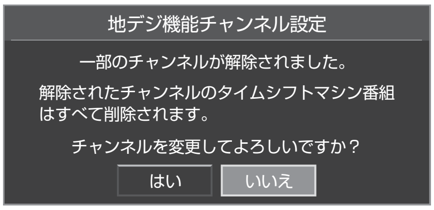
● メッセージが表示された場合は以下の操作をします。

1 以下のメッセージが表示された場合

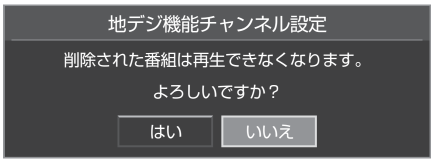


① **[決定]を押す**
- 手順**3**の画面に戻ります。
- 「地デジ機能チャンネル設定」が終わったあとで、「タイムシフトマシン録画設定」をやり直してください。

2 以下のメッセージが表示された場合



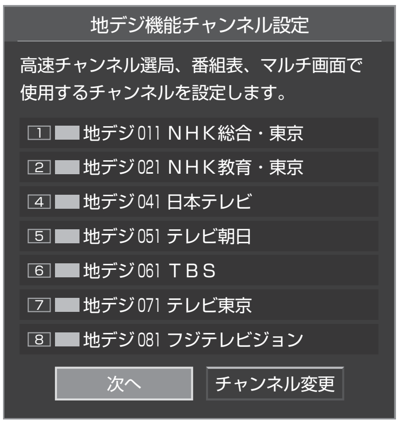
① **[◀▶]で「はい」または「いいえ」を選び、[決定]を押す**
- 「いいえ」を選ぶと手順**3**の画面に戻ります。
- 「はい」を選んだ場合は下図の画面が表示されます。



② **[◀▶]で「はい」または「いいえ」を選び、[決定]を押す**
- 「いいえ」を選ぶと手順**3**の画面に戻ります。
- 「はい」を選ぶと解除したチャンネルの録画済番組が削除され、上記1のメッセージが表示されるか、または手順**3**の画面に戻ります。

4 高速チャンネル選局、番組表の動画表示、マルチ画面の副画面で使用するチャンネルの確認・設定をする

例



■ 表示されたチャンネルでよい場合

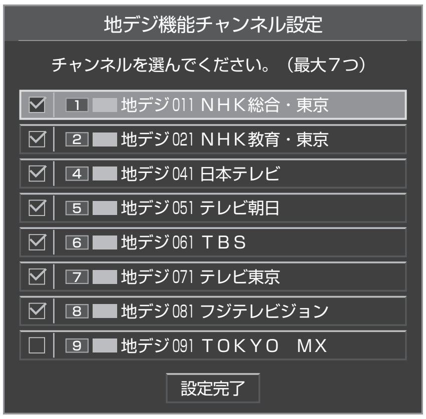
❶ **[◀▶]で「設定完了」を選び、[決定]を押す**

■ チャンネルを変更する場合

❶ **[◀▶]で「チャンネル変更」を選び、[決定]を押す**

❷ **使用するチャンネルを[▲▼]で選び、[決定]を押す（✔をつける）**
- [決定]を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。使用するチャンネルに✔がつくようにします。

例



❸ **終わったら、[▲▼]で「設定完了」を選び、[決定]を押す**
- チャンネルの確認画面に戻ります。

❹ **[◀▶]で「設定完了」を選び、[決定]を押す**

5 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ
- 「地デジ機能チャンネル設定」をしたあとで、「はじめての設定」34や「初期スキャン」77をすると、地デジ機能の設定チャンネルが変更されることがありますので確認してください。

地デジ機能設定 つづき

タイムシフトマシン録画設定

- タイムシフトマシン録画をする時間と曜日を設定します。
- タイムシフトマシン録画機能を使用しないようにする場合は、以下の手順 ***3*** で「いいえ」を選んでください。

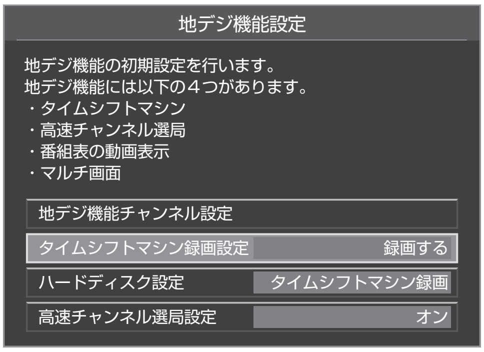
1 以下の操作で「地デジ機能設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す

❷ で「初期設定」を選び、[決定]を押す

❸ で「地デジ機能設定」を選び、[決定]を押す

2 で「タイムシフトマシン録画設定」を選び、[決定]を押す

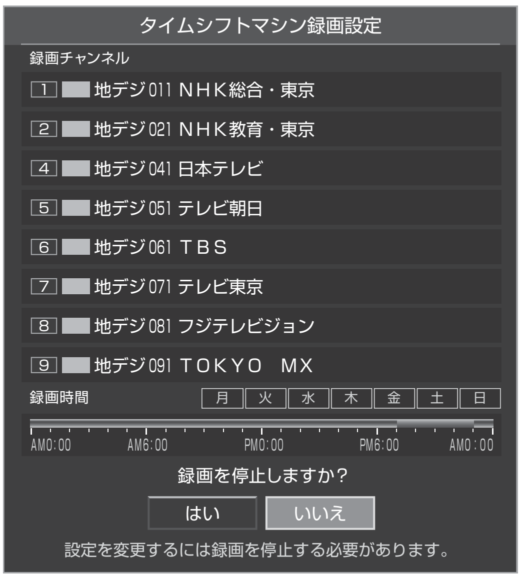


■「ハードディスクが通常録画用に設定されているため、設定できません。」が表示されたとき

- 手順 ***2*** の画面に戻ります。次ページの「ハードディスク設定」の手順 ***2*** 以降の操作で、「タイムシフトマシン録画」に設定してから、もう一度「タイムシフトマシン録画設定」をしてください。

- タイムシフトマシン録画をしないように設定されている状態から録画をするように設定するときは、手順 ***3*** に進みます。
- タイムシフトマシン録画をするように設定されているときにこの操作をすると、以下の画面が表示されます。

例



■ 設定を変えずに録画を継続するとき

❶ で「いいえ」を選び、[決定]を押す

- 手順 ***2*** の画面に戻ります。[終了]を押してメニューを消してください。

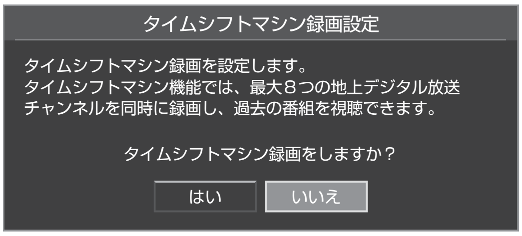
■ 設定を変えるとき

❶ で「はい」を選び、[決定]を押す

- 手順 ***2*** の画面に戻ります。もう一度手順 ***2*** の操作をして、手順 ***3*** に進みます。

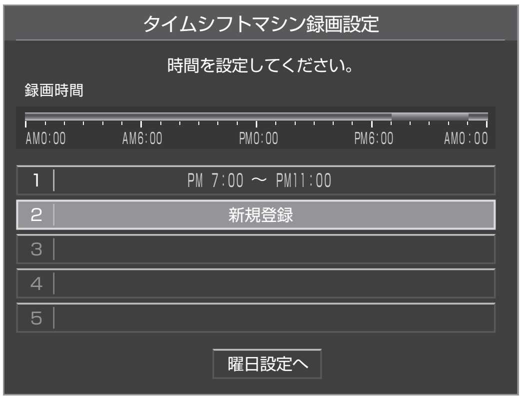
3 で「はい」を選び、[決定]を押す

- 「はい」を選ぶと、時間の設定画面が表示されます。



- 「いいえ」を選んだ場合は手順 ***2*** の画面に戻ります。[終了]を押してメニューを消してください。

4 で「新規登録」または登録済の時間を選び、[決定]を押す



5 で欄を選び、で設定する



※ 録画時間が連続24時間となるように設定した場合、システムのメンテナンスのために、登録「1」の終了時刻の30分前に15分程度、録画が一時中断されます。

例



6 設定が終わったら［決定］を押す

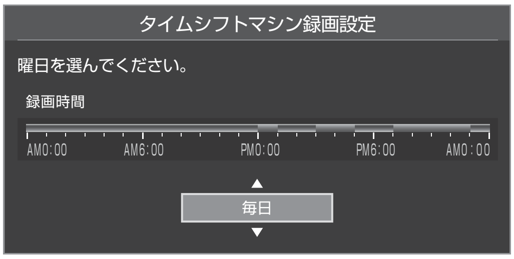
● 手順**4**の画面に戻ります。ほかの時間も設定する場合は、手順**4**から操作を繰り返します。

7 すべての時間を設定したら、［↑↓←→］で「曜日設定へ」を選んで［決定］を押す

● 曜日の設定画面が表示されます。

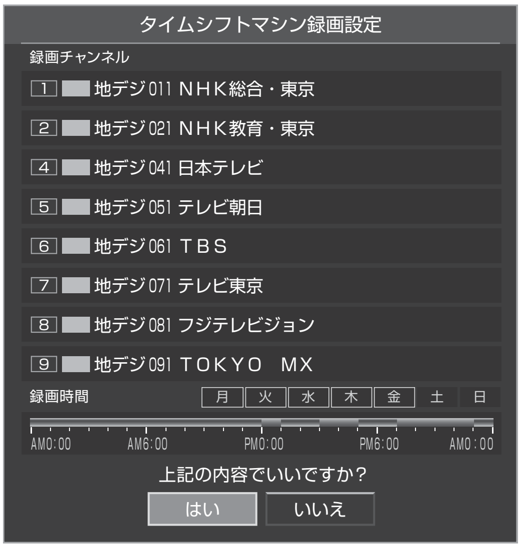
8 ［↑↓］で曜日を選び、［決定］を押す

● 「毎日」、「毎週（月）」、「毎週（火）」、「毎週（水）」、「毎週（木）」、「毎週（金）」、「毎週（土）」、「毎週（日）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選択できます。



9 ［←→］で「はい」を選び、［決定］を押す

例



● 設定変更の処理が始まります。終了すると手順**2**の画面に戻ります。

10 ［終了］を押して、メニューを消す

※ クイックメニューでタイムシフトマシン録画の一時停止/一時停止解除ができます。（操作編 34）

ハードディスク設定

● タイムシフトマシン録画用のハードディスク（内蔵3、内蔵4）を通常録画用に変えたり、タイムシフトマシン録画用に戻したりすることができます。（内蔵3、内蔵4を別々に設定することはできません）

※ ハードディスクの用途を変更すると、録画済番組はすべて削除されます。

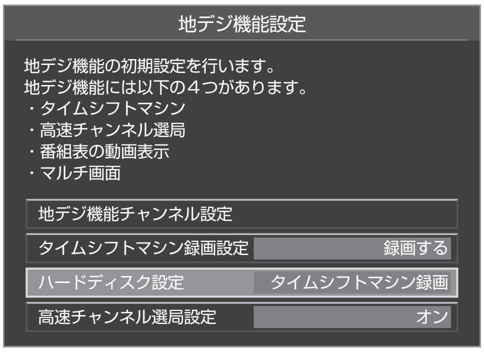
1 以下の操作で「地デジ機能設定」画面にする

❶ ［設定メニュー］（パネル2段開く）を押す

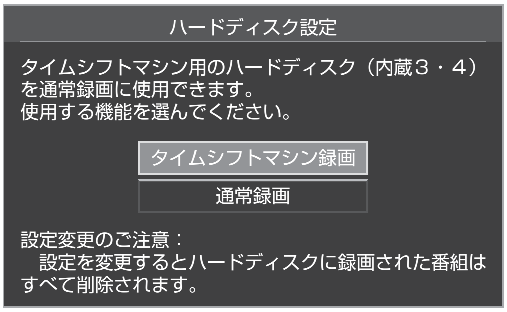
❷ ［↑↓］で「初期設定」を選び、［決定］を押す

❸ ［↑↓］で「地デジ機能設定」を選び、［決定］を押す

2 ［↑↓］で「ハードディスク設定」を選び、［決定］を押す



3 ハードディスクの用途を［↑↓］で選び、［決定］を押す



● ハードディスクの用途を変更した場合はメッセージが表示されます。メッセージの操作ガイドに従って操作してください。

● 設定変更の処理が始まります。終了すると手順**2**の画面に戻ります。

4 ［終了］を押して、メニューを消す

お知らせ

● 「タイムシフトマシン録画設定」をしたあとで、「はじめての設定」34 や「初期スキャン」77 をすると、録画チャンネルが変更されることがありますので確認してください。

各種機能の設定と接続

地デジ機能設定

地デジ機能設定 つづき

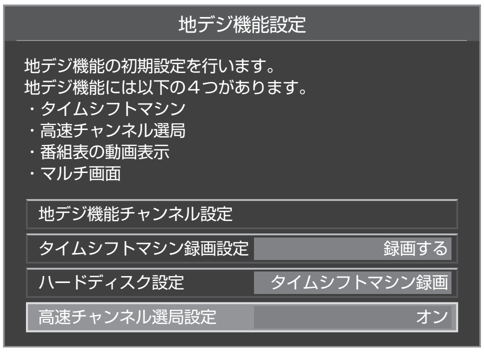
高速チャンネル選局設定

- 地上デジタル放送の高速チャンネル選局機能を使うかどうかを設定します。
- 高速チャンネル選局機能を使うと、地上デジタル放送の視聴時に、チャンネル∧・∨ボタンを押し続けることでチャンネルを速く切り換えることができるようになります。
- 高速チャンネル選局の対象チャンネルは、「地デジ機能チャンネル設定」で設定したチャンネルです。

1 以下の操作で「地デジ機能設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ ▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲▼ で「地デジ機能設定」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で「高速チャンネル選局設定」を選び、決定 を押す



3 ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す



- **オン**…… 高速チャンネル選局機能を使用します。
- **オフ**…… 高速チャンネル選局機能を使用しません。

4 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

■「高速チャンネル選局機能」について
- 「オフ」に設定した場合、マルチ画面表示（操作編 13）での副画面表示や、地上デジタル放送の番組表での動画表示（操作編 16）に多少の時間がかかることがあります。

内蔵ハードディスクの設定

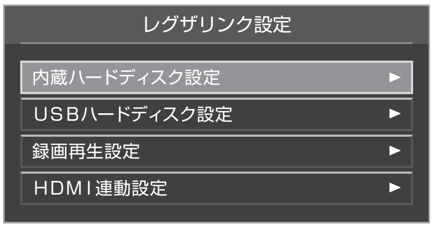
- 一部の設定を除いて、通常録画用の内蔵ハードディスク(内蔵1、内蔵2)の設定です。
- 通常録画用の内蔵ハードディスクでは、本機で受信したデジタル放送番組の録画・再生、登録したニュース番組の自動録画や再生(今すぐニュース)、お買い上げ時に収録されている名画コンテンツの再生などができます。詳しくは、「録画・予約をする」(操作編 51)の章、「レグザリンクを使う」(操作編 62)の章をご覧ください。
- 「今すぐニュース」(操作編 25)の機能を使用する場合は、以下の手順で「今すぐニュース番組登録」の操作をしてください。
- そのほかの項目は、必要に応じて設定してください。

1 以下の操作で「内蔵ハードディスク設定」画面にする

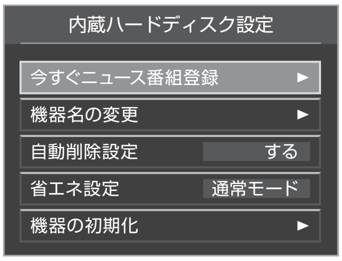
❶ [設定メニュー](パネル2段開く)を押す

❷ [上下]で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押す

❸ [上下]で「内蔵ハードディスク設定」を選び、[決定]を押す



2 設定する項目を[上下]で選んで[決定]を押し、表(次ページまで)の手順で設定する



3 [終了]を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順

今すぐニュース番組登録

- 「今すぐニュース」(操作編 25)で録画するニュース番組の登録や取消しができます。
- 番組は18個まで登録できます。
- 番組編成は変更になることがあります。その場合は設定を変更してください。
- 「今すぐニュース番組登録」を選択すると、以下の画面(例)が表示されます。

例



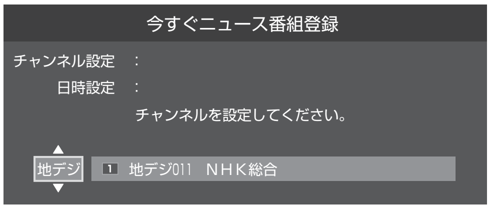
今すぐニュース番組登録(つづき)

❶ 以下の操作でニュース番組を登録・取消する

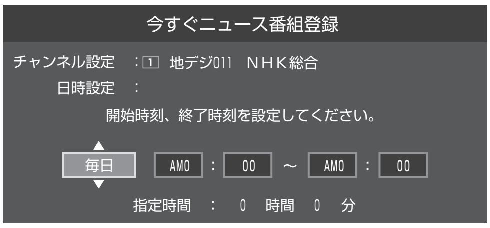
■ **番組を手動で登録する場合**

① [上下]で「新規登録」を選び、[決定]を押す

② 指定する項目を[左右]で選び、[上下]で内容を選んで[決定]を押す
左：放送の種類(BS/CS/地デジ)
右：チャンネル



③ 指定する項目を[左右]で選び、[上下]で内容を選んで[決定]を押す
左　：曜日(毎日/毎週(日)～毎週(土)/月～木/月～金/月～土)
　※毎週(日)～毎週(土)は、毎週指定した曜日だけ予約を実行します。
中央：番組の開始時刻
右　：番組の終了時刻
　※録画できる時間は最大2時間です。



■ **番組を自動登録する場合**

- すでに登録されているニュース番組をすべて取り消して自動登録をします。

① [青]を押す

② 自動登録の確認画面で、[左右]で「はい」を選んで[決定]を押す

- 「チャンネルが設定されていないため、自動登録できません。」というメッセージが表示された場合は、「初期スキャン」77 をしてください。

■ **すでに登録した番組を取り消す場合**

① 取り消したい番組を[上下]で選び、[決定]を押す

② 取消の確認画面で、[左右]で「はい」を選んで[決定]を押す

■ **登録されている番組をすべて取り消す場合**

① [赤]を押す

② すべて取消の確認画面で、[左右]で「はい」を選んで[決定]を押す

内蔵ハードディスクの設定　つづき

機器名の変更	● 内蔵ハードディスクの機器名を変更することができます。 ❶ 機器名を変更する内蔵ハードディスクを▲▼で選び、青を押す ❷ ◀▶で「はい」を選び、決定を押す ❸ 文字入力画面で機器名を入力する • 文字入力のしかたは、操作編の112をご覧ください。 ❹ 終わったら、決定を押す
自動削除設定	● 内蔵ハードディスクの容量が足りない場合に、日付の古い録画済み番組から自動的に削除する機能です。ただし、保護(操作編67)されている録画番組は、自動削除されません。 ● 保護をした録画番組が多くなると、自動削除機能が働かなくなる場合があり、録画できる時間は短くなります。 ❶ ▲▼で「する」または「しない」を選び、決定を押す • **する**……自動削除機能が働きます。 • **しない**…自動削除機能は働きません。
省エネ設定	● この設定の対象はタイムシフトマシン録画用ハードディスク(内蔵3、内蔵4)です。(「地デジ機能設定」の「ハードディスク設定」61で内蔵3、内蔵4を通常録画用に設定している場合は、省エネ設定はできません) ❶ ▲▼でモードを選び、決定を押す • **通常モード**…本機の電源が「入」のとき、ハードディスクの電源は常時「入」の状態です。 • **省エネモード**…タイムシフトマシン録画をしない時間はハードディスクの電源は待機状態になり、録画をする時間に自動的に電源がはいります。
機器の初期化	● 内蔵ハードディスクが正常に使用できなくなった場合に、初期化をすれば使用できるようになることがあります。 **※ 初期化すると、内蔵ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。(名画コンテンツは消去されません)** ❶ 初期化する内蔵ハードディスクを▲▼で選び、決定を押す ❷ 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す ❸ 初期化終了の画面で決定を押す

録画再生設定

● 内蔵、USBハードディスクでの録画・再生に関する設定をすることができます。

1 以下の操作で「録画再生設定」画面にする

❶ 設定メニューを押す

❷ ▲▼で「レグザリンク設定」を選び、決定を押す

❸ ▲▼で「録画再生設定」を選び、決定を押す

レグザリンク設定
- 内蔵ハードディスク設定 ►
- USBハードディスク設定 ►
- 録画再生設定 ►
- HDMI連動設定 ►

2 設定する項目を▲▼で選んで決定を押し、下表の手順で設定する

録画再生設定
- Eメール録画予約設定 ►
- ダイレクト録画時間設定　2時間
- ワンタッチスキップ設定　30秒
- ワンタッチリプレイ設定　10秒

●「メール録画予約設定については、次ページをご覧ください。

3 終了を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
ダイレクト録画時間設定	● 本機のリモコンの●録画で録画を開始したときの録画時間を設定します。 ● 録画時間や録画先は、録画開始時に確認・変更することができます。詳しくは、操作編の「見ている番組を録画する」53をご覧ください。 ❶ ▲▼で時間を選び、決定を押す • 30分、1時間、90分、2時間、3時間、4時間の中から選択できます。
ワンタッチスキップ設定	● 機器の再生時、▶を押したときに先に進む時間を設定します。 ❶ ▲▼で時間を選び、決定を押す • 5秒、10秒、30秒、5分の中から選択できます。
ワンタッチリプレイ設定	● 機器の再生時、◀を押したときに前に戻る時間を設定します。 ❶ ▲▼で時間を選び、決定を押す • 5秒、10秒、30秒、5分の中から選択できます。

お知らせ
●「今すぐニュース番組登録」は、番組表のクイックメニューからもできます。(操作編25)

Eメール録画予約設定

- 内蔵、USBハードディスクにEメールで録画予約をする場合の設定をします。
- Eメールで録画予約をするには、以下の設定と、「ブロードバンドを利用する場合の接続・設定」71が必要です。また、POP3を使用したメールサービスが利用できるインターネット接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。詳しくは、インターネット接続業者にお問い合わせください。
- 本機はEメールでの録画予約だけに対応しています。一般のEメールを受信して見ることはできません。
- Eメールでの録画予約のしかたについては、「Eメールで録画予約をする」（操作編59）をご覧ください。

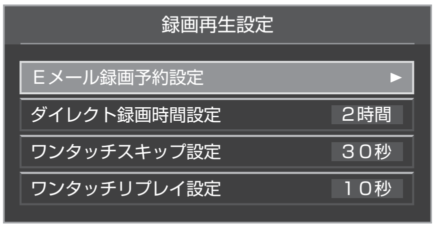
1 以下の操作で「Eメール録画予約設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す

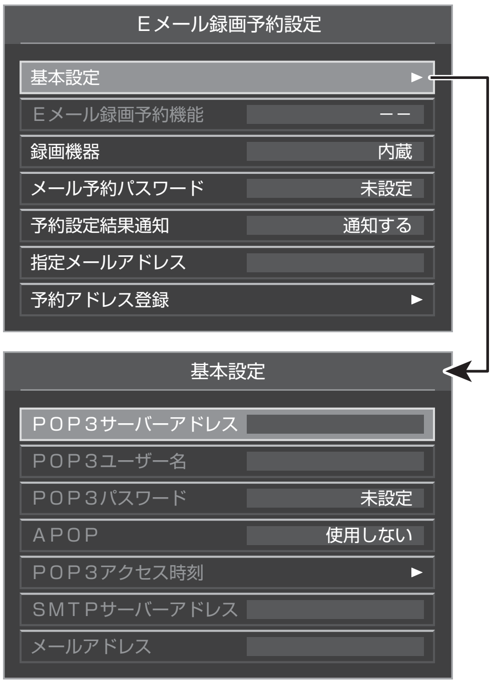
❷ で「レグザリンク設定」を選び、決定を押す

❸ で「録画再生設定」を選び、決定を押す

❹ で「Eメール録画予約設定」を選び、決定を押す



2 設定する項目をで選んで決定を押し、右表（次ページまで）の手順で設定する



3 終了を押して、メニューを消す

4 設定を有効にするには、電源を入れ直す

項目	説明および操作手順
基本設定	●「基本設定」画面で以下の操作をします。 ❶ 設定する項目をで選んで決定を押す ❷ 項目によってそれぞれの操作をする ● 入力する内容はプロバイダーから提供された資料をご覧ください。 ●「APOP」と「POP3アクセス時刻」以外は、文字を入力します。文字入力のしかたは操作編の112をご覧ください。 ■ POP3サーバーアドレス • POP3サーバーアドレスを入力します。 ■ POP3ユーザー名 • ユーザー IDを入力します。 ■ POP3パスワード • パスワードを入力します。 ■ APOP • 録画予約メール受信時にパスワードを暗号化して送ります。メールサーバーやメールソフトが対応していない場合は「使用しない」を選びます。 •「使用する」または「使用しない」をで選んで決定を押します。 ■ POP3アクセス時刻 • 本機がメールサーバーに新着メールの確認にいく時刻を設定します。 • で時刻を選んで決定を押します。 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。アクセスする時刻に✓がつくようにします。 • すべて選択したら、で「設定完了」を選んで決定を押します。 ■ SMTPサーバーアドレス • SMTPサーバーアドレスを入力します。 例）smtp.XXX.ne.jp ■ メールアドレス • メールアドレスを入力します。

お知らせ

- 「メール予約パスワード」は、Eメールの本文に記載されます。この点を考慮して文字数や文字列を決めてください。Eメールは悪意を持った第三者に見られるおそれがありますので、POP3パスワードやキャッシュカードの暗証番号などを使用しないことをおすすめします。
- メール送信時のユーザー認証機能（SMTP-AUTH）に対応していません。
- ご契約のプロバイダーが、迷惑メール対策のために送信メール規制（ポート25通信規制）をしている場合、予約設定結果通知メールの送信ができないことがあります。ポート25通信規制についてはプロバイダーにご確認ください。

Eメール録画予約設定 つづき

Eメール録画予約機能	● Eメールでの録画予約機能を使用する、しないを設定します。 ※ 使用する場合は、先に「予約アドレス登録」をしてください。登録が１件もない場合は、この項目を選択できません。 ❶ **「使用する」または「使用しない」を［上下］で選び、［決定］を押す**
録画機器	● 番組の録画先の機器を指定します。 ❶ **［上下］で録画先を選び、［決定］を押す**
メール予約パスワード	● メールで録画予約をする場合に使用するパスワードを設定します。（パスワードを設定しないと、メール録画予約はできません） ❶ **パスワードを設定する** • パスワードには最小6文字～最大20文字までの半角英数字を入力します。 ❷ **入力が終わったら、［決定］を押す**
予約設定結果通知	● メールでの録画予約設定の結果を、メールでお知らせする機能です。 ❶ **希望の通知先を［上下］で選び、［決定］を押す** • **使用しない**… 予約設定結果通知を使用しません。 • **指定アドレスへの通知**… 次項目の「指定メールアドレス」で指定したアドレスに通知します。 • **送信元アドレスへの通知**… 録画予約のメールを送ったアドレスに通知します。 • **指定アドレスと送信元アドレスへの通知**… 次項目の「指定メールアドレス」で指定したアドレスと、録画予約のメールを送ったアドレスに通知します。
指定メールアドレス	● 予約設定結果通知メールの送り先を設定します。 ※ 指定したアドレスに送信する場合は、上記の「予約設定結果通知」で「指定アドレスへの通知」または「指定アドレスと送信元アドレスへ通知」に設定してください。 ❶ **指定するメールアドレスを入力する** ❷ **入力が終わったら、［決定］を押す**

予約アドレス登録	● 以下の手順で登録した予約アドレスからの録画予約メールだけが受信ができます。 ※ 予約アドレスを一件も登録しない場合は、「メール録画予約機能」の表示が自動的に「－－－」になります。 ❶ **予約アドレスを登録または編集・削除する** ■ **予約アドレスを登録する場合** ● 6件のアドレスが登録できます。 ① ［上下］で「新規追加」を選び、［決定］を押す ② アドレスを入力する • いくつものアドレスを登録する場合は手順①と②を繰り返します。 ■ **登録済のアドレスを編集・削除する場合** ● すでに登録されているアドレスの内容を編集・削除します。 ① 編集・削除したいアドレスを［上下］で選び、［決定］を押す ② 「編集する」または「削除する」を［上下］で選び、［決定］を押す ■ 「編集する」を選んだ場合 文字入力画面で、アドレスを変更します。 ■ 「削除する」を選んだ場合 確認画面で、［左右］で「はい」を選び、［決定］を押せば指定したアドレスが削除されます。 ❷ **アドレスの登録、編集・削除が終わったら、［上下］で「登録完了」を選び、［決定］を押す**

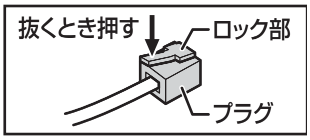
双方向サービスを利用する場合の接続・設定

- デジタル放送の双方向サービス（クイズ番組への参加、通販番組での商品購入など）を利用するには、本機を電話回線に接続する必要があります。………（ダイヤルアップ通信での双方向サービス）
- インターネットのブロードバンドを利用している場合、本機のLAN端子をブロードバンドルーターに接続すれば、デジタル放送の一部の双方向サービスを利用することができます。71 ………（イーサネット通信での双方向サービス）

電話回線への接続

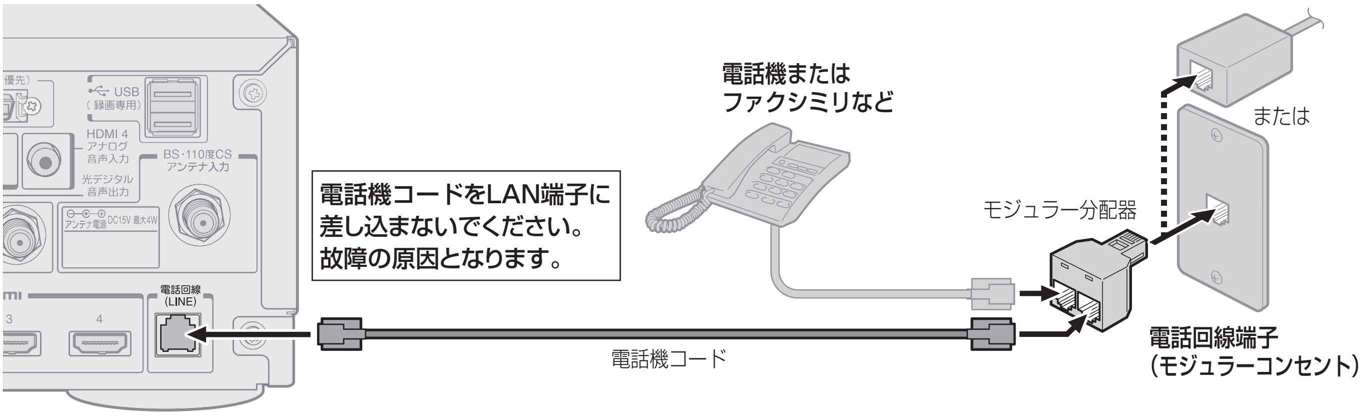
ご注意

- 電話機コードを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機コードを抜き差しするときは、プラグを持ってください。抜くときは、コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）



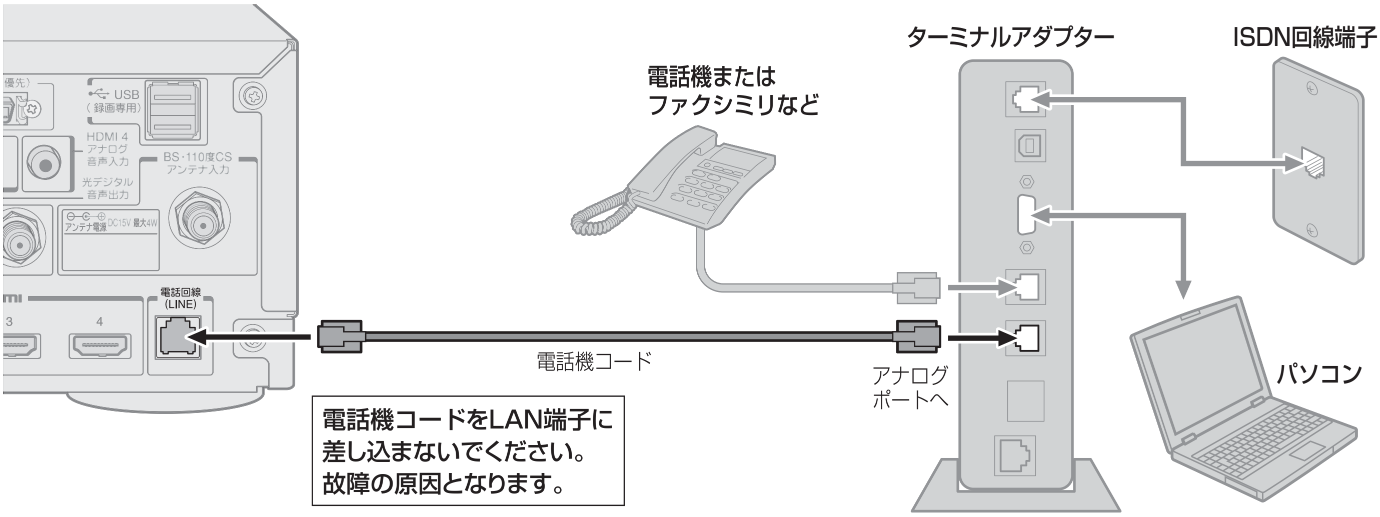
電話回線への接続例

- 電話回線がモジュラーコンセントでない場合や、電話機の主装置、ターミナルボックス、ドアフォンなどが壁に埋め込まれている場合は専門業者による工事が必要です。ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。



ISDN回線の場合の接続例

- 本機の電話回線端子をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。
- 次ページの「電話回線設定」の「ダイヤル方式」は、「トーン」に設定してください。



お知らせ

- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、ビジネスホン、PHS、IP電話、ひかり電話などの回線には接続できません。ホームテレホンの場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- 本機の通信中は電話機やファクシミリは使用できません。逆に、電話機やファクシミリを使用中は、本機の通信はできません。キャッチホン契約の場合、本機の通信中に電話がかかってくると、本機の通信は終了します（キャッチホンⅡ契約の場合は終了しません）。
- 一部のダイヤル式電話機では、本機が通信をしているときに電話機の呼出音が鳴ることがあります。呼出音が鳴らないようにしたい場合は、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- 電話回線に接続の際に工事が必要な場合は有料となります。電話工事には資格が必要です。無資格の方は工事できません。
- ノイズがはいると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

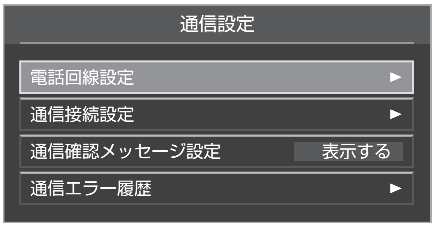
双方向サービスを利用する場合の接続・設定 つづき

電話回線の設定

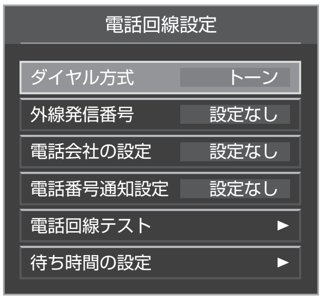
- メニューの中から必要な項目を選んで設定してください。
- 「通信環境設定」73☞ を「イーサネット優先」に設定してください。（お買い上げ時の設定です）
- お買い上げ時は、データ放送でのダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に、確認のメッセージが表示されるように設定されています。設定を変える場合は、「接続確認メッセージ設定」70☞ の操作をしてください。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

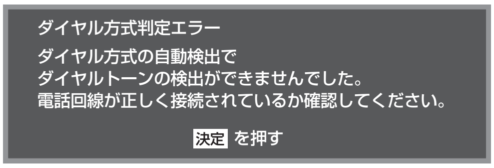
❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「通信設定」を選び、決定を押す
❹ で「電話回線設定」を選び、決定を押す



2 設定する項目を で選んで 決定 を押し、右表の手順で設定する



3 終了 を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
ダイヤル方式	● ご使用の電話回線のダイヤル方式を設定します。 ❶ で電話回線のダイヤル方式を選び、決定を押す ■「自動判定」を選んだ場合 ・「判定中」の画面が表示されます。 ・最初に「ダイヤルトーン検出」（電話回線が正しく接続されていることのチェック）が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。 ・自動判定が終了すると判定結果が表示されます。 ■ 自動判定中に「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合 ・下図のメッセージの場合は、決定を押して「電話回線設定」の画面に戻り、電話回線の接続を確認してから、もう一度「自動判定」を選んで決定を押してください。  ・電話回線の種類などによっては、自動判定ができない場合があります。自動判定ができない場合は、決定を押して「電話回線設定」の画面に戻り、使用している電話回線のダイヤル方式（トーン、20PPS、10PPS）を選んで決定を押してください。（ダイヤル方式が不明の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください） ■ 自動判定が終了しない場合 ・3分以上たっても終了しない場合は、戻るを押して自動判定を中止し、電話回線と正しく接続されているか確認してください。
外線発信番号	● 電話をかけるときに、電話番号の前に「0」や「＃」などの外線発信番号を付ける必要がある場合に設定します。 ❶ で「外線発信番号あり」を選び、決定を押す ❷ 外線発信番号を 1 ～ 10(0)、11(＊)、12(＃)で入力する（左詰めで入力してください） ・最大3ケタまでの設定ができます。 ・間違って入力した場合は、で前のケタに戻り、入力し直します。 ・1ケタ、または2ケタの設定をする場合は、左詰めで入力し、他のケタには何も入力しないで決定を押します。 ❸ 外線発信後の待ち時間を設定する（通常は「自動設定する」に設定してください） ・で「自動設定する」を選び、決定を押します。 ※「自動設定する」の設定で、次ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合は、で「時間を指定する」を選び、で時間を選択して、決定を押します。 ・設定範囲は2秒～9秒（秒単位）です。

電話会社の設定	● 本機からの発信時に、マイラインやマイラインプラスを使いたい場合や、通常使用する電話会社以外の電話会社を使いたい場合に設定します。 ❶ で「電話会社を設定する」を選び、決定を押す ❷ でマイラインプラス(優先接続サービス)に「加入していない」または「加入している」を選び、決定を押す ❸ 1～10(0)で電話会社を入力し、決定を押す • 最大8ケタまで設定できます。 • 間違って入力した場合は、で前のケタに戻り、もう一度入力してください。
電話番号通知設定	● 本機から電話の発信をしたときに、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 ❶ でお好みの設定を選び、決定を押す • **通知しない**……本機は電話番号の最初に「184」をつけてダイヤルします。 • **通知する**………本機は電話番号の最初に「186」をつけてダイヤルします。 • **設定しない**……本機は何もつけずにダイヤルします。この場合は、NTTとの「ナンバーディスプレイ」の契約のとおりとなります。

電話回線テスト	● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。 ❶ で以下から選ぶ • **電話回線テスト**………… 本機と電話回線の接続・設定が正しく行われているか確認します。テストの結果については下の表をご覧ください。 • **センター接続テスト**…… 本機とセンターの電話回線の接続が正しく行われているか確認します。テストの結果については下の表をご覧ください。**(このテストは電話料金がかかります)** ❷ 電話回線の接続状態を確認して、決定を押す ❸ テストが終了したら、決定を押す
待ち時間の設定	● 本機から電話の発信をしたいときに、「電話番号通知」、「マイラインプラス解除番号」、「電話会社指定番号」のあとにダイヤルまでの待ち時間が必要な場合に設定してください。 ❶ で「電話番号通知」、「マイラインプラス解除番号」または「電話会社指定番号」のどれかを選び、決定を押す ❷ でダイヤル待ち時間を選択し、決定を押す

「電話回線テスト」結果の表示	内容または対処のしかた
「電話回線の接続を確認しました。」	――――
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	● 電話回線が正しく接続されているか確認し、前ページと上記の「電話回線設定」で設定状態を再確認してください。
「電話回線の接続を確認できませんでした。」	● ダイヤル方式の設定が正しくないことが考えられます。なお、ターミナルアダプターを使用している場合は、電話回線テストはできません。
「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」	● 外線発信後の待ち時間を数値で設定している場合は、電話回線テストはできません。この場合に電話回線の確認をするには、「センター接続テスト」をしてください。

「センター接続テスト」結果の表示	内容または対処のしかた
「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」	● 正しく接続されています。
「センターと通信できませんでした。」	● 電話回線が正しく接続されているか確認し、前ページと上記の「電話回線設定」で設定状態を再確認してください。
「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」	● しばらくしてから、もう一度「センター接続テスト」をしてください。
「ただいまセンターと通信できません。」	

お知らせ

■ **外線発信番号の設定について**
- 手順❸で「時間を指定する」に設定した場合には、ダイヤルトーン検出をしません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、「時間を指定する」に設定してください。その場合、「ダイヤル方式」の設定の「自動判定」や「電話回線テスト」では回線の接続と設定の確認はできません。「電話回線テスト」の「センター接続テスト」で確認してください。

■ **電話会社の設定について(マイラインプラスに加入している場合)**
- 手順❷で「加入している」に設定してください。手順❸で設定した電話会社での回線発信ができます。
- 手順❷で「加入していない」に設定すると、手順❸で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
- 手順❸で電話会社番号が未入力の場合は、手順❶の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

■ **待ち時間の設定について**
- 表示が「－－」になっている項目に対してダイヤルまでの待ち時間は設定できません。
  各項目で「－－」表示になる場合は以下のとおりです。
  - 電話番号通知設定で「設定しない」に設定した場合
  - マイラインプラス(優先接続サービス)に「加入していない」に設定した場合
  - 電話会社の設定で「電話会社を設定しない」に設定した場合

双方向サービスを利用する場合の接続・設定 つづき

● 「電話回線設定」をした場合には、必要に応じて以下の「接続確認メッセージ設定」と「通信エラー履歴」の設定をしてください。

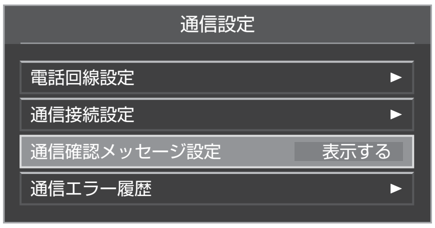
接続確認メッセージ設定

● データ放送でのダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させることができます。
● お買い上げ時は、「表示する」に設定されています。

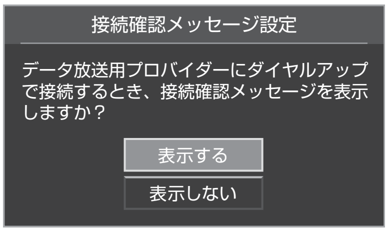
1 以下の操作で「通信設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ ▲▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「接続確認メッセージ設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す



● アクセスポイントにダイヤルアップ接続する場合やダイヤルアップ接続が切断される場合に、確認の画面を表示するかどうかが設定されます。
● 設定が完了して前画面に戻ります。

4 終了を押して、メニューを消す

通信エラー履歴

● 通信エラー履歴は、回線接続エラーが生じた場合に、一番新しい接続エラーが1件だけ記録されて表示されます。
※ **この通信エラー履歴は、放送局へのお問い合わせの際に必要になる場合があります。**

1 左記手順 ***1*** の操作をする

2 ▲▼で「通信エラー履歴」を選び、決定を押す

● エラー履歴があれば表示されます。

3 内容を確認し、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

お知らせ

■ **通信エラー履歴について**

● おもなエラーメッセージの対処のしかたは、操作編の108をご覧ください。

各種機能の設定と接続
双方向サービスを利用する場合の接続・設定

ブロードバンドを利用する場合の接続・設定

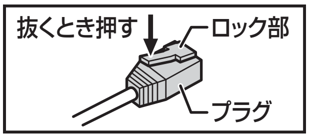
- インターネットのブロードバンドを利用している場合、本機のLAN端子をブロードバンドルーターに接続すれば、本機でインターネットにアクセスしてYahoo! JAPAN(操作編 89)、アクトビラ(操作編 92)などを利用することができます。
- 本機でブロードバンド機能を利用する場合は、「インターネット制限設定」 89 もご覧ください。
- Eメールでの録画予約(操作編 59)をする場合には以下の接続・設定が必要です。
- 双方向サービスが利用できるようになります。(双方向番組であっても、番組によってはインターネットを利用した双方向サービスに対応していない場合があります)

LAN端子の接続

- LAN端子の接続でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて次ページの「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。

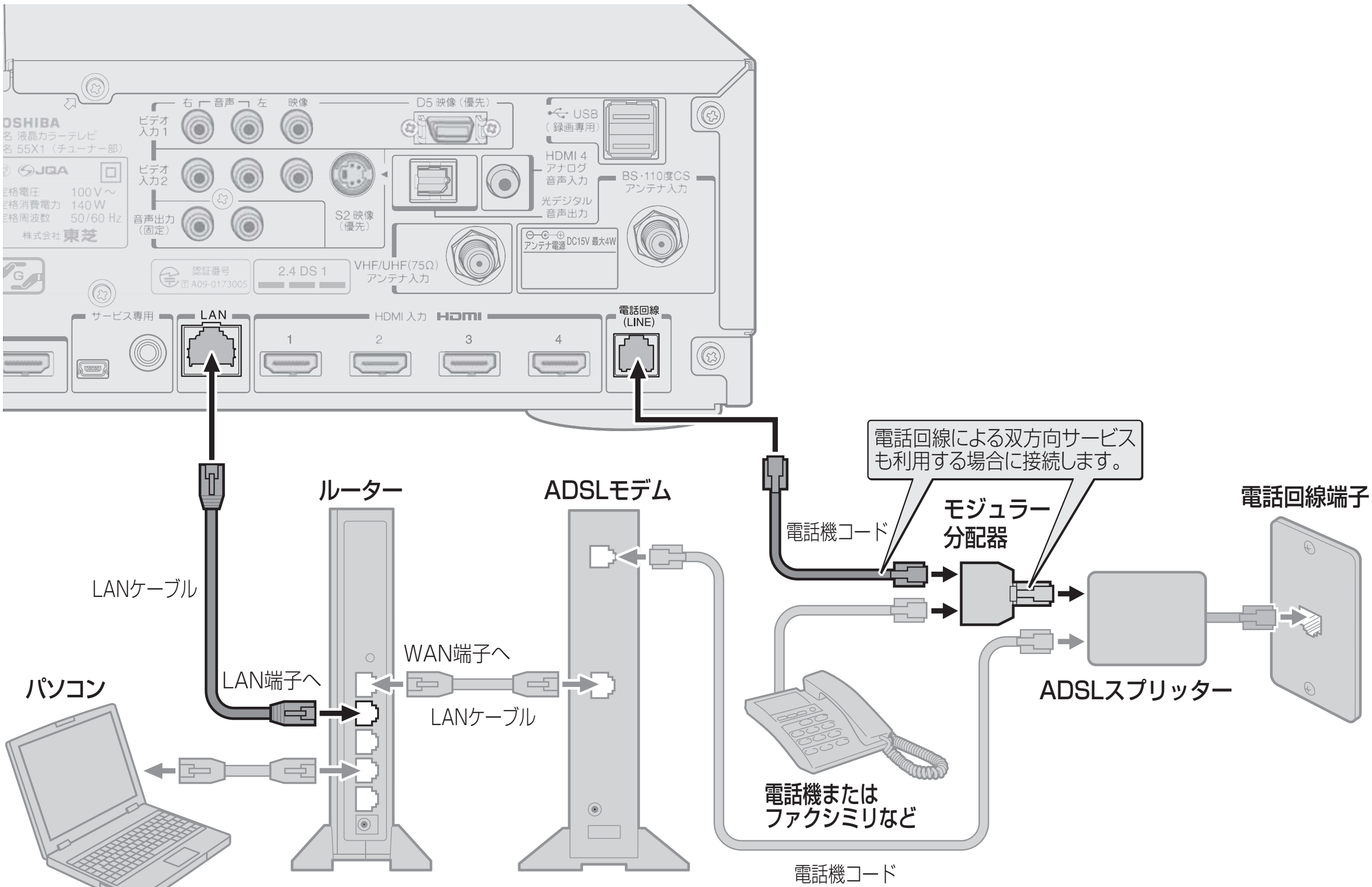
ご注意

- LANケーブルや電話機コードを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルや電話機コードを抜き差しするときは、プラグを持ってください。抜くときは、コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。(右図を参照)



電話回線のADSLでブロードバンドを利用している場合の接続例

- 電話回線(ダイヤルアップ通信)による双方向サービスを利用する場合は、図のように本機の電話回線端子への接続をしてください。(その場合は必要に応じて「電話回線の設定」 68 をしてください)
- ADSLモデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

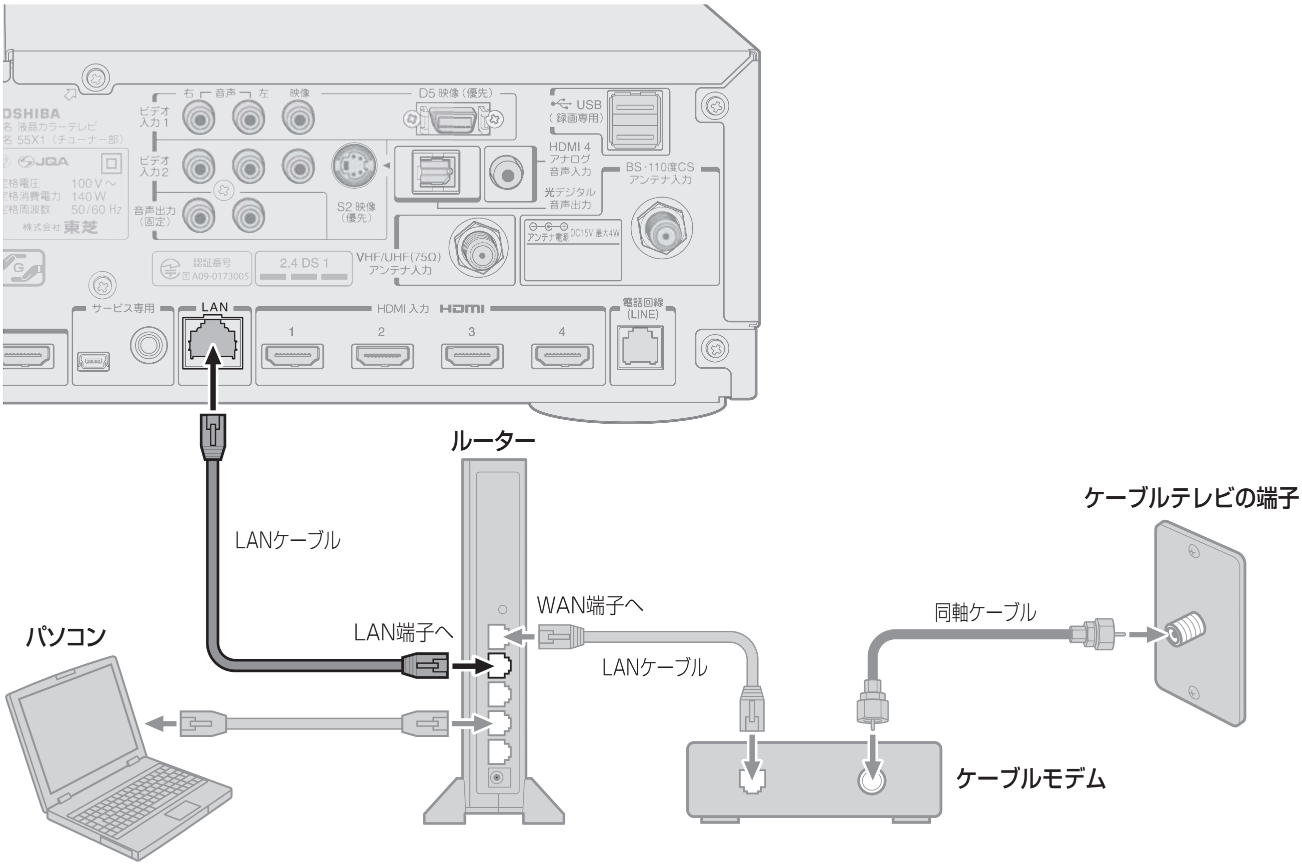


お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はLAN端子を使用した通信(イーサネット通信)でのみブロードバンドが利用できます。電話回線端子を使用した通信(ダイヤルアップ通信やISDN)などでは利用できません。

ブロードバンドを利用する場合の接続・設定 つづき

ケーブルテレビ回線でブロードバンドを利用している場合の接続例



LAN端子についてのお知らせとお願い

■ お知らせ

● イーサネット通信機能は、本機が動作状態のときにだけ使用できます。
● プロバイダー(インターネット接続事業者、以下同じ)側の設定や制限によっては、LAN機能の一部が使用できない場合があります。
● 通信事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによって、本機を使用できない場合や、同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります)
● LANケーブルは、カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。ブロードバンドのビデオ･動画サービスをご利用の場合には、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
● ご使用のモデムなどによっては、正常に通信できない場合があります。
● この取扱説明書で図示していない機器が接続されているときは、正常に通信できない場合があります。
● ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

■ お願い

● 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、お客様ご自身でお支払いください。
● 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーにお問い合わせください。
- ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
- 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
- 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
- モデムについてご不明な点など。

通信環境設定とLAN端子設定

- 「通信環境設定」は、LAN端子の接続をした場合および、ダイヤルアップ通信による双方向サービスを利用する場合に設定します。
- 「LAN端子設定」は、LAN端子の接続をした場合に必要に応じて設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。(ダイヤルアップでのインターネット通信の設定はしないでください)

1 以下の操作で「通信接続設定」画面にする

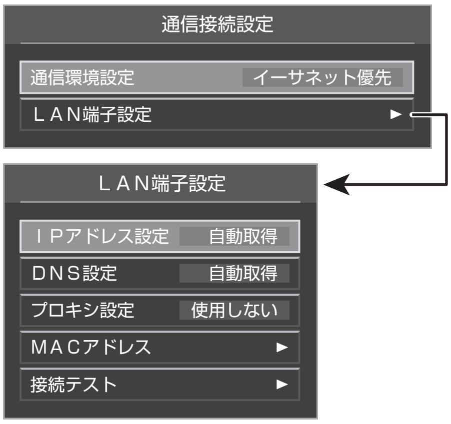
❶ 設定メニュー(パネル2段開く)を押す

❷ 十字キーで「初期設定」を選び、決定を押す

❸ 十字キーで「通信設定」を選び、決定を押す

❹ 十字キーで「通信接続設定」を選び、決定を押す

2 設定する項目を十字キーで選んで決定を押し、表(次ページまで)の手順で設定する



3 設定を有効にするには、電源を入れ直す

項目	説明および操作手順
通信環境設定	● 番組(コンテンツ)によっては、通信方式をダイヤルアップ通信(電話回線端子を使った通信)に指定してくる場合があり、その場合にダイヤルアップ通信を使用するか、しないかを設定します。 ❶ 十字キーで以下から選び、決定を押す ・**イーサネット** ダイヤルアップ通信を使用しない場合に選びます。 ・**イーサネット優先** イーサネット通信(LAN端子を使った通信)を優先して接続しますが、データ放送でダイヤルアップ通信が指定された場合はダイヤルアップ通信に切り換わります。通常はこちらを選びます。

LAN端子設定		
	IPアドレス設定	● インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 ※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」が自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。 ❶ 十字キーで「IPアドレス設定」を選び、決定を押す ❷ IPアドレスを自動取得できる場合は、十字キーで「する」を選ぶ ■ **IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合** ① 十字キーで「しない」を選ぶ ② 「IPアドレス」を十字キーで選び、1～10(0)で入力する ③ 「サブネットマスク」を十字キーで選び、1～10(0)で入力する ④ 「デフォルトゲートウェイ」を十字キーで選び、1～10(0)で入力する • ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。 • 欄を移動するには、十字キーを操作します。 ❸ 決定を押す
	DNS設定	● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。 ※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。DNSアドレスを手動で設定してください。 ❶ 十字キーで「DNS設定」を選び、決定を押す ❷ DNSアドレスを自動取得できる場合は、十字キーで「する」を選ぶ ■ **DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合** ① 十字キーで「しない」を選ぶ ② 「DNSアドレス(プライマリ)」を十字キーで選び、1～10(0)で入力する ③ 「DNSアドレス(セカンダリ)」を十字キーで選び、1～10(0)で入力する • ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。 • 欄を移動するには、十字キーを操作します。 ❸ 決定を押す

用語について

■ **IPアドレス**　インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例：111.112.xxx.xxx)

■ **DNSサーバー**　ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します(例：111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ **サブネットマスク**　ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。(例：255.255.xxx.xxx)

■ **デフォルトゲートウェイ**　ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。(例：111.112.xxx.xxx)

ブロードバンドを利用する場合の接続・設定 つづき

<table>
<tr><td rowspan="3">LAN端子設定 つづき</td><td>プロキシ設定</td><td>
● インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
● ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
● ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
❶ で「プロキシ設定」を選び、決定を押す
❷ で「使用する」を選び、決定を押す
❸ で「サーバー名」を選び、決定を押す
❹ サーバー名を入力する
• 文字入力のしかたは、操作編 112 をご覧ください。
• 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の!"#% &()*+,-.:;<=>@[¥]^{|}~?_/です。
❺ で「ポート番号」を選び、1～10(0)でポート番号を入力する
❻ で「設定完了」を選び、決定を押す
</td></tr>
<tr><td>MACアドレス</td><td>
● ネットワーク上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。
❶ で「MACアドレス」を選び、決定を押す
❷ MACアドレスを確認したら、終了を押す
</td></tr>
<tr><td>接続テスト</td><td>
● 「LAN端子設定」が正しいかテストします。
❶ で「接続テスト」を選び、決定を押す
❷ 接続テストをする場合は、決定を押す
• テスト結果については右記の「お知らせ」をご覧ください。
❸ 終了を押して、メニューを消す
</td></tr>
</table>

用語について

■ **プロキシ**　ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。(例 : proxy.xxx.xxx.xxx)
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

■ **MACアドレス**　イーサネット回線上につながっている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

お知らせ

■ 通信環境設定について
- 「イーサネット優先」に設定した場合、何らかの原因(たとえばADSLモデムの故障など)でイーサネット通信ができないときには、ダイヤルアップ通信もできなくなることがあります。
- 実際に接続・設定している環境と異なる項目を選ぶと正常に働きません。

■ IPアドレス設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定してください。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認してください。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■ DNS設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定してください。(プロバイダーによって設定方法が異なることがあります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■ LAN端子設定の接続テスト結果について
- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認してください。
  ⑴ LAN端子の接続状態と「LAN端子設定」を確認する
  - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

  ⑵ ネットワーク環境の接続確認
  - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

  ❶ パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
  ❷ URL欄に「www.toshiba.co.jp」を入力し、ページが表示されることを確認する
  - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認してください(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

■ PPPoE設定について
- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)

アンテナの方向調整と設定

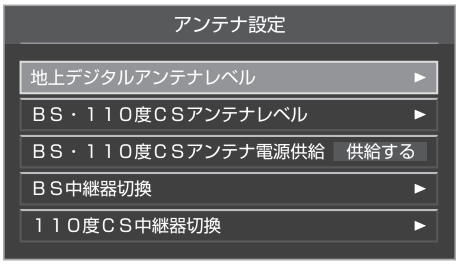
地上デジタル用アンテナの方向調整

- 「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [上下]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ [上下]で「アンテナ設定」を選び、[決定]を押す

2 [上下]で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、[決定]を押す

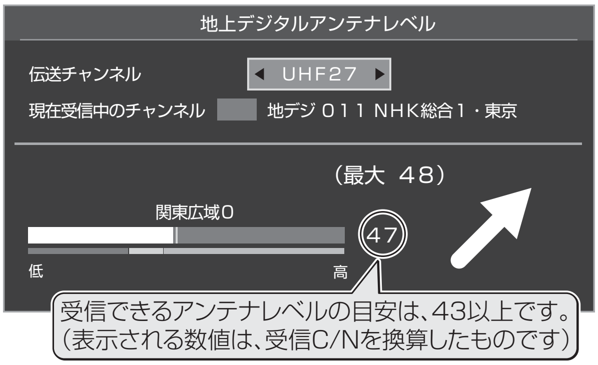


3 [左右]で「伝送チャンネル」を選ぶ

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。
- [左右]を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ↔ UHF13～UHF62 ↔ CATV13～CATV63

例



4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルがふえると ↗ が表示され、減ると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

5 アンテナを固定して、[決定]を押す

6 [終了]を押して、メニューを消す

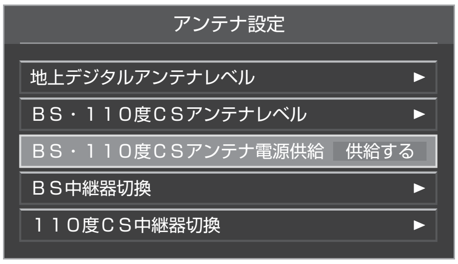
BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定

- アンテナに供給する電源をアンテナ電源といいます。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
  マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [上下]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ [上下]で「アンテナ設定」を選び、[決定]を押す

2 [上下]で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、[決定]を押す



3 [上下]で「供給する」または「供給しない」を選び、[決定]を押す



4 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ

■ BS・110度CSデジタル用アンテナのアンテナ電源供給設定について

- 「供給する」に設定した場合でも、本機の電源が「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません。
- 本機の電源を入れないで、DVDレコーダー単独で録画するときなどは、本機以外からアンテナ電源を供給する必要があります。

アンテナの方向調整と設定 つづき

BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整

● アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ 設定メニュー (パネル2段開く)を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2 で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、決定を押す

3 BS または CS で放送の種類を選ぶ

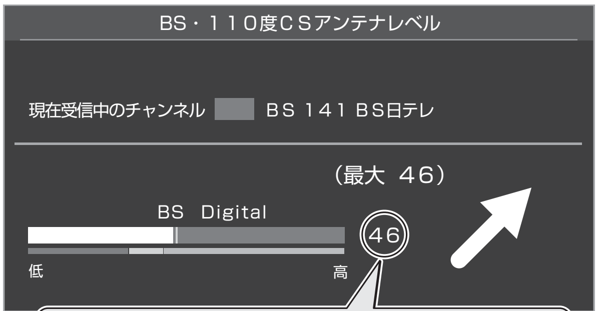
4 チャンネル でチャンネルを選ぶ

● 無料チャンネルまたは契約済のチャンネルを選びます。

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

● アンテナレベルがふえると ↗ が表示され、減ると ↘ が表示されます。
● 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

例



受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。
(表示される数値は、受信C/Nを換算したものです)

6 アンテナを固定して、決定を押す

7 終了 を押して、メニューを消す

BS中継器切換／110度CS中継器切換

● 衛星の中継器が故障してすべての放送が受信できなくなってしまったときに、他の中継器に切り換えると、故障した中継器以外の放送が受信できます。通常は切換えの必要はありません。
● そのほかにも、外部機器からの電波の妨害などで一部の中継器が受信できない場合も同様です。

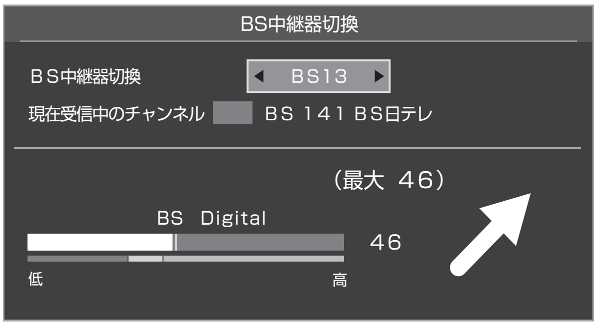
1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶ 設定メニュー (パネル2段開く)を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2 で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定を押す

3 で中継器を切り換え、放送が受信できたら、決定を押す

例



BS 中継器切換の場合

● 選択できる中継器は
- BSデジタル放送の場合：
BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15
- 110度CSデジタル放送の場合：
ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

※ 中継器は2009年11月現在の状態です。

4 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

■ BS・110度CSデジタル用アンテナ方向調整について
● アンテナ線がショートしていると、手順**5**の画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。その場合は、本体の電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてから、もう一度電源を入れて手順**1**からやり直してください。(※電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」14 をお読みください)

各種機能の設定と接続　アンテナの方向調整と設定

チャンネル設定

- 「はじめての設定」34 が済んでいて、特に変更の必要がない場合は「チャンネル設定」をする必要はありません。
- チャンネル設定には、「自動設定」と「手動設定」80 があります。

自動設定

- 「自動設定」では、地上アナログ放送と地上デジタル放送が設定できます。
- BSデジタルチャンネルと一部の110度CSデジタルチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。

地上デジタル放送の場合

- 地上デジタル放送の自動設定には、引越しなどで受信地域が変わったときにする「初期スキャン」と、放送チャンネルに変更があったときにする「再スキャン」があります。また、本機（チューナー）の電源が「待機」のときに自動的に行われる「自動スキャン」もあります。

初期スキャン

- 受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの[1]～[12]に放送の運用規定に基づいて設定します。
- 「初期スキャン」をするとこれまでに選局設定した内容は、すべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。ただし、各放送局ごとにお客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などは消去されません。
- 「はじめての設定」終了後に新たに開局された地上デジタル放送チャンネルを登録する場合や、中継局が新設・変更された場合は、次ページの「再スキャン」をしてください。
- 自動設定される内容は「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（103 ～104 ）が目安となります。

※「初期スキャン」をすると、「地デジ機能チャンネル設定」58 で設定したチャンネルや、「タイムシフトマシン録画設定」60 で設定した録画チャンネルが変更されることがあります。

※「初期スキャン」の結果、それまでにあったチャンネルがなくなった場合は、そのチャンネルのタイムシフトマシン録画番組は削除されます。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す
❹ で「地上デジタル自動設定」を選び、[決定]を押す

チャンネル設定

地上デジタル自動設定	▶
地上アナログ自動設定	▶
手動設定	▶
チャンネルスキップ設定	▶
ステレオ／モノラル	ーー
無信号消音設定	オン
初期設定に戻す	▶

2 で「初期スキャン」を選び、[決定]を押す

- タイムシフトマシン録画機能で録画された番組がある場合は、メッセージが表示されます。画面の表示に従って操作してください。

3 お住まいの地方をで選び、[決定]を押す

4 お住まいの都道府県または地域をで選び、[決定]を押す

- 下図の画面が表示された場合は「データ放送用メモリーの割当て」87 をしてください。

例

初期スキャン

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑ 11	テレ玉	○	あり
☑ 12	テレビ東京	○	あり
□ ーー	ＮＨＫ総合・新潟	○	あり
□ ーー	ＮＨＫ教育・新潟	○	あり
□ ーー	ＢＳＮ	○	あり

選択した放送局の数：１２

5 初期スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

■ 設定された内容を確認する場合

❶ で「はい」を選び、[決定]を押す
❷ 設定内容を確認したら[決定]を押す

- 設定された内容を変更したい場合は、「初期スキャン」終了後に「手動設定」80 をしてください。

■ 設定された内容を確認しない場合

❶ で「いいえ」を選び、[決定]を押す

6 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ

- 「はじめての設定」と「初期スキャン」では、地方・都道府県・地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

チャンネル設定 つづき

再スキャン

- 新たに放送局が開局されたりしてチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすれば、チャンネルを追加設定することができます。
- 「再スキャン」の結果、それまでにあったチャンネルがなくなった場合は、そのチャンネルのタイムシフトマシン録画番組は削除されます。
- 「初期スキャン」（35 または 77）をしていないと「再スキャン」はできません。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す

❷ で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 で「再スキャン」を選び、決定を押す

- データ放送用のメモリー割当画面（前ページ手順**4**参照）が表示された場合は 87 をご覧ください。
- 再スキャンの結果、放送に変更があった場合は、1～12への設定方法を選ぶ画面が表示されます。でどちらかを選び、決定を押します。
  - **すべて設定し直す** …… 地上デジタル放送のすべての設定をし直します。
  - **現在の設定に追加する** … 1～12の未設定のボタンだけを新たに設定します。
- タイムシフトマシン録画機能で録画された番組がある場合は、メッセージが表示されます。画面の表示に従って操作してください。

3 再スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

■ 設定された内容を確認する場合

❶ で「はい」を選び、決定を押す

❷ 設定内容を確認したら決定を押す

- 設定された内容を変更する場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」80 をしてください。

■ 設定された内容を確認しない場合

❶ で「いいえ」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

自動スキャン

- 「自動スキャン」は本機（チューナー）の電源が「待機」のときに不定期に行われます。
- 「初期スキャン」をしていないと、自動スキャンは行われません。
- 「自動スキャン」で放送局の変更が見つかった場合は、本機のチャンネル設定の内容を自動で変更し、「本機に関するお知らせ」（操作編 111）でお知らせします。
- 変更後の受信できるチャンネルについては番組表（操作編 16）でご確認ください。（枝番（操作編 12）だけが変更されている場合もあります）
- お買い上げ時は「自動スキャンする」に設定されています。チャンネル設定した内容を自動で変更させたくない場合は、「自動スキャンしない」に設定してください。
- 「自動スキャン」は不定期に行われるため、「自動スキャンする」に設定していても本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。放送局の変更があった場合は、「再スキャン」をすることをおすすめします。また、録画予約などをしていた場合は、予約チャンネルをご確認ください。

1 左記手順 *1* の操作をする

2 で「自動スキャン」を選び、決定を押す

3 で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定を押す

- 「自動スキャンしない」を選ぶと、「再スキャン」をしないかぎり、新しいチャンネルや変更になったチャンネルは受信できません。

4 終了を押して、メニューを消す

お知らせ

■「再スキャン」の動作について

- 前ページの「初期スキャン」の場合は、リモコンボタン1～12にすでに設定されている放送局をすべて消去して新たに放送局を設定し直しますが、「再スキャン」では次のようになります。
  - 放送局がすでに登録されているリモコンボタンについて、「再スキャン」によって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます（手順**2**の操作）。（すべてのリモコンボタンについてまとめて選択します。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」をしてください）
  - 新たな放送局が見つからなかったリモコンボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 「再スキャン」終了後の各チャンネルの構成については、番組表で確認できます。
- 「再スキャン」をしても枝番については、通常は変更されません。
- 「再スキャン」によってチャンネルの設定がされても、電波が弱い場合には正常には受信できないことがあります。

地上アナログ放送の場合

- テレビをご覧になる地域で放送されているチャンネル(VHF/UHF)を自動で設定することができます。
- お買い上げ時は、リモコン[1]～[12]にはVHFの1～12チャンネルがボタンの番号に合わせて設定されています。
- 地上アナログ自動設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(105～109)の内容で設定されますが、チャンネルが変更されて受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」81 で設定してください。

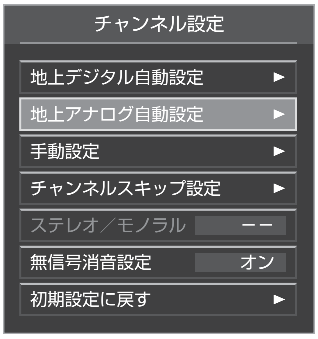
1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ [設定メニュー](パネル2段開く)を押す

❷ で「初期設定」を選び、[決定]を押す

❸ で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す

2 で「地上アナログ自動設定」を選び、[決定]を押す



3 お住まいの地方をで選び、[決定]を押す

4 お住まいの都道府県をで選び、[決定]を押す

5 お住まいの地域・都市をで選び、[決定]を押す

- お住まいの地域や都市名が記載されていない場合は、アンテナが向いている近くの地域名を選びます。
- 自動で設定されるチャンネルについては、105～109 の一覧表をご覧ください。
- 設定された内容を変更したい場合は「手動設定」をしてください。

6 [終了]を押して、メニューを消す

各種機能の設定と接続

チャンネル設定

お知らせ

■ 地上アナログ放送のチャンネル設定について

- お使いの地域・都市名で地上アナログ自動設定をしても正しく受信できない場合は、38 をご覧ください。
- ダウンロード(操作編 118)によって、本機内に設定している「地上アナログ放送の自動設定一覧表」の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順 ***3***～***5*** の項目が変わる場合もあります。
- 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や、受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」81 で設定してください。

チャンネル設定 つづき

手動設定

● リモコンのボタンに設定されている内容を変更したいときに手動設定をします。

地上デジタル放送の場合

● はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」77 をしてください。「初期スキャン」が行われていない状態では、「手動設定」はできません。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ [設定メニュー](パネル2段開く)を押す
❷ [▲▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ [▲▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す
❹ [▲▼]で「手動設定」を選び、[決定]を押す

2 [▲▼]で「地上デジタル」を選び、[決定]を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン([1]～[12])の番号を[▲▼]で選び、[決定]を押す

例



4 [▲▼]で「チャンネル」を選び、[◀▶]で地上デジタルのチャンネルを選ぶ

例



● [◀▶]を押すと次のように切り換わります。
([◀▶]を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます)



● 「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

■「テレビ」または「データ」を選んだ場合

● 手順**3**で選んだ番号のボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルまたは複数のデータ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ [▲▼]で「放送局」を選ぶ
❷ 設定したい放送局名を[◀▶]で選ぶ

(例) 手順**3**で「6」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で[6]を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局できます。

■地上デジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順**3**で選んだ番号のボタンに、ここで選んだ地上デジタルのチャンネルだけが設定されます。
※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます(これを変えることはできません)。

(例) 手順**3**で「6」を選び、ここで「地デジ071」を選ぶと、視聴時の操作で[6]を押したときに071チャンネルだけが選局できます。

5 設定が終わったら[▲▼]で「設定完了」を選び、[決定]を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**～**5**を繰り返します。

6 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ

● 手動設定をしたあとで、「初期スキャン」77や「はじめての設定」34をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

地上アナログ放送(VHF／UHF／CATV C13〜C63)の場合

● 以下の場合にも手動設定をしてください。
- 自動設定で正しく受信できないとき
- 設定されたチャンネル表示を変えたいとき
- CATVのチャンネルを[あ1]〜[12っ]に設定したいとき

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ [設定メニュー](パネル2段開く)を押す
❷ [▲▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ [▲▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す
❹ [▲▼]で「手動設定」を選び、[決定]を押す

2 [▲▼]で「地上アナログ」を選び、[決定]を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン([あ1]〜[12っ])の番号を[▲▼]で選び、[決定]を押す

例

手動設定　　地上アナログ

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ1	NHK総合
2	16	地アナ2	放送大学
3	3	地アナ3	NHK教育
4	4	地アナ4	日本テレビ
5	14	地アナ16	TOKYO　MX
6	6	地アナ6	TBS

リモコンボタンの番号
※[▲▼]で7〜12が表示されます。

4 次の❶〜❹の手順で、それぞれの項目を設定する

例

手動設定　　地上アナログ

項目	設定
リモコンボタン	5
❶ チャンネル	◀ 14 ▶
❷ 表示	地アナ5
❸ 放送局	TOKYO　MX
❹ 受信地域	23区

❶ [▲▼]で「チャンネル」を選び、[◀▶]で地上アナログ放送のチャンネルを選ぶ
- ● [◀▶]を押すと次のように切り換わります。
  ([◀▶]を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます)

  地上アナログ放送(1〜62) ⟷ CATV(C13〜C63)

- ● 色が消えたり、映像が不安定になったりしたときに、[青]と[黄]で微調整すればよくなる場合があります。
  ※ 調整前の状態に戻すには[◀▶]でチャンネルを選び直してください。

❷ [▲▼]で「表示」を選び、画面に表示させるチャンネル番号を[◀▶]で選ぶ
- ● [◀▶]を押すと次のように切り換わります。

  地上アナログ放送(1〜62) ⟷ CATV(C13〜C63)
  ⟷ BSアナログ放送(BS1、BS3、…BS15)(CATVで放送されている場合) ⟷

❸ [▲▼]で「放送局」を選び、[◀▶]で放送局名を選ぶ
- ● 「表示しない」を選ぶこともできます。

❹ [▲▼]で「受信地域」を選び、[◀▶]でアンテナを向けている放送局の地域を選ぶ
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーを接続している場合、東芝レコーダー側の地上アナログチャンネルを「HDMI連動で取得」の操作で設定する場合に、本機から渡すためのデータが設定されます。

5 [決定]を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**〜**5**を繰り返します。

6 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ

- ●「チャンネル設定」をした地上アナログチャンネルは、「チャンネルスキップ設定」84ページが自動的に「受信」に設定されます。
- ● 手動設定をしたあとで、「地上アナログ自動設定」79ページや「はじめての設定」34ページをすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

■ CATV(ケーブルテレビ)について
- ● CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

チャンネル設定 つづき

BSデジタル放送の場合

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す

❷ で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❹ で「手動設定」を選び、決定を押す

2 で「BS」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン（1～12）の番号をで選び、決定を押す

手動設定　BS

リモコン	チャンネル	放送局
1	BS101	NHK BS1
2	BS102	NHK BS2
3	BS103	NHK h
4	テレビ	BS日テレ
5	テレビ	ビーエス朝日
6	テレビ	BS−TBS

リモコンボタンの番号
※ で7～12が表示されます。

4 で「チャンネル」を選び、でBSデジタルのチャンネルを選ぶ

● を押すと次のように切り換わります。
（を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます）

テレビ ⟷ ラジオ ⟷ データ ⟷ BSデジタルのチャンネルを順に選局 ⟷ テレビ

●「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

■「テレビ」、「データ」、または「ラジオ」を選んだ場合

● 一つのボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネル、または複数データ放送のチャンネル、または複数のラジオ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ で「放送局」を選ぶ

❷ 設定したい放送局名をで選ぶ

（例）手順***3***で「4」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で4を押すたびに、「BS日テレ」のテレビ放送チャンネルが順次選局できます。

■BSデジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順***3***で選んだ番号のボタンに、ここで選んだBSデジタル放送のチャンネルだけが設定されます。

※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（これを変えることはできません）。

（例）手順***3***で「4」を選び、ここで「BS141」を選ぶと、視聴時の操作で4を押したときに141チャンネルだけが選局できます。

5 設定が終わったらで「設定完了」を選び、決定を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順***3***～***5***を繰り返します。

6 終了を押して、メニューを消す

お知らせ
● 2009年11月現在、ラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が運用された場合に、「ラジオ」が選択できるようになります。

110度CSデジタル放送の場合

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❹ で「手動設定」を選び、決定を押す

2 で「110度CS」を選び、決定を押す

3 設定を変更したいリモコンボタン（1～12）の番号をで選び、決定を押す



リモコンボタンの番号
※ で7～12が表示されます。

4 で「チャンネル」を選び、で110度CSデジタルのチャンネルを選んで、決定を押す

- を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
  （を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます）
- 放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を指定することはできません。
- リモコンの1～12を押したときに、ここで選んだチャンネルが選局されます。
- 「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。
- 「放送局」の欄には、選んだチャンネルの放送局名が表示されます。（放送局名を変えることはできません）

5 設定が終わったらで「設定完了」を選び、決定を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順 ***3***～***5*** を繰り返します。

6 終了 を押して、メニューを消す

チャンネル設定の内容を削除する

- デジタル放送のチャンネル設定の内容を削除できます。

1 左記手順 ***1*** の操作をする

2 放送の種類（「地上デジタル」、「BS」、「110度CS」）をで選び、決定を押す

3 設定内容を削除したい「リモコン」の番号をで選び、決定を押す

4 で「設定削除」を選び、決定を押す

例



※ 他のボタンの設定も削除する場合は、手順 ***3***、***4*** を繰り返します。

5 終了 を押して、メニューを消す

チャンネル設定 つづき

チャンネルスキップ設定

● [チャンネル∧∨]で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。
● CATVチャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。

1 以下の操作で「チャンネルスキップ設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [↑↓]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ [↑↓]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す
❹ [↑↓]で「チャンネルスキップ設定」を選び、[決定]を押す

2 設定したい放送の種類を[↑↓]で選び、[決定]を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを[↑↓]で選び、[決定]を押す

例

地上デジタルチャンネルスキップ設定　地上デジタル

チャンネル	放送局	スキップ
地デジ０１１	ＮＨＫ総合・東京	受信
地デジ０１２	ＮＨＫ教育・東京	受信
地デジ０２１		受信
地デジ０２２	日本テレビ	受信
地デジ０２３	テレビ朝日	受信
地デジ０３１	ＴＢＳ	受信

（例）手順**2**で「地上デジタル」を選んだ場合

● [決定]を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
● デジタル放送の放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは[青]を押します。
● [1]～[12]に割り当てたCATVチャンネル（C13～C63）は、「リモコン」欄が1～12よりも下のリストで「設定済み」として表示されます。

※ **他のチャンネルの設定をする場合は、手順3を繰り返します。**
（違う放送のチャンネルを設定する場合は、[戻る]を押し、手順**2**から操作してください）

4 [終了]を押して、メニューを消す

■ 受信・スキップの設定ができるチャンネル

● **地上アナログ放送**
[1]～[12]に割り当てられた地上アナログ放送とCATVチャンネル、その他のCATVチャンネル
● **デジタル放送**
受信可能なチャンネル

■ 自動設定をしたあとのチャンネルスキップ設定

● **地上アナログ放送**
[1]～[12]にチャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されています。
● **地上デジタル放送**
スキップ設定はありません。
● **CATV/BS・110度CSデジタル放送**
自動設定前と同じです。

お知らせ

● 「手動設定」をしたチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
● 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップします。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。
● 2009年11月現在、ラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が運用された場合に、「ラジオ」が選択できるようになります。

ステレオ／モノラルの設定

- 地上アナログ放送の設定です。
- 電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。
- 電波の弱いチャンネルの放送を視聴している状態で以下の設定をします。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す

❷ ［上下］で「初期設定」を選び、決定を押す

❸ ［上下］で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ［上下］で「ステレオ／モノラル」を選び、決定を押す

3 ［上下］で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

■「モノラル」に設定していてステレオ放送を受信したとき

- 音声はモノラルになります。
- チャンネル切換時には、「ステレオ」と表示されます。
- 画面表示を押したときは、「モノラル選択中」と表示されます。

無信号消音設定

- 地上アナログ放送の設定です。
- 無信号のとき（放送のないチャンネルを選択したり、放送が終わったりしたときなど）に、音声が出ないように設定することができます。
- 電波が極端に弱いチャンネルを選択したときにも、機能が働くことがあります。

1 左記手順 *1* の操作をする

2 ［上下］で「無信号消音設定」を選び、決定を押す

3 ［上下］で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- **オン**……無信号のときに音声を出さない。
- **オフ**……無信号のときにも音声を出す。

4 終了を押して、メニューを消す

チャンネル設定を最初の状態に戻す

- すべてのチャンネル設定と、「ステレオ／モノラルの設定」、「無信号消音設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 左記手順 *1* の操作をする

2 ［上下］で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

3 ［左右］で「はい」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

各種機能の設定と接続

チャンネル設定

お知らせ

■ ステレオ／モノラルの設定について

- ステレオ／モノラルの設定は、地上アナログ放送視聴時とアンテナ端子からのCATV放送視聴時にだけできます。

■ チャンネル設定を最初の状態に戻す場合について

- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。「初期スキャン」77 をしてください。（その結果、「地デジ機能チャンネル設定」58 や「タイムシフトマシン録画設定」60 の設定チャンネルが変更されることがあります）
- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻しても、「データ放送用メモリーの割当て」87 や、お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などはそのままです。

データ放送設定

郵便番号と地域の設定

- 「はじめての設定」が済んでいる場合は、この設定は不要です。
- お住まいの地域に応じたデータ放送、緊急警報放送などの視聴や、ダイヤルアップ通信をする際に、もよりのアクセスポイントを利用するための設定です。

1 以下の操作で「データ放送設定」画面にする

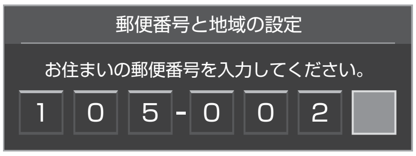
❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「データ放送設定」を選び、決定を押す

2 で「地域と郵便番号の設定」を選び、決定を押す

3 お住まいの郵便番号を 1 〜 10(0) で入力し、決定を押す

- 上3ケタを入力して決定を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例



4 該当する地方を で選び、決定を押す

- 「設定しない」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

5 該当する地域を で選び、決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

6 終了 を押して、メニューを消す

文字スーパー表示設定

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を選択することができます。お買い上げ時は日本語優先になっています。

1 左記手順 *1* の操作をする

2 で「文字スーパー表示設定」を選び、決定を押す

3 で「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す

- 「表示しない」を選んだ場合は、手順 **5** に進みます。

4 で言語を選び、決定を押す

- 日本語／英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／ロシア語／中国語／韓国語／スペイン語から選ぶことができます。

5 終了 を押して、メニューを消す

ルート証明書番号を確認する

- ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。
- ルート証明書は地上デジタル放送によって、放送局から送られます。本機内に記録された証明書番号を以下の手順で確認することができます。

1 左記手順 *1* の操作をする

2 で「ルート証明書番号」を選び、決定を押す

3 ルート証明書番号を確認し、決定を押す

4 終了 を押して、メニューを消す

用語について

■ **ルート証明書**　サーバーを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

お知らせ

■ **郵便番号と地域の設定について**
- 「はじめての設定」34とここでの設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」と同時にまとめて設定しているためです。
- データ放送を視聴している状態で設定をした場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局し直してください。

■ **文字スーパー表示の設定について**
- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

データ放送用メモリーの割当て

● 「はじめての設定」35 の手順 **8** や、「初期スキャン」77 の手順 **4** などで、データ放送用メモリーの割当画面が表示されたときには、以下の手順で設定します。

■ **個人の情報とデータ放送用メモリーの割当てについて**

● 地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人の情報（たとえば、視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。
通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。
その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割当画面（下の手順 **1** の画面）が表示されますので、以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。

● **メモリーを割り当てなかった放送局については、個人の情報がすべて消去されますのでご注意ください。**

1 メモリーを割り当てる放送局を ↑↓ で選び、決定 を押す

● 選んだ放送局にチェックマーク「✓」がつきます。
もう一度 決定 を押すと、指定が取り消されます。

● リモコンの 1 ～ 12 に設定されている放送局（放送局名表示の左側に1～12の番号が表示されています）については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。

● **このあと、手順 2～4 の操作をすると、メモリー割当ての指定をしなかった放送局の個人の情報はすべて消去されます。**
消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

設定の場面によって名称が変わります。

例

初期スキャン

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑ 11	テレ玉	○	あり
☑ 12	テレビ東京	○	あり
□ ーー	NHK総合・新潟	○	あり
□ ーー	NHK教育・新潟	○	あり
□ ーー	BSN	○	あり

選択した放送局の数：12

2 手順 1 を繰り返し、九つの指定をする

● 1 ～ 12 については自動的に設定されます。それらを除いた九つを指定します。

3 ← → を押す

● 手順 **4** の画面になります。

● 九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
決定 を押したあと、手順 **1** ～ **2** の操作で九つの指定をしてください。

4 ← → で「はい」を選び、決定 を押す

● 指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられ、このページの設定をする前の場面に自動的に戻ります。
指定以外の放送局の個人の情報はすべて消去されます。

例

初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
5	TOKYO MX	○	あり
6	TBS	○	あり
7	tvk	○	あり

メモリーを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？

はい　いいえ

メモリーを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。

5 このページの設定をする前の操作を続ける

● **「はじめての設定」の中の「初期スキャン」の場合**
36 の手順 **9** へ

● **「初期スキャン」の場合**
「初期スキャン」77 の手順 **5** へ

● **「再スキャン」の場合**
「再スキャン」78 の手順 **2** または手順 **3** へ

お知らせ
● 個人の情報を消去するには、「すべての初期化」をしてください。95

暗証番号の設定・削除

● 暗証番号は、ブロードバンド機能利用時の閲覧制限機能で使用したり、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。
● 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「すべての初期化」 95 をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意
● 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。

暗証番号の設定

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶ 設定メニュー(パネル2段開く)を押す
❷ [上下左右] で「機能設定」を選び、決定 を押す
❸ [上下左右] で「視聴制限設定」を選び、決定 を押す

機能設定	
省エネ設定	▶
視聴制限設定	▶
外部入力設定	オン
信号フォーマット詳細表示設定	オン
ページ切換設定	オフ

2 [上下左右] で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

■ 暗証番号をはじめて登録する場合
● 登録したい暗証番号(4ケタの数字)を 1 ～ 10(0) で入力してください。
● 間違えて入力した場合は、[左] を押し、もう一度入力してください。
※ 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

暗証番号設定

新たに登録する暗証番号を入力してください。

＊ ＊

暗証番号は視聴を制限する機能の設定や、視聴制限の解除に必要です。
暗証番号を忘れないようにご注意ください。

■ 暗証番号を変更する場合
● 変更する前の暗証番号を 1 ～ 10(0) で入力してください。

3 1 ～ 10(0) でもう一度暗証番号を入力し、確認画面で 決定 を押す

4 終了 を押して、メニューを消す

暗証番号の削除

1 左記「暗証番号の設定」の手順 *1* の操作で「視聴制限設定」画面にする

2 [上下左右] で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

3 1 ～ 10(0) で暗証番号を入力する

4 確認画面で、[左右] で「はい」を選び、決定 を押す

5 終了 を押して、メニューを消す

インターネット制限設定

- 本機のブロードバンド機能（操作編 89）を使用する際に、以下の閲覧制限機能を使用することができます。
- 「レグザ版あんしんねっと」のフィルタリングによるアクセス制限（プロキシ制限機能）と、アクセス先にかかわらずブラウザ起動時にパスワードで利用を制限する（パスワードロック機能）2種類の機能があります。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に前ページの手順で暗証番号を設定してください。

レグザ版あんしんねっと設定（プロキシ制限機能）

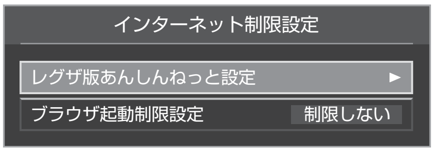
- インターネットにアクセスする際に、青少年がアクセスできるサイトを制限するように設定することができます。
- 次ページの「ブラウザ起動制限設定」を「制限する」に設定している場合は、この設定はできません。

1 以下の操作で「インターネット制限設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [上下左右]で「機能設定」を選び、[決定]を押す
❸ [上下左右]で「視聴制限設定」を選び、[決定]を押す
❹ [上下左右]で「インターネット制限設定」を選び、[決定]を押す

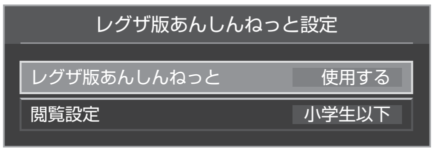
2 [あ1]～[10](0)で暗証番号を入力する

3 [上下左右]で「レグザ版あんしんねっと設定」を選び、[決定]を押す



※「ブラウザ起動制限設定」が「制限する」に設定されている場合は、先に次ページの「ブラウザ起動制限設定」を「制限しない」に設定してください。

4 [上下左右]で「レグザ版あんしんねっと」を選び、[決定]を押す



5 [上下左右]で「使用する」または「使用しない」を選び、[決定]を押す

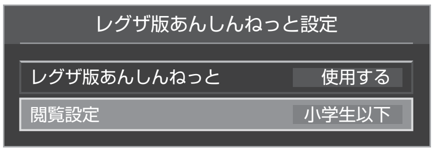
- 「使用しない」を選択した場合は、[終了]を押します。



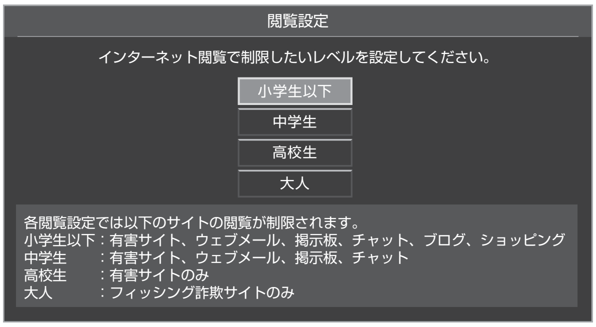
6 「ご利用上の注意」を読み、同意する場合は[左右]で「はい」を選んで[決定]を押す

- 「いいえ」を選択した場合は、[終了]を押します。

7 [上下左右]で「閲覧設定」を選び、[決定]を押す



8 制限するレベルを[上下左右]で選び、[決定]を押す



- 設定するレベルに応じて、それぞれ以下のサイトの閲覧が制限されます。
  - **小学生以下**……有害サイト、ウェブメール、掲示板、チャット、ブログ、ショッピング
  - **中学生**…………有害サイト、ウェブメール、掲示板、チャット
  - **高校生**…………有害サイトのみ
  - **大人**……………フィッシング詐欺サイトのみ

※ 閲覧制限対象のサイトにアクセスするときに、パスワードを使って一時的に閲覧設定を「大人」に変更することができます。詳しくは、「Yahoo! JAPANを利用する」（操作編 89）をご覧ください。

9 [終了]を押して、メニューを消す

「レグザ版あんしんねっと」について

「レグザ版あんしんねっと」はYahoo! JAPANが運営する「Yahoo!あんしんねっと」のフィルタリング用URLデータベースを使用したサービスです。
有害サイトの判定にあたっては、お客様がリクエストしたURL情報がYahoo! JAPANに送付されることをあらかじめご了承ください。（Yahoo! JAPANのプライバシーの考え方については、http://privacy.yahoo.co.jp/ をご参照ください）

インターネット制限設定 つづき

ブラウザ起動制限設定（パスワードロック機能）

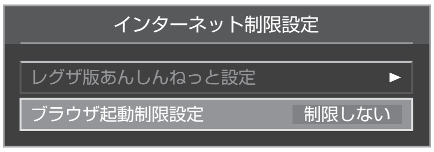
- 起動制限対象のブラウザを起動する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。
- 前ページの「レグザ版あんしんねっと」を「使用する」に設定している場合は、この設定はできません。

1 以下の操作で「インターネット制限設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [▲▼]で「機能設定」を選び、[決定]を押す
❸ [▲▼]で「視聴制限設定」を選び、[決定]を押す
❹ [▲▼]で「インターネット制限設定」を選び、[決定]を押す

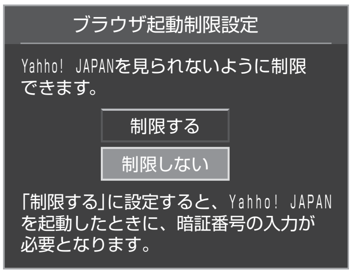
2 [1]～[10](0)で暗証番号を入力する

3 [▲▼]で「ブラウザ起動制限設定」を選び、[決定]を押す



※「レグザ版あんしんねっと設定」が「使用する」に設定されている場合は、先に前ページの「レグザ版あんしんねっと設定」を「使用しない」に設定してください。

4 [▲▼]で「制限する」または「制限しない」を選び、[決定]を押す



- **制限する**………閲覧制限対象のブラウザを起動する際に、暗証番号の入力が必要
- **制限しない**……暗証番号入力は不要

5 [終了]を押して、メニューを消す

視聴年齢制限設定

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、視聴年齢制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ [▲▼]で「機能設定」を選び、[決定]を押す
❸ [▲▼]で「視聴制限設定」を選び、[決定]を押す

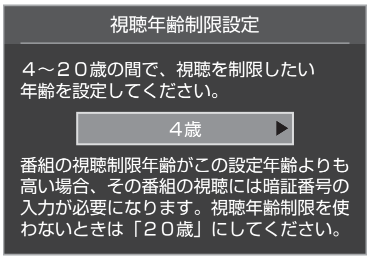
2 [▲▼]で「視聴年齢制限設定」を選び、[決定]を押す

- 暗証番号の入力画面になります。

3 [1]～[10](0)で暗証番号を入力する

4 [◀▶]で年齢を設定し、[決定]を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定してください。



5 [終了]を押して、メニューを消す

- 視聴時の動作および操作は以下のとおりです。

■ 番組の設定年齢が、設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- [決定]を押し、[1]～[10](0)で暗証番号を入力してください。

■ 本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていない場合

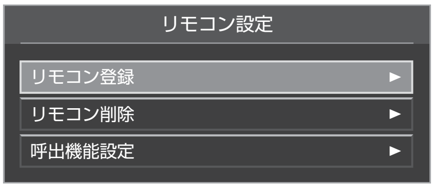
- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- [決定]を押し、設定が必要な項目を設定してください。

リモコン設定

リモコン登録

1 以下の操作で「リモコン設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、[決定]を押す
❸ で「リモコン設定」を選び、[決定]を押す



2 で「リモコン登録」を選び、[決定]を押す

3 登録するリモコンの[青]と[設定メニュー]を押し続ける

4 「登録しました。」のメッセージが表示されたら、[青]と[設定メニュー]を放す

- 以下のような場合には、エラーメッセージが表示されることがあります。
  - 乾電池の消耗または接触不良または極性間違い
  - 本体（チューナー）との距離が遠すぎる、または電波をさえぎる障害物がある
  - [青]と[設定メニュー]を押すときにタッチパッドに触れている

※ 登録済のリモコンで登録の操作をすることはできません。中止するには、チューナーの電源ボタンを押してください。

5 [決定]を押す

6 [終了]を押して、メニューを消す

- 登録したリモコンで操作ができることを確認してください。

リモコン削除

- リモコンの登録をすべて解除して、登録し直す場合の操作です。

1 左記「リモコン登録」の手順 *1* の操作をする

2 で「リモコン削除」を選び、[決定]を押す

3 確認画面で、で「はい」を選んで[決定]を押す

- 確認画面は2回表示されます。

4 左記「リモコン登録」の手順 *3* 以降の操作をする

呼出機能設定

- リモコンが見当たらないときに、チューナー前面とびら内のリモコン呼出/登録ボタン操作でリモコンのブザーを鳴らして呼び出すことができます。
- 複数のリモコンを登録している場合に、リモコン呼出機能を使うリモコンを1台だけ指定します。
- 登録されているリモコンが1台の場合は設定できません。

1 左記「リモコン登録」の手順 *1* の操作をする

2 で「呼出機能設定」を選び、[決定]を押す

3 呼出機能を使うリモコンをで選び、[決定]を押す

- どれが対象のリモコンかわからないときは、で「呼出確認」を選んで[決定]を押せば、選択中のリモコンのブザーが鳴ります。（ブザーが鳴らないときは、次ページ「リモコンを呼び出してみる」の手順 *1* の説明をお読みください）

※ 「呼出確認」の操作をする場合は、その前に次ページの「リモコン側の呼出設定する」の操作をしてください。

4 で「設定完了」を選び、[決定]を押す

5 [終了]を押して、メニューを消す

お知らせ

■「リモコン登録」について

- 手順 *1* ～ *2* の操作の代わりに、前面とびら内のリモコン呼出/登録ボタンを約5秒間以上押し続けて「リモコン登録」画面を表示させることもできます。その場合は、チューナーの電源が「入」のときに操作してください。
- 登録できるのは、付属のリモコンおよびオプションで購入した同型のリモコンで、合計5台までです。

リモコン設定 つづき

リモコン側の呼出設定する

● リモコン呼出機能を使用するには、以下の設定が必要です。
● お買い上げ時は、オフ(使用しない)に設定されています。
※ リモコン呼出機能をオン(使用する)に設定すると、乾電池の寿命が通常よりも短くなります。

1 [赤]を押しながら[設定メニュー]を押し続ける

● 連続音「ピー」3回(オン)と断続音「ピ・ピ」(オフ)が繰り返されます。

2 連続音「ピー」が鳴ったら[赤]と[設定メニュー]から手を離す

● リモコン呼出機能が使用できるようになります。
● 呼出機能を使用しない場合は、断続音「ピ・ピ」が鳴ったときにボタンから手を離します。

リモコンを呼び出してみる

● チューナーの電源が「入」のときに以下の操作をします。

1 チューナー前面とびら内のリモコン呼出/登録ボタンを押す

● 押し続けるとリモコン登録モードになりますので、すぐに放してください。
● リモコンのブザーが鳴ります。
● チューナー前面の「電源」表示で以下のように知らせます。
- 呼出中…… 赤色と青色で交互に点滅
- 成功……… 青色で点滅
- 失敗……… 赤色で点滅

※ リモコンのブザーが鳴らなかったり、呼出しに失敗したりした場合は、以下のことをご確認ください。
- 乾電池の消耗または接触不良または極性間違いはありませんか。
- 本体(チューナー)との距離が遠すぎる、または電波をさえぎる障害物があるかもしれません。
- ブザー音が聞こえないほど離れた場所にあるか、音をさえぎるものの中に埋もれているかもしれません。

2 リモコンの任意のボタンを押す

● リモコンのブザー音が停止します。

リモコン側のタッチパッド機能設定

● リモコンのタッチパッド機能を使用しない場合は、以下の設定をすれば、乾電池の寿命が通常よりも長くなります。

※ タッチパッド機能を使用しない設定にした場合
- なぞる操作での対象選択ができなくなります。
 [＋]を押す操作での選択はできます。
- なぞる操作でのページ切換ができなくなります。
 [＋]を押す操作でページ切換ができる場合とできない場合があります。
- ワンタッチスキップ[＋]➡、ワンタッチリプレイ⬅[＋]の操作(ダブルタップ)ができなくなります。代わりの操作方法はありません。
- 手書きでの文字入力ができなくなります。
 [1]～[12]を押して文字入力ができます。

1 [緑]を押しながら、リモコンから音が出るまで[設定メニュー]を押し続ける

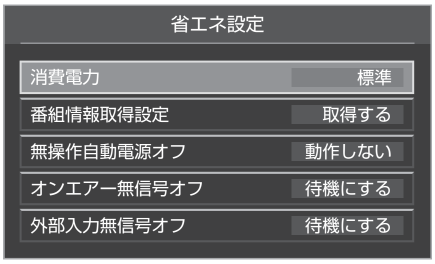
● 断続音「ピ・ピ」が鳴り、タッチパッド機能を使用しない設定になります。
※ タッチパッド機能を使用する場合は、同じ操作をしてください。連続音「ピー」が鳴ります。
(同じ操作の繰り返しで、機能のオンとオフが切り換わります)

省エネ設定

1 以下の操作で「省エネ設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ ▲▼で「機能設定」を選び、決定を押す
❸ ▲▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

2 設定する項目を▲▼で選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す

● いくつもの項目を設定する場合は、手順***2***、***3***を繰り返します。

4 設定が終わったら、終了を押す

設定項目	設定と内容
消費電力	・標準……標準の明るさです。 ・減1……画面の明るさをおさえて、消費電力を低減します。 ・減2……明るさと消費電力を「減1」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・取得する……電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・取得しない……番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	・待機にする……テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。 ・動作しない……テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。
オンエアー無信号オフ	・待機にする……放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。 ・動作しない……無信号状態が続いても電源は「入」のままです。 ※外部入力を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	・待機にする……外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。 ・動作しない……無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

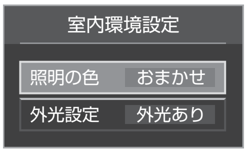
室内環境設定

● 「映像メニュー」（操作編 37）の「おまかせ」をより効果的に働かせるための設定です。
● 「映像メニュー」で「おまかせ」を選択していないときは、この設定項目は選択できません。

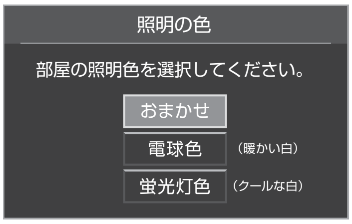
1 以下の操作で「室内環境設定」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す
❸ ▲▼で「室内環境設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「照明の色」を選び、決定を押す



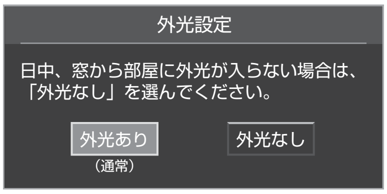
3 ▲▼で室内の照明の色を選び、決定を押す



- **おまかせ**……本機が自動判定します
- **電球色**……室内の照明が白熱灯（電球）や電球色の蛍光灯の場合に選びます
- **蛍光灯色**……室内の照明が蛍光灯の場合に選びます（蛍光灯のタイプが電球色の場合は「電球色」を選んでください）

4 ▲▼で「外光設定」を選び、決定を押す

5 ◀▶で以下から選び、決定を押す



- **外光あり（通常）**……日中、屋外から光がはいる場合
- **外光なし**……日中、屋外からはいる光が少なく、室内照明を使用している場合

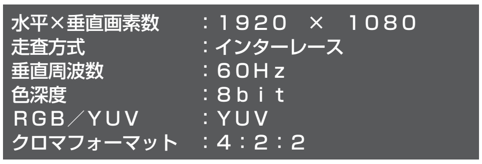
● 「外光あり」に設定した場合、手順***3***で設定した照明の色と外光に合わせた画質に自動調整されます。デジタル放送などから時刻情報を取得していない場合には、この設定では動作しません。
● 「外光なし」に設定した場合、手順***3***で設定した照明の色に合わせた画質に自動調整されます。

6 終了を押して、メニューを消す

信号フォーマット詳細表示設定／ページ切換設定／赤外線リモコン設定

信号フォーマット詳細表示設定

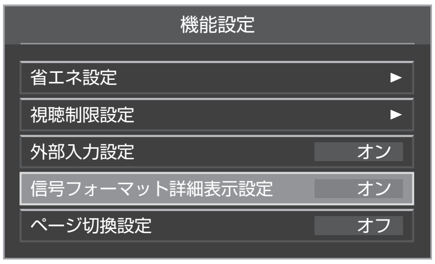
● [画面表示]を押したときに、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例


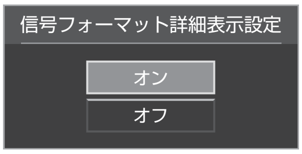
● お買い上げ時は表示されないように設定されています。表示させたい場合は、「オン」に設定してください。

1 以下の操作で「信号フォーマット詳細表示設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ で「機能設定」を選び、[決定]を押す
❸ で「信号フォーマット詳細表示設定」を選び、[決定]を押す



2 で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押す



- **オン**….. [画面表示]を押したときに、詳細な信号フォーマットが表示されます。
- **オフ**….. 詳細な信号フォーマットは表示されません。

3 [終了]を押して、メニューを消す

ページ切換設定

● タッチパッドのページ切換機能を使用するかどうかを設定します。

1 以下の操作で「ページ切換設定設定」画面にする

❶ [設定メニュー]（パネル2段開く）を押す
❷ で「機能設定」を選び、[決定]を押す
❸ で「ページ切換設定」を選び、[決定]を押す

2 で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押す

- **オン**….. ページ切換機能が使用できます。
- **オフ**….. ページ切換機能は使用できません。

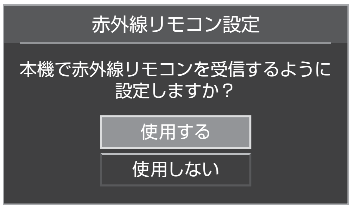
3 [終了]を押して、メニューを消す

赤外線リモコン設定

● お買い上げ時、東芝レグザシリーズ用の赤外線リモコンで一部の操作ができるようになっています。
● 赤外線リモコンの操作を受け付けないようにする場合は、以下の手順で「使用しない」に設定してください。

1 モニター操作部の[放送切換]を押し続ける

● 押し始めてから約8秒後に「赤外線リモコン設定」のメニュー画面が表示されます。メニュー画面が表示されたらボタンから手を放してください。



2 モニター操作部の[チャンネル▲▼]で「使用しない」を選び、[入力切換]を押す

● 赤外線リモコンの操作を受け付けるように設定する場合は、「使用する」を選んでください。

3 モニター操作部の[チャンネル▲▼]で「はい」を選び、[入力切換]を押す

4 モニター操作部の[放送切換]を押す

● メニュー画面が消えます。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

- お買い上げ時の設定に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて行ってください。
- リモコン側で設定した状態（タッチパッド機能、呼出設定）は以下の操作では変わりません。

ご注意
※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

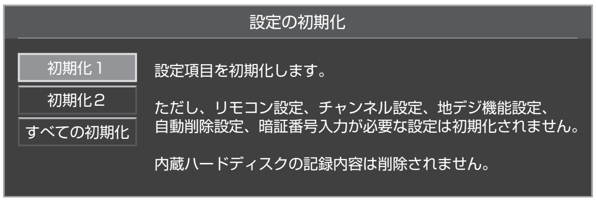
項　目	内　容
初期化1	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 ・チャンネル設定　・ハードディスクの自動削除設定 ・地デジ機能設定　・リモコン設定 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「インターネット制限設定」、「視聴年齢制限設定」 ● 内蔵ハードディスクの録画済番組および名画コンテンツは削除されません。 ● お好みに設定した項目を設定し直すときに行うと便利です。
初期化2	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 ・ハードディスクの自動削除設定　・地デジ機能設定　・リモコン設定 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「インターネット制限設定」、「視聴年齢制限設定」 ● 内蔵ハードディスクの録画済番組および名画コンテンツは削除されません。
すべての初期化	● 本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ● 内蔵ハードディスクの録画済番組は削除されます。名画コンテンツは削除されません。 ※ **この初期化は、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）、アクトビラの識別情報（操作編 92）についてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。**

1 以下の操作で「設定の初期化」画面にする

❶ 設定メニュー（パネル2段開く）を押す
❷ で「初期設定」を選び、決定を押す
❸ で「設定の初期化」を選び、決定を押す

2 で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、決定を押す

- 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。

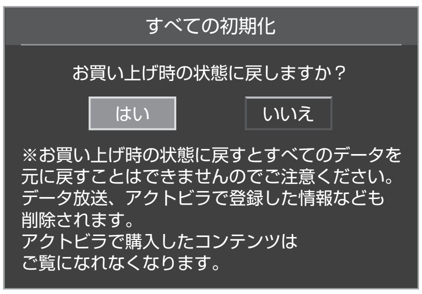


■ すべての初期化をする場合

- 暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。

3 初期化する場合は で「はい」を選び、決定を押す

※ 初期化したあとに初期化前の状態に戻すことはできません。



4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は決定を押します。
- 「すべての初期化」の場合は、チューナーまたはモニターの電源ボタンで電源を切ります。（リモコンでは操作できなくなります）

※「初期化できませんでした。ハードディスクが壊れている可能性があります。」が表示されたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 重要なお知らせ

「すべての初期化」をした場合、内蔵ハードディスクに保存されている録画済番組の再生はできなくなります。また、リモコンの登録もすべて解除され、操作できなくなります。

お買い上げ時の設定に戻すには つづき

■ お買い上げ時の設定

項目			設定内容	
映像メニュー			おまかせ	
お好み調整	黒レベル		00	
お好み調整	色の濃さ		00	
お好み調整	色あい		00	
お好み調整	シャープネス		00	
お好み調整	カラーイメージプロ設定		オン	
お好み調整	カラーパレットプロ調整		色あい	色の濃さ
お好み調整	カラーパレットプロ調整	レッド	00	00
お好み調整	カラーパレットプロ調整	グリーン	00	+04
お好み調整	カラーパレットプロ調整	ブルー	00	+04
お好み調整	カラーパレットプロ調整	イエロー	00	00
お好み調整	カラーパレットプロ調整	マゼンダ	00	00
お好み調整	カラーパレットプロ調整	シアン	00	00
お好み調整	レゾリューションプラス		オン	
お好み調整	アニメモード		おまかせ	
お好み調整	レベル調整		3	
お好み調整	MPEG NR		オート	
お好み調整	ダイナミックNR		オート	
お好み調整	ピーク輝度調整		オート	
お好み調整	LEDエリアコントロール		オン	
お好み調整	Wスキャン倍速		強	
お好み調整	オートファインシネマ		おまかせ	
お好み調整	色温度		00	
お好み調整	ダイナミックガンマ		00	
お好み調整	ガンマ調整		00	
お好み調整	Vエンハンサー		00	
明るさ検出			する	
室内環境設定	照明の色		おまかせ	
室内環境設定	外光設定		外光あり	
音声メニュー			ダイナミック	
音声調整	イコライザー	100Hz	1	
音声調整	イコライザー	330Hz	1	
音声調整	イコライザー	1kHz	0	
音声調整	イコライザー	3.3kHz	0	
音声調整	イコライザー	10kHz	0	
音声調整	サラウンド		ライブサラウンド	
音声調整	低音強調	低音強調周波数	120Hz	
音声調整	低音強調	低音強調レベル	弱	
バランス			中央	
視聴距離			2.5m	
ドルビーボリューム			オフ	
ドルビー DRC			オフ	
光デジタル音声出力			PCM	
ヘッドホーンモード			主画面モード	
センタースピーカーモード			オフ	
省エネ設定	消費電力		標準	
省エネ設定	番組情報取得設定		取得する	
省エネ設定	無操作自動電源オフ		動作しない	
省エネ設定	オンエアー無信号オフ		待機にする	
省エネ設定	外部入力無信号オフ		待機にする	
視聴年齢制限設定			未設定	
レグザ版あんしんねっと			未設定	
閲覧設定			未設定	
ブラウザ起動制限設定			未設定	
HDMI4音声入力設定			オート	
外部入力表示設定			HDMI1：DVD	ビデオ1：DVD
外部入力表示設定			HDMI2：DVD	ビデオ2：DVD
外部入力表示設定			HDMI3：DVD	ビデオ3：DVD
外部入力表示設定			HDMI4：DVD	ゲーム1：表示しない
外部入力表示設定			HDMI5：DVD	ゲーム2：表示しない
外部入力自動スキップ			する	
自動ダウンロード			ダウンロードする	

項目		設定内容
BS・110度CSアンテナ電源供給		供給する
自動スキャン		自動スキャンする
チャンネルスキップ設定		CATV：スキップ、他の放送：受信
ステレオ／モノラル		ステレオ
ダイヤル方式		トーン
外線発信番号		設定なし
電話会社の設定		設定なし
電話番号通知設定		設定なし
待ち時間設定	電話番号通知	設定しない
待ち時間設定	マイラインプラス解除番号	設定しない
待ち時間設定	電話会社指定番号	設定しない
接続確認メッセージ設定		表示する
通信環境設定		イーサネット優先
LAN端子設定	IPアドレス設定	自動取得
LAN端子設定	DNS設定	自動取得
LAN端子設定	プロキシ設定	使用しない
内蔵ハードディスク設定	自動削除設定	する
内蔵ハードディスク設定	省エネ設定	通常モード
USBハードディスク設定	自動削除設定	する
USBハードディスク設定	省エネ設定	通常モード
HDMI連動設定	HDMI連動機能	使用する
HDMI連動設定	連動機器→テレビ入力切換	連動する
HDMI連動設定	連動機器→テレビ電源	連動する
HDMI連動設定	テレビ→連動機器電源オフ	連動する
HDMI連動設定	PC映像連動	使用する
HDMI連動設定	AVシステム連動	使用する
HDMI連動設定	AVシステム音声連動	使用する
HDMI連動設定	優先スピーカー	テレビスピーカー
Eメール録画予約設定 / 基本設定	POP3サーバーアドレス	未設定
Eメール録画予約設定 / 基本設定	POP3ユーザー名	未設定
Eメール録画予約設定 / 基本設定	POP3パスワード	未設定
Eメール録画予約設定 / 基本設定	APOP	使用しない
Eメール録画予約設定 / 基本設定	POP3アクセス時刻	PM0:00、PM6:00、PM8:00、PM10:00
Eメール録画予約設定 / 基本設定	SMTPサーバーアドレス	未設定
Eメール録画予約設定 / 基本設定	メールアドレス	未設定
Eメール録画予約設定	Eメール録画予約機能	使用しない
Eメール録画予約設定	録画機器	内蔵
Eメール録画予約設定	メール予約パスワード	未設定
Eメール録画予約設定	予約設定結果通知	送信元アドレスへの通知
Eメール録画予約設定	指定メールアドレス	未設定
Eメール録画予約設定	予約アドレス登録	未設定
ダイレクト録画時間		2時間
ワンタッチスキップ設定		30秒
ワンタッチリプレイ設定		10秒
オフタイマー		切
番組表	文字サイズ変更	小さく
番組表	ジャンル色分け設定	緑：ニュース/報道、青：スポーツ、赤：ドラマ、橙：音楽、紫：映画
番組表	表示チャンネル数設定	7チャンネル表示
番組表	表示時間数設定	6時間表示
番組表	スキップチャンネル表示設定	表示する
番組表	番組概要表示設定	表示する
番組表	地デジ表示設定	チャンネル順優先表示
地デジ機能チャンネル設定		未設定
タイムシフトマシン録画設定		録画しない
ハードディスク設定		タイムシフトマシン録画
高速チャンネル選局機能		オン
音多切換		主音声
字幕		字幕オフ
無信号消音設定		オン
文字スーパー表示設定		表示言語：表示する、言語設定：日本語
降雨対応放送		通常の放送
音量		30

メニュー 一覧

- メニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分は、別冊「操作編」で説明している部分です）
  「操作編」のメニュー 一覧は、操作編 122 ～ 123 をご覧ください。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。
- 以下は、「映像メニュー」、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合のメニュー 一覧です。

設定メニュー → 映像設定
- 映像メニュー
- お好み調整
  - 黒レベル
  - 色の濃さ
  - 色あい
  - シャープネス
  - 明るさ調整
  - 詳細調整
    - カラーイメージコントロールプロ
      - カラーイメージプロ設定
      - カラーパレットプロ調整
        - レッド
        - グリーン
        - ブルー
        - イエロー
        - マゼンダ
        - シアン
        - ユーザー1
        - ユーザー2
        - ユーザー3
      - 初期設定に戻す
    - レゾリューションプラス設定
      - レゾリューションプラス
      - アニメモード
      - レベル調整
    - ノイズリダクション設定
      - MPEG NR
      - ダイナミックNR
    - ピーク輝度調整
    - LEDエリアコントロール
    - Wスキャン倍速
    - オートファインシネマ
    - 色温度
    - ダイナミックガンマ
    - ガンマ調整
    - Vエンハンサー
  - 初期設定に戻す
- 画面調整
  - スキャン切換
  - 上下振幅調整
  - 上下画面位置
  - 左右振幅調整
  - 初期設定に戻す
- 1080p処理モード設定
- 色解像度
- 明るさ検出
- 室内環境設定 93
  - 照明の色
  - 外光設定
- ヒストグラム表示

設定メニュー → 音声設定
- 音声メニュー
- お好み調整
  - イコライザー
  - サラウンド
  - 低音強調
  - CM検出補正
  - 初期設定に戻す
- バランス
- 視聴距離
- ドルビーボリューム
- ドルビーDRC
- 光デジタル音声出力 45
- ヘッドホーンモード
- センタースピーカーモード 45

設定メニュー → 機能設定
- 省エネ設定 93
  - 消費電力
  - 番組情報取得設定
  - 無操作自動電源オフ
  - オンエアー無信号オフ
  - 外部入力無信号オフ
- 視聴制限設定
  - 視聴年齢制限設定 90
  - インターネット制限設定 89 ～ 90
    - レグザ版あんしんねっと設定
      - レグザ版あんしんねっと
      - 閲覧設定
    - ブラウザ起動制限設定
  - 暗証番号設定 88
  - 暗証番号削除 88
- 外部入力設定
  - 外部入力表示設定 50
    - HDMI1 設定
    - HDMI2 設定
    - HDMI3 設定
    - HDMI4 設定
    - HDMI5 設定
    - ビデオ1 設定
    - ビデオ2 設定
    - ビデオ3 設定
    - ゲーム1 設定
    - ゲーム2 設定
    - 初期設定に戻す
  - 外部入力自動スキップ 50
  - RGBレンジ設定 51
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
    - HDMI5
    - ゲーム1
  - HDMI4音声入力設定 51
- 信号フォーマット詳細表示設定 94
- ページ切換設定 94

メニュー 一覧 つづき

- 設定メニュー → レグザリンク設定
  - 内蔵ハードディスク設定（63☞～64☞）
    - 今すぐニュース番組登録
    - 機器名の変更
    - 自動削除設定
    - 省エネ設定
    - 機器の初期化
  - USBハードディスク設定（54☞～55☞）
    - 機器の登録
    - 自動削除設定
    - 省エネ設定
    - 機器の取りはずし
    - 動作テスト
    - 機器の初期化
  - 録画再生設定
    - Eメール録画予約設定（65☞～66☞）
      - 基本設定
        - POP3サーバーアドレス
        - POP3ユーザー名
        - POP3パスワード
        - APOP
        - POP3アクセス時刻
        - SMTPサーバーアドレス
        - メールアドレス
      - Eメール録画予約機能
      - 録画機器
      - メール予約パスワード
      - 予約設定結果通知
      - 指定メールアドレス
      - 予約アドレス登録
    - ダイレクト録画時間設定（64☞）
    - ワンタッチスキップ設定（64☞）
    - ワンタッチリプレイ設定（64☞）
  - HDMI連動設定（52☞）
    - HDMI連動機能
    - HDMI連動機器リスト
    - 連動機器→テレビ入力切換
    - 連動機器→テレビ電源
    - テレビ→連動機器電源オフ
    - PC映像連動
    - AVシステム連動
    - AVシステム音声連動
    - 優先スピーカー

- 設定メニュー → 初期設定
  - はじめての設定（34☞）
  - リモコン設定（91☞）
    - リモコン登録
    - リモコン削除
    - 呼出機能設定
  - アンテナ設定（75☞～76☞）
    - 地上デジタルアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナ電源供給
    - BS中継器切換
    - 110度CS中継器切換
  - チャンネル設定
    - 地上デジタル自動設定（77☞～78☞）
      - 初期スキャン
      - 再スキャン
      - 自動スキャン
    - 地上アナログ自動設定（79☞）
    - 手動設定（80☞～83☞）
      - 地上デジタル
      - 地上アナログ
      - BS
      - 110度CS
    - チャンネルスキップ設定（84☞）
      - 地上デジタル
      - 地上アナログ
      - BS
      - 110度CS
    - ステレオ／モノラル（85☞）
    - 無信号消音設定（85☞）
    - 初期設定に戻す（85☞）
  - データ放送設定（86☞）
    - 郵便番号と地域の設定
    - 文字スーパー表示設定
    - ルート証明書番号
  - 地デジ機能設定（58☞～62☞）
    - 地デジ機能チャンネル設定
    - タイムシフトマシン録画設定
    - ハードディスク設定
    - 高速チャンネル選局設定
  - 通信設定
    - 電話回線設定（68☞～69☞）
      - ダイヤル方式
      - 外線発信番号
      - 電話会社の設定
      - 電話番号通知設定
      - 電話回線テスト
      - 待ち時間の設定
    - 通信接続設定（73☞～74☞）
      - 通信環境設定
      - LAN端子設定
        - IPアドレス設定
        - DNS設定
        - プロキシ設定
        - MACアドレス
        - 接続テスト
    - 接続確認メッセージ設定（70☞）
    - 通信エラー履歴（70☞）
  - B-CASカードの確認
  - ソフトウェアのダウンロード
    - 放送からのダウンロード
      - 自動ダウンロード
      - ダウンロードの予約
      - チューナーソフトウェアの更新
    - サーバーからのダウンロード開始
    - モニターソフトウェアの書出し
    - ソフトウェアバージョン
  - 設定の初期化（95☞）

デジタル放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)について

- デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質(ハイビジョン放送)・多チャンネルのテレビ放送や、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。
- デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるので、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます(デジタルオーディオ:MPEG-2 AAC方式)。さらに、5.1chステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

- デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送(HD)		プログレッシブ放送(SD)	通常放送(SD)
放送フォーマット	1080i放送	720p放送	480p放送	480i放送
走査線の数	有効1080本	有効720本	有効480本	有効480本
走査の方式	インターレース (飛越走査)	プログレッシブ (順次走査)	プログレッシブ (順次走査)	インターレース (飛越走査)
画面サイズ	16:9	16:9	16:9	16:9、4:3

※ 本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって液晶パネルの画素数に合わせて表示します。
※ ハイビジョン放送には1035iの放送信号もあります。1035iの放送信号を受信した場合は、画面上部が黒く表示されます。

- デジタルハイビジョン放送1番組と通常放送3番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。

データ放送の特長

- テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送(番組連動データ放送)と、番組とは無関係の独立したデータ放送(独立データ放送)の2種類があります。
- 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
- 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。

お知らせ
- 本機は衛星デジタルラジオ放送にも対応していますが、2009年11月現在は放送されておりません。

デジタル放送について つづき

地上デジタル放送について

● 地上デジタル（テレビ）放送とは？

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。
（本書および別冊の「操作編」では、「地上デジタル放送」と記載しています）
現在行われているアナログ方式の地上放送（本書および別冊の「操作編」では、「地上アナログ放送」と記載しています）は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

● 地上デジタル放送の特長

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送

(2) CD並みの高音質放送（MPEG-2 AAC方式）

(3) ゴーストのない鮮明な映像

(4) データ放送や双方向サービス

通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。
また、電話回線などを使った双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 固定・移動受信向けサービスと携帯受信向け部分受信サービス

ご家庭や移動中の車などに向けた固定・移動受信サービスと、携帯電話などで受信できる部分受信サービス（ワンセグ）があります。
※ 本機は部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

● BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との違いは？

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の場合............... 衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組を楽しめます。
地上デジタル放送の場合 .... 放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

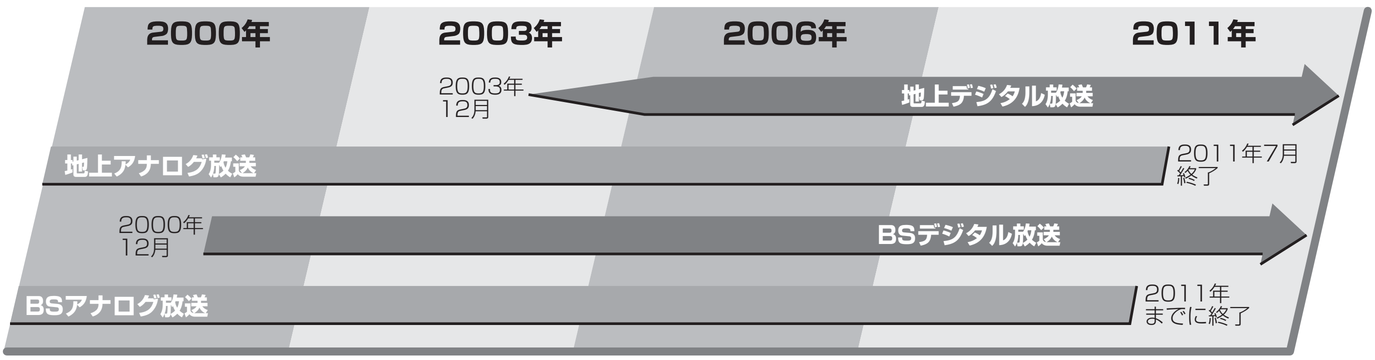
● 地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
（ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

● デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



本機で市販のキーボードを使う場合の動作について

各キーの基本動作

● そのときのモードによっては、動作が異なる場合があります。

キー	はたらき
Alt+ひらがな/カタカナ	ローマ字入力/かな入力を切り換えます
Shift+無変換	全角英数モードと半角英数モードを切り換えます
英数/CapsLock	英数モードとひらがなモードを切り換えます
半角/全角/漢字	英数モードでの半角モードと全角モードを切り換えます
Shift+CapsLock	英数モードでの大文字と小文字を切り換えます
Esc	漢字変換時に押すと、変換中の文字列が削除されます 未確定文字列内にカーソルがある状態で押すと、すべての未確定文字列を消去します 設定の途中などで前の画面に戻ることができます
Enter	未確定文字がある場合、変換中の文字を確定します 未確定文字がない場合、改行します(改行が不要な場合は、文字入力モードを終了します) 選んでいる番組や項目を決定します
Delete	文字カーソルの後の1文字を削除します
BackSpace	文字カーソルの前の1文字を削除します
Space	変換中の文字がある場合、文字変換します 変換中の文字がない場合、スペースが入力されます
Home	文字カーソルを行頭に移動します
End	文字カーソルを行末に移動します
↑	文字カーソルを矢印の方向に移動します
↓	
←	
→	
Shift+↑	選択範囲を指定します
Shift+↓	
Shift+←	
Shift+→	

キー	はたらき
Ctrl+x	選択範囲を切り取ります
Ctrl+c	選択範囲をコピーします
Ctrl+v	切取、コピーした文字を貼り付けます
Windows	このキーは無効です
tab	半角8文字分スペースが入力されます
前候補、変換	文字変換をします
Shift+前候補、変換	前変換をします
App	このキーは無効です
PrintScan	このキーは無効です
Insert	挿入モードと上書モードを切り換えます
ScrollLock	このキーは無効です
Pause	このキーは無効です
PageUP ※	画面表示の中に▲·▼のマークがある場合は、ページを切り換えることができます
PageDown ※	
NumLock	10キーの操作を切り換えます
ファンクション(F1)※	カラーボタン:青
ファンクション(F2)※	カラーボタン:赤
ファンクション(F3)※	カラーボタン:緑
ファンクション(F4)※	カラーボタン:黄
ファンクション(F5)※	dデータ
ファンクション(F6)	ブロードバンドメニューの起動
ファンクション(F7)※	クイック
ファンクション(F8~F12)	このキーは無効です

※印のキーは、リモコンボタンと同じはたらきをします。

10キー操作(NumLockオフの場合)

キー	はたらき
/	"/"が入力されます
*	"*"が入力されます
0/ins	挿入モードと上書モードを切り換えます
Insert	
1/End	文字カーソルを行末に移動します
2/↓	文字カーソルを移動します
3/PgDn	このキーは無効です
4/←	文字カーソルを移動します
5	このキーは無効です

キー	はたらき
6/→	文字カーソルを移動します
7/Home	文字カーソルを行頭に移動します
8/↑	文字カーソルを移動します
9/PgUp	このキーは無効です
./Del	文字カーソルの後の1文字を削除します
−	"−"が入力されます
+	"+"が入力されます
Enter	変換中の文字を確定します

10キー操作(NumLockオンの場合)

● 通常の10キー操作になります。

本機で市販のキーボードを使う場合の動作について つづき

「ローマ字入力」モードで使うとき

● 以下の表に従って入力してください。
● ひらがなとカタカナを切り換えるときは「無変換キー」を押してください。

入力する文字	キー操作
あ	a
い	i
う	u
え	e
お	o
か	ka
き	ki
く	ku
け	ke
こ	ko
さ	sa
し	shi
し	si
す	su
せ	se
そ	so
た	ta
ち	chi
ち	ti
つ	tsu
つ	tu
て	te
と	to
な	na
に	ni
ぬ	nu
ね	ne
の	no
は	ha
ひ	hi
ふ	fu
ふ	hu
へ	he
ほ	ho
ま	ma
み	mi
む	mu
め	me
も	mo
や	ya
い	yi
ゆ	yu
いぇ	ye
よ	yo
ら	ra
り	ri
る	ru
れ	re
ろ	ro
わ	wa
うぃ	wi
う	wu
うぇ	we
を	wo
ん	nn

入力する文字	キー操作
が	ga
ぎ	gi
ぐ	gu
げ	ge
ご	go
ざ	za
じ	zi
じ	ji
ず	zu
ぜ	ze
ぞ	zo
だ	da
ぢ	di
づ	du
で	de
ど	do
ば	ba
び	bi
ぶ	bu
べ	be
ぼ	bo
ぱ	pa
ぴ	pi
ぷ	pu
ぺ	pe
ぽ	po
ゔぁ	va
ゔぃ	vi
ゔ	vu
ゔぇ	ve
ゔぉ	vo
きゃ	kya
きぃ	kyi
きゅ	kyu
きぇ	kye
きょ	kyo
しゃ	sya
しゃ	sha
しぃ	syi
しゅ	syu
しゅ	shu
しぇ	sye
しぇ	she
しょ	syo
しょ	sho
ちゃ	tya
ちゃ	cya
ちゃ	cha
ちぃ	tyi
ちぃ	cyi
ちゅ	tyu
ちゅ	cyu
ちゅ	chu
ちぇ	tye
ちぇ	cye
ちぇ	che
ちょ	tyo
ちょ	cyo
ちょ	cho

入力する文字	キー操作
てゃ	tha
てぃ	thi
てゅ	thu
てぇ	the
てょ	tho
にゃ	nya
にぃ	nyi
にゅ	nyu
にぇ	nye
にょ	nyo
ひゃ	hya
ひぃ	hyi
ひゅ	hyu
ひぇ	hye
ひょ	hyo
ふぁ	fa
ふぃ	fi
ふぇ	fe
ふぉ	fo
ふゃ	fya
ふぃ	fyi
ふゅ	fyu
ふぇ	fye
ふょ	fyo
みゃ	mya
みぃ	myi
みゅ	myu
みぇ	mye
みょ	myo
りゃ	rya
りぃ	ryi
りゅ	ryu
りぇ	rye
りょ	ryo
ぎゃ	gya
ぎぃ	gyi
ぎゅ	gyu
ぎぇ	gye
ぎょ	gyo
じゃ	zya
じゃ	ja
じゃ	jya
じぃ	zyi
じぃ	jyi
じゅ	zyu
じゅ	ju
じゅ	jyu
じぇ	zye
じぇ	je
じぇ	jye
じょ	zyo
じょ	jo
じょ	jyo
ぢゃ	dya
ぢぃ	dyi
ぢゅ	dyu
ぢぇ	dye
ぢょ	dyo

入力する文字	キー操作
でゃ	dha
でぃ	dhi
でゅ	dhu
でぇ	dhe
でょ	dho
びゃ	bya
びぃ	byi
びゅ	byu
びぇ	bye
びょ	byo
ぴゃ	pya
ぴぃ	pyi
ぴゅ	pyu
ぴぇ	pye
ぴょ	pyo
ぁ	xa
ぁ	la
ぃ	xi
ぃ	li
ぅ	xu
ぅ	lu
ぇ	xe
ぇ	le
ぉ	xo
ぉ	lo
ゃ	xya
ゃ	lya
ぃ	xyi
ぃ	lyi
ゅ	xyu
ゅ	lyu
ぇ	xye
ぇ	lye
ょ	xyo
ょ	lyo
っ	xtu
っ	ltu

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表

● この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
　同時に、以下についても記載しています。

(1) 域内（お住まいの地域）の放送がリモコンボタンに自動設定される目安

• 「はじめての設定」34 や「地上デジタル自動設定」77 をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンの 1 ～ 12 に放送の運用規定に基づいて自動設定されます。
この表では、その際に域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。

(2) 番組表に表示される域内の放送局の順番（目安）

● この表をご覧の際には、次ページの「お知らせ」もよくお読みください。
● 放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり（上記のとおり）にならない場合があります。

2008年3月現在

地方名	都道府県名または地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域（区域放送開始前）	1	HBC北海道放送	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌テレビ	4
		6	HTB北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
	旭川（区域放送開始後）	1	HBC旭川	3
		2	NHK教育・旭川	2
		3	NHK総合・旭川	1
		5	STV旭川	4
		6	HTB旭川	5
		7	TVH旭川	7
		8	UHB旭川	6
	釧路（区域放送開始後）	1	HBC釧路	3
		2	NHK教育・釧路	2
		3	NHK総合・釧路	1
		5	STV釧路	4
		6	HTB釧路	5
		7	TVH釧路	7
		8	UHB釧路	6
	北見（区域放送開始後）	1	HBC北見	3
		2	NHK教育・北見	2
		3	NHK総合・北見	1
		5	STV北見	4
		6	HTB北見	5
		7	TVH北見	7
		8	UHB北見	6
	帯広（区域放送開始後）	1	HBC帯広	3
		2	NHK教育・帯広	2
		3	NHK総合・帯広	1
		5	STV帯広	4
		6	HTB帯広	5
		7	TVH帯広	7
		8	UHB帯広	6
	札幌（区域放送開始後）	1	HBC札幌	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌	4
		6	HTB札幌	5
		7	TVH札幌	7
		8	UHB札幌	6
	函館（区域放送開始後）	1	HBC函館	3
		2	NHK教育・函館	2
		3	NHK総合・函館	1
		5	STV函館	4
		6	HTB函館	5
		7	TVH函館	7
		8	UHB函館	6
	室蘭（区域放送開始後）	1	HBC室蘭	3
		2	NHK教育・室蘭	2
		3	NHK総合・室蘭	1
		5	STV室蘭	4
		6	HTB室蘭	5
		7	TVH室蘭	7
		8	UHB室蘭	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB青森放送	3
		2	NHK教育・青森	2
		3	NHK総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV青森テレビ	4
	岩手	1	NHK総合・盛岡　※3	1
		2	NHK教育・盛岡　※3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBCテレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	TBCテレビ	3
		2	NHK教育・仙台	2
		3	NHK総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	NHK総合・秋田	1
		2	NHK教育・秋田	2
		4	ABS秋田放送	3
		5	AAB秋田朝日放送	5
		8	AKT秋田テレビ	4
	山形	1	NHK総合・山形	1
		2	NHK教育・山形	2
		4	YBC山形放送	3
		5	YTS山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	NHK総合・福島　※3	1
		2	NHK教育・福島　※3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	NHK総合・水戸　※3	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	8
	栃木	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	群馬	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	埼玉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	テレ玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	チバテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	TOKYO MX	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	tvk	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	NHK総合・新潟	1
		2	NHK教育・新潟	2
		4	TeNYテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ21	6
		6	BSN	3
		8	NST	4
	山梨	1	NHK総合・甲府　※3	1
		2	NHK教育・甲府　※3	2
		4	YBS山梨放送	3
		6	UTY	4
	長野	1	NHK総合・長野	1
		2	NHK教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	abn長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		8	NBS長野放送	6

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表 つづき

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育・富山 ※3	2
		3	NHK総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	BBT富山テレビ	4
	石川	1	NHK総合・金沢 ※3	1
		2	NHK教育・金沢 ※3	2
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		8	石川テレビ	6
	福井	1	NHK総合・福井 ※3	1
		2	NHK教育・福井 ※3	2
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
	静岡	1	NHK総合・静岡	1
		2	NHK教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	NHK総合・大津 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	BBCびわ湖放送	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	京都	1	NHK総合・京都 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	KBS京都	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	大阪	1	NHK総合・大阪	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	兵庫	1	NHK総合・神戸 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	奈良	1	NHK総合・奈良 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	読売テレビ	6
	和歌山	1	NHK総合・和歌山 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・鳥取 ※3	2
		3	NHK総合・鳥取 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・松江 ※3	2
		3	NHK総合・松江 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	NHK総合・岡山 ※3	1
		2	NHK教育・岡山 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	広島	1	NHK総合・広島	1
		2	NHK教育・広島	2
		3	RCCテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	TSS	6
	山口	1	NHK総合・山口 ※3	1
		2	NHK教育・山口 ※3	2
		3	tysテレビ山口	4
		4	KRY山口放送	3
		5	yab山口朝日	5

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK教育・徳島 ※3	2
		3	NHK総合・徳島 ※3	1
	香川	1	NHK総合・高松 ※3	1
		2	NHK教育・高松 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	愛媛	1	NHK総合・松山	1
		2	NHK教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	NHK総合・高知	1
		2	NHK教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	KBC九州朝日放送	3
		2	NHK教育・福岡 NHK教育・北九州 ※2	2
		3	NHK総合・福岡 NHK総合・北九州 ※2	1
		4	RKB毎日放送	4
		5	FBS福岡放送	5
		7	TVQ九州放送	6
		8	TNCテレビ西日本	7
	佐賀	1	NHK総合・佐賀 ※3	1
		2	NHK教育・佐賀 ※3	2
		3	STSサガテレビ	3
	長崎	1	NHK総合・長崎 ※3	1
		2	NHK教育・長崎 ※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		8	KTNテレビ長崎	4
	熊本	1	NHK総合・熊本 ※3	1
		2	NHK教育・熊本 ※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		8	TKUテレビ熊本	4
	大分	1	NHK総合・大分 ※3	1
		2	NHK教育・大分 ※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
	宮崎	1	NHK総合・宮崎 ※3	1
		2	NHK教育・宮崎 ※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		6	MRT宮崎放送	3
	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育・鹿児島 ※3	2
		3	NHK総合・鹿児島 ※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		8	KTS鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	NHK総合・那覇	1
		2	NHK教育・那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		5	QAB琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ(OTV)	5

お知らせ

■ **表中の「リモコンボタン※1」の項目について**

● 「初期スキャン」や「再スキャン」をしたときに、その放送局がどのリモコンボタンに設定されるかを表します。

■ **表中の「※2」が記載されている放送局の放送について**

● 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に、入力レベルの高いほうの放送がリモコンボタンに設定されます。
(これは、放送の運用規定によるものです)

■ **表中の「※3」が記載されている放送局(NHK)の放送について**

● 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に受信できなかった場合は、受信できた域外(お住まいの地域以外)のNHK放送がリモコンボタンに設定されます。(設定される放送は、地域によって決められています)
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定が変更されます。(これは、放送の運用規定によるものです)

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 「はじめての設定」34や「地上アナログ自動設定」79をすると、この表にある放送局がリモコンの1～12に自動設定されます。
- この表にない放送局を受信するとき(受信できる場合)は、「手動設定」81で設定してください。
- お住まいの地域がこの表に記載されていない場合は、近くの地域・都市名で「地上アナログ自動設定」をして、正しく受信できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は38をご覧ください。
- ダウンロード(操作編118)によって、この表の内容(自動設定される内容)は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2006年12月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	33	33
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		釧路	2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			4	北海道文化放送(UHB)	41	41
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		北見	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	59	59
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	53	53
		網走	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			9	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	28	28
			6	札幌テレビ放送(STV)	22	22
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	30	30
		名寄	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	札幌テレビ放送(STV)	6	6
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		根室	2	NHK教育	2	2
			5	北海道文化放送(UHB)	62	62
			6	北海道テレビ放送(HTB)	60	60
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道(TVh)	17	17
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			10	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送(UHB)	27	27
			3	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道(TVh)	21	21
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	NHK教育	10	10
			12	札幌テレビ放送(STV)	12	12
北海道	北海道・南部	帯広	1	北海道文化放送(UHB)	32	32
			3	北海道テレビ放送(HTB)	34	34
			4	NHK総合	4	4
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	札幌テレビ放送(STV)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		苫小牧	2	NHK教育	49	49
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	53	53
			7	札幌テレビ放送(STV)	57	57
			9	NHK総合	51	51
			11	北海道放送(HBC)	55	55
			12	テレビ北海道(TVh)	47	47
		小樽	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	4	4
			5	北海道文化放送(UHB)	26	26
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	北海道放送(HBC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道(TVh)	24	24
		室蘭	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	29	29
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送(RAB)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送(ABA)	34	34
			5	NHK教育	5	5
			12	青森テレビ(ATV)	38	38
		八戸	2	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送(ABA)	31	31
			11	青森放送(RAB)	11	11
			12	青森テレビ(ATV)	33	33
		むつ	4	NHK総合	4	4
			6	青森朝日放送(ABA)	56	56
			8	青森テレビ(ATV)	58	58
			10	青森放送(RAB)	10	10
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	NHK総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	NHK総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
東北	岩手	二戸	2	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送(TBCテレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	34	34
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送(TBCテレビ)	59	59
			3	NHK総合	51	51
			5	NHK教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	NHK総合	2	2
			4	東北放送(TBCテレビ)	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	NHK教育	10	10
			12	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	37	37
	秋田	秋田	2	NHK教育	2	2
			5	秋田朝日放送	31	31
			9	NHK総合	9	9
			11	秋田放送(ABSテレビ)	11	11
			12	秋田テレビ(AKT)	37	37
		大館	1	青森放送(RAB)	1	1
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送(ABSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			12	秋田テレビ(AKT)	57	57
		大仙・横手	2	NHK教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	NHK総合	45	45
			11	秋田放送(ABSテレビ)	47	47
			12	秋田テレビ(AKT)	51	51
	山形	山形	4	NHK教育	4	4
			6	テレビユー山形(TUY)	36	36
			8	NHK総合	8	8
			10	山形放送(YBC山形放送)	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送(YBC山形放送)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	NHK教育	6	6
			8	テレビユー山形(TUY)	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	60	60
			4	NHK教育	50	50
			6	テレビユー山形(TUY)	56	56
			8	NHK総合	52	52
			10	山形放送(YBC山形放送)	54	54
			12	山形テレビ	58	58

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	山形	新庄	2	NHK教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	28	28
			6	テレビユー山形(TUY)	26	26
			9	NHK総合	9	9
			11	山形放送(YBC山形放送)	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	NHK教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送(KFB)	35	35
			11	福島テレビ(FTV)	11	11
		いわき	4	NHK総合	4	4
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビユー福島	62	62
			8	福島テレビ(FTV)	8	8
			10	NHK教育	10	10
			12	福島放送(KFB)	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビユー福島	47	47
			6	福島テレビ(FTV)	6	6
			8	福島中央テレビ	37	37
			10	福島放送(KFB)	41	41
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	42	4
			6	東京放送(TBS)	40	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK総合	40	1
			3	NHK教育	30	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送(TBS)	42	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12
		桐生	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	57	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	埼玉	さいたま	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	35	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			6	東京放送(TBS)	55	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	30	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	NHK総合	14	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	16	4
			6	東京放送(TBS)	18	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	47	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK総合	1	1
			2	TOKYO MX	14	14
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	東京	23区	1	NHK総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	TOKYO MX	14	14
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	35	4
			5	TOKYO MX	40	14
			6	東京放送(TBS)	37	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	NHK総合	49	1
			3	NHK教育	47	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	51	4
			5	TOKYO MX	61	14
			6	東京放送(TBS)	53	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	横浜・川崎	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	48	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		平塚・茅ヶ崎	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	35	4
			6	東京放送(TBS)	37	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	31	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	46	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	NHK総合	47	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	51	4
			6	東京放送(TBS)	53	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	61	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	UX新潟テレビ21 (UXTV)	21	21
			4	テレビ新潟放送網(TeNY)	29	29
			5	新潟放送(BSN新潟放送)	5	5
			8	NHK総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	NHK教育	12	12
		上越	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	UX新潟テレビ21 (UXTV)	37	37
			8	テレビ新潟放送網(TeNY)	27	27
			10	新潟放送(BSN新潟放送)	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			5	山梨放送(YBS)	5	5
			6	テレビ山梨(UTY)	37	37
	長野	長野(美ヶ原)	2	NHK総合	2	2
			4	長野朝日放送(ABN)	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	NHK教育	9	9
			10	長野放送(NBS)	38	38
			11	信越放送	11	11
		長野(善光寺平)	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	48	48

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	松本	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送(NBS)	40	40
			12	長野朝日放送(ABN)	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送(ABN)	61	61
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送(NBS)	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	NHK教育	10	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	NHK総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	NHK教育	46	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	44	34
	石川	金沢	4	NHK総合	4	4
			6	北陸放送(MRO)	6	6
			7	北陸朝日放送(HAB)	25	25
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ金沢	33	33
			12	石川テレビ放送(石川テレビ)	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送(HAB)	59	59
			5	NHK教育	5	5
			7	石川テレビ放送(石川テレビ)	55	55
			9	NHK総合	9	9
			11	北陸放送(MRO)	11	11
	福井	福井	3	NHK教育	3	3
			9	NHK総合	9	9
			11	福井放送(FBCテレビ)	11	11
			12	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	39	39
		敦賀	6	NHK総合	6	6
			8	福井放送(FBCテレビ)	8	8
			10	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	38	38
			12	NHK教育	12	12
	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		長良	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	57
			3	NHK総合	53	53
			5	中部日本放送(CBC)	55	55
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	61	61
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	59	59
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	47	47
		高山	2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	中部日本放送(CBC)	6	6
			8	東海テレビ放送(東海テレビ)	8	8
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	38	38
			12	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	12	12
中部	岐阜	各務原	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	6	6
			8	中部日本放送(CBC)	8	8
			10	東海テレビ放送(東海テレビ)	10	10
			11	岐阜放送(岐阜テレビ)	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	2	NHK教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			11	静岡放送(SBSテレビ)	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	NHK総合	4	4
			6	静岡放送(SBSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34
		三島・沼津	2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	NHK総合	53	53
			11	静岡放送(SBSテレビ)	55	55
		島田	1	NHK総合	56	56
			3	NHK教育	54	54
			5	静岡放送(SBSテレビ)	62	62
			7	静岡第一テレビ	48	48
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			12	テレビ静岡	58	58
		富士	2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	NHK総合	52	52
			11	静岡放送(SBSテレビ)	41	41
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			3	NHK教育	44	44
			5	静岡放送(SBSテレビ)	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	56	1
			3	NHK総合	54	3
			5	中部日本放送(CBC)	62	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	60	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	58	35
中部	愛知	豊田	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送(CBC)	55	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	61	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	59	35
	三重	津	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送(CBC)	55	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	61	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	47	35
		名張	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	62	1
			3	NHK総合	52	3
			5	中部日本放送(CBC)	60	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ~テレ)	56	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	54	35
近畿	滋賀	大津	2	NHK総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			9	びわ湖放送(BBCびわ湖放送)	30	30
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
		彦根	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			9	びわ湖放送(BBCびわ湖放送)	56	56
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	50	12
	京都	京都	2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		山科	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	56	6
			7	京都放送(KBS京都)	62	62
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	58	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	60	10
			12	NHK教育	50	12
		福知山	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			7	京都放送(KBS京都)	56	56
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	舞鶴	2	NHK総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送(ABC)	55	6
			7	京都放送(KBS京都)	57	57
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	2	NHK総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送(ABC)	41	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	43	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	47	10
			12	NHK教育	45	12
		姫路	2	NHK総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	56	56
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12
		明石	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送(ABC)	57	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	55	55
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12
		川西	2	NHK総合	29	29
			4	毎日放送	35	4
			6	朝日放送(ABC)	37	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	39	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	33	33
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	41	10
			12	NHK教育	31	12
		灘	2	NHK総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	毎日放送(ABC)	56	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	58	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	62	62
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	60	10
			12	NHK教育	50	12
		長田	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送(ABC)	40	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	42	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	34	34
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	48	10
			12	NHK教育	46	12
		北淡・垂水	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送(ABC)	57	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	55	55
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
	奈良	奈良	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送(KBS京都)	34	34
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	NHK教育	12	12
		生駒	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	NHK教育	22	12
		五條	2	NHK総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送(ABC)	35	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	37	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	NHK教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	NHK総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	毎日放送(ABC)	44	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	46	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	48	10
			12	NHK教育	25	12
		海南・田辺	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12
		新宮	2	NHK総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			10	山陰放送(BSSテレビ)	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	24	24
		米子	3	NHK総合	42	42
			5	NHK教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	8	8
			10	山陰放送(BSSテレビ)	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	58	58
			10	山陰放送(BSSテレビ)	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	30	30
			6	NHK総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	34	34
			10	山陰放送(BSSテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	島根	浜田	2	NHK総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	54	54
			5	山陰放送(BSSテレビ)	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	58	58
			9	NHK教育	9	9
	岡山	岡山	3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送(RSK)	11	11
			12	岡山放送(OHK)	35	35
		津山	2	NHK総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送(RSK)	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送(OHK)	60	60
			12	NHK教育	12	12
		笠岡	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			5	テレビせとうち	22	22
			6	山陽放送(RSK)	6	6
			9	西日本放送	34	34
			10	瀬戸内海放送	55	55
			11	岡山放送(OHK)	60	60
	広島	広島	1	テレビ新広島(TSS)	31	31
			3	NHK総合	3	3
			4	中国放送(RCC)	4	4
			7	NHK教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送(広島テレビ)	12	12
		福山	1	テレビ新広島(TSS)	54	54
			3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			7	中国放送(RCC)	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送(広島テレビ)	11	11
		呉	1	NHK教育	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	広島テレビ放送(広島テレビ)	5	5
			7	テレビ新広島(TSS)	26	26
			9	中国放送(RCC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
		尾道	1	NHK総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島(TSS)	26	26
			7	NHK教育	7	7
			10	中国放送(RCC)	10	10
			12	広島テレビ放送(広島テレビ)	12	12
	山口	山口	1	NHK教育	42	42
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	52	52
			7	テレビ山口(TYS)	49	49
			9	NHK総合	44	44
			11	山口放送(KRY山口放送)	46	46
		下関	1	NHK教育	41	41
			3	TVQ九州放送	23	23
			4	山口放送(KRY山口放送)	4	4
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	21	21
			7	テレビ山口(TYS)	33	33
			9	NHK総合	39	39
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			12	福岡放送(FBS)	35	35
		宇部	1	NHK教育	55	55
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	24	24
			7	テレビ山口(TYS)	44	44
			9	NHK総合	58	58
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			11	山口放送(KRY山口放送)	61	61

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	山口	岩国	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口(TYS)	62	62
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送(KRY山口放送)	11	11
		防府	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口(TYS)	38	38
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送(KRY山口放送)	11	11
	徳島	※	1	四国放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	38	12
	香川	高松	3	NHK教育	39	39
			5	NHK総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送(RSK)	29	29
			12	岡山放送(OHK)	31	31
		丸亀	3	NHK教育	40	40
			5	NHK総合	44	44
			6	テレビせとうち	46	46
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	50	50
			11	山陽放送(RSK)	48	48
			12	岡山放送(OHK)	52	52
	愛媛	松山	2	NHK教育	2	2
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	25	25
			10	南海放送(RNB)	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	テレビ愛媛	37	37
	愛媛	今治	2	NHK教育	30	30
			6	NHK総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	17	17
			10	南海放送(RNB)	34	34
			12	テレビ愛媛	36	36
		新居浜	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			6	南海放送(RNB)	6	6
			7	愛媛朝日テレビ(EAT)	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	テレビ愛媛	36	36
		宇和島	1	NHK教育	1	1
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	25	25
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	16	16
			10	南海放送(RNB)	10	10
			12	テレビ愛媛	27	27
	高知	高知	4	NHK総合	4	4
			6	NHK教育	6	6
			8	高知放送(RKC)	8	8
			10	テレビ高知(KUTV)	38	38
			12	高知さんさんテレビ(さんさんテレビ)	40	40
		四万十	1	NHK総合	1	1
			3	高知放送(RKC)	3	3
			6	テレビ高知(KUTV)	32	32
			8	高知さんさんテレビ(さんさんテレビ)	14	14
			11	NHK教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送(KBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	4	4
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	6	6
			9	テレビ西日本(TNC)	9	9
			12	福岡放送(FBS)	37	37

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	北九州	2	九州朝日放送(KBC)	2	2
			3	福岡放送(FBS)	35	35
			5	TVQ九州放送	23	23
			6	NHK総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	8	8
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送(KBC)	57	57
			3	NHK総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	NHK教育	54	54
			9	テレビ西日本(TNC)	60	60
			12	福岡放送(FBS)	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送(KBC)	58	58
			3	NHK総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	61	61
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	50	50
			9	テレビ西日本(TNC)	55	55
			12	福岡放送(FBS)	43	43
		行橋	2	九州朝日放送(KBC)	57	57
			3	福岡放送(FBS)	43	43
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	60	60
			10	テレビ西日本(TNC)	54	54
			12	NHK教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	NHK教育	40	40
			3	福岡放送(FBS)	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送(KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			9	NHK総合	38	38
			10	テレビ西日本(TNC)	60	60
			11	熊本放送(RKK)	11	11
		伊万里	1	NHK教育	44	44
			3	福岡放送(FBS)	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送(KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			9	NHK総合	51	51
			10	テレビ西日本(TNC)	60	60
			11	熊本放送(RKK)	11	11
	長崎	長崎	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	長崎放送(NBC)	5	5
			7	テレビ長崎(KTN)	37	37
			9	長崎文化放送(NCC)	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	NHK教育	2	2
			6	長崎文化放送(NCC)	31	31
			7	テレビ長崎(KTN)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	長崎放送(NBC)	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	NHK教育	51	51
			3	NHK総合	59	59
			5	長崎放送(NBC)	62	62
			7	テレビ長崎(KTN)	39	39
			9	長崎文化放送(NCC)	56	56
			11	長崎国際テレビ	32	32
	熊本	熊本	2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送(KAB)	16	16
			4	熊本県民テレビ(KKT)	22	22
			6	テレビ熊本(TKU)	34	34
			9	NHK総合	9	9
			11	熊本放送(RKK)	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	水俣	1	NHK教育	1	1
			3	熊本朝日放送(KAB)	32	32
			4	NHK総合	4	4
			6	熊本放送(RKK)	6	6
			8	熊本県民テレビ(KKT)	36	36
			10	テレビ熊本(TKU)	38	38
	大分	大分	3	NHK総合	3	3
			5	大分放送(OBS)	5	5
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	24	24
			7	テレビ大分(TOS)	36	36
			12	NHK教育	12	12
		中津	3	NHK総合	48	48
			5	大分放送(OBS)	51	51
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	17	17
			7	テレビ大分(TOS)	37	37
			12	NHK教育	45	45
		佐伯	1	NHK教育	1	1
			5	テレビ大分(TOS)	49	49
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	31	31
			7	NHK総合	7	7
			9	大分放送(OBS)	9	9
	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎(UMK)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	宮崎放送(MRT)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		延岡	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	宮崎放送(MRT)	6	6
			8	テレビ宮崎(UMK)	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送(MBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	32	32
			9	鹿児島テレビ放送(KTS)	38	38
			11	鹿児島読売テレビ(KYT)	30	30
		鹿屋	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	南日本放送(MBC)	6	6
			8	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	31	31
			10	鹿児島テレビ放送(KTS)	33	33
			12	鹿児島読売テレビ(KYT)	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	23	23
			6	鹿児島テレビ放送(KTS)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	南日本放送(MBC)	10	10
			11	鹿児島読売テレビ(KYT)	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	※	2	NHK総合	2	2
			6	琉球朝日放送(QAB)	28	28
			8	沖縄テレビ放送(OTV)	8	8
			10	琉球放送(RBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

リモコンについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、すみやかに本機の使用を中止の上、電波干渉回避のための処置などについて裏表紙記載の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙記載の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

2.4DS1

この表示のある無線装置は2.4GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明ラベルは無線設備上に貼られています。
したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。
ただし、以下の行為は法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に基因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いません。

- 本機内蔵の無線装置を分解・改造すること
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと

東芝デジタルテレビ55X1で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝デジタルテレビ55X1に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝デジタルテレビ55X1は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス
www.toshiba.co.jp/regza/LZ1/eula

また、**東芝デジタルテレビ55X1**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**東芝デジタルテレビ55X1**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝デジタルテレビ55X1に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

東芝デジタルテレビ55X1で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　**原文(英文)**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel udhcp netfilter/iptables pump busybox e2fsprogs parted xfsprogs mkdosfs	Exhibit A
glibc gcc libhugetlbfs DirectFB libspe2 libfreevec	Exhibit B
malloc	Exhibit C
libupnp	Exhibit D

対応ソフトウェアモジュール	
popt	Exhibit E
PPxP	Exhibit F
WIDE-DHCPv6	Exhibit G
curl	Exhibit H
newlib	Exhibit I
SHA2	Exhibit J
dtoa strtod	Exhibit K
OpenSSL	Exhibit L

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to

print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence

you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of

a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your

choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions

of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library’s name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute

it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That’s all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

Exhibit D

under an open source software distribution license in 2000.

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit E

Copyright (c) 1998 Red Hat Software

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE

USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

Exhibit F

●利用と配布

Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team. All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します:

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。
バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。

このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい:
この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責
PPxP開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによりよって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

Exhibit G

Copyright (C) 1998-2004 WIDE Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit H

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Exhibit I

Copyright (c) 1994-2007 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at

http://www.opensource.org/licenses.

Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “”AS IS”” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED “”AS IS””, WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (C) 1998-2001 by Lucent Technologies All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that the copyright notice and this permission notice and warranty disclaimer appear in supporting documentation, and that the name of Lucent or any of its entities not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

LUCENT DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.

IN NO EVENT SHALL LUCENT OR ANY OF ITS ENTITIES BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES

WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright 1989, 1990 Advanced Micro Devices, Inc.

This software is the property of Advanced Micro Devices, Inc (AMD) which specifically grants the user the right to modify, use and distribute this software provided this notice is not removed or altered. All other rights are reserved by AMD.

AMD MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, WITH REGARD TO THIS SOFTWARE. IN NO EVENT SHALL AMD BE LIABLE FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES IN CONNECTION WITH OR ARISING FROM THE FURNISHING, PERFORMANCE, OR USE OF THIS SOFTWARE.

So that all may benefit from your experience, please report any problems or suggestions about this software to the 29K Technical Support Center at 800-29-29-AMD (800-292-9263) in the USA, or 0800-89-1131 in the UK, or 0031-11-1129 in Japan, toll free.

The direct dial number is 512-462-4118.

Advanced Micro Devices, Inc.
29K Support Products
Mail Stop 573
5900 E. Ben White Blvd.
Austin, TX 78741
800-292-9263

Copyright (C) 1993 C.W. Sandmann

This file may be freely distributed as long as the author's name remains.

(C) Copyright 1992 Eric Backus

This software may be used freely so long as this copyright notice is left intact. There is no warrantee on this software.

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

(c) Copyright 1986 HEWLETT-PACKARD COMPANY

To anyone who acknowledges that this file is provided “”AS IS”” without any express or implied warranty: permission to use, copy, modify, and distribute this file for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice and this notice appears in all copies, and that the name of Hewlett-Packard Company not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose.

Copyright (C) 2001 Hans-Peter Nilsson

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that the above copyright notice, this notice and the following disclaimer are preserved with no changes.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 2001 Christopher G. Demetriou All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1999 Kungliga Tekniska Hogskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of KTH nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KTH AND ITS CONTRIBUTORS ``AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A

PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KTH OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; ORBUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000, 2001 Alexey Zelkin <phantom@FreeBSD.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 1997 by Andrey A. Chernov, Moscow, Russia. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1997-2002 FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Author: S. L. Moshier.

Copyright (c) 1984,2000 S.L. Moshier

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED “”AS IS””, WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c)1999 Citrus Project, All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 1991 DJ Delorie All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms is permitted provided that the above copyright notice and following paragraph are duplicated in all such forms.

This file is distributed WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 2001 Mike Barcroft <mike@FreeBSD.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1999, 2000 Konstantin Chuguev. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2003, Artem B. Bityuckiy, SoftMine Corporation.

Rights transferred to Franklin Electronic Publishers.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(C) Copyright 2001,2006, International Business Machines Corporation, Sony Computer Entertainment, Incorporated, Toshiba Corporation, All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the names of the copyright holders nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “”AS IS”” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

Copyright (C) 2002 by Red Hat, Incorporated. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

Copyright (c) 2002 Red Hat Incorporated. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

The name of Red Hat Incorporated may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “”AS IS”” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL RED HAT INCORPORATED BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1987, 2000 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that: (1) source distributions retain this entire copyright notice and comment, and (2) distributions including binaries display the following acknowledgement: ``This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors'' in the documentation or other materials provided with the distribution and in all advertising materials mentioning features or use of this software.

Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley.

The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Exhibit J

Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl.ch> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit K

The author of this software is David M. Gay. Copyright (c) 1991, 2000, 2001 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT

MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Exhibit L

LICENSE ISSUES

==============

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided

with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines [SIC] from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

さくいん

さくいん つづき

対応機器一覧

（2009年11月現在）

1 レグザリンク対応の東芝レコーダー

形　名
RD-A600＊、RD-A300＊、RD-S601、RD-S301、RD-E301、RD-A301、RD-X7、RD-S502、RD-S302、RD-E302、RD-X8、RD-S503、RD-S303、D-H320、RD-G503、RD-E303、RD-X9、RD-S1004K、RD-S304K

＊印の機種はバージョンアップが必要です。詳しくはwww3.toshiba.co.jp/hdd-dvdでご確認ください。

2 レグザリンク対応AVシステム機器（推奨機器）　※ 推奨機器以外での動作は保証いたしかねます。

メーカー	形　名
オンキヨー	TX-SA806X、TX-SA706X、TX-SA606X、TX-SA605、TX-SA705、TX-SA805、TX-NA906X、TX-NA905、DTX-9.9、DTX-8.9、DTX-5.9、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DHC-9.9、DTC-9.8、BASE-V20HD、SA-205HD、HTX-22HD、CB-SP1380+DHT-9HD（再生にはオプションサブウーハー DHT-9HDが必要になります）
YAMAHA	YRS-1000、YRS-2000、YSP-600、DSP-AX863、DSP-AX763、YSP-LCP4000、YSP-LC4000、YSP-4000、YSP-3000、YSP-LC3000、YSP-LCW3000、DSP-Z7、DSP-AX3900、YHT-S350、YHT-S400、YSP4100
デノン	AVP-A1HDSP、AVC-A1HDSP、AVC-2809、AVC-1909 、AVC-2809

3 レグザリンク対応東芝パソコン

商　品　名	形　名
Qosmio	G50/98G、G50/97G、F50/88G、F50/86G、G40/97E、G40/97D、G50/98H、G50/97H、G50/96H
dynabook	AX/54G、AX/53G、AX/53GBL、AX/53GPK、AX/55F、AX/54F、AX/53F、AX/53FBL、AX/53FPK、TX/67G、TX/66G、TX/66GBL、TX/66GPK、TX/68F、TX/67F、TX/66F、TX/66FBL、TX/66FPK、TX/68H、TX/67H、TX/66H、TX/66HBL、TX/66HPK、CX/48G、CX/47G、CX/45G、CX/48F、CX/47F、CX/45F、CX/48H、CX/47H、CX/45H
dynabook Qosmio	GX/79G、FX/77G、GX/G8H、GX/G7H

4 AVシステム音声連動対応機器

メーカー	形　名
YAMAHA	YHT-S350、YHT-S400、YSP-4100

5 動作確認済USBハードディスク　※ 動作を保証するものではありません。

メーカー	形　名
東芝	HDPS-U
アイ・オー・データ機器	HDCN-UAシリーズ、HDC-Uシリーズ
バッファロー	HD-CLU2シリーズ、HD-HESU2シリーズ、HD-HSSU2シリーズ、HD-HSU2シリーズ

- 本機が対応しているUSBハードディスクの容量は2TB（公称値）までです。
- 接続できるUSBハードディスクについては、ホームページで順次公開する予定です。（www.toshiba.co.jp/regza）

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00～20:00

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)
フリーダイヤル 0120-97-9674（クナン クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)
ナビダイヤル 0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)
03-3258-0470

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。 www.toshiba.co.jp/regza
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●「操作編」94ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	55X1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（ ） ―

廃棄時にご注意願います

●家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？
●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止 このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●表紙は有機物質を含む廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。
●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
●この印刷物は再生紙を使用しています。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

(TD/T1) VX1A00148700